

# 第4次実施計画

## 実績報告書

(平成23～25年度)

平成26年9月

松戸市



## 目 次

1	第4次実施計画の概要	
(1)	総合計画における実施計画の位置づけ	1
(2)	第4次実施計画の特徴	5
①	戦略プロジェクトによる計画の推進	5
②	政策展開の方向	5
③	「めざそう値」の達成状況の確認	5
(3)	本報告書の位置づけ	5
2	計画期間における人口と計画事業費の状況	
(1)	人口の状況	6
(2)	計画事業費と財政の状況	7
①	計画額と予算額・決算額の状況	7
②	一般会計・歳出の財政見通しと実績	9
3	計画事業の達成状況	
(1)	戦略プロジェクトの達成状況	10
	【表の見方（戦略プロジェクト）】	11
(2)	政策展開の方向の達成状況	26
○	めざそう値の達成状況	26
○	取組み課題の目標の達成状況	27
	【表の見方（政策展開の方向）】	28
第1節	連携型地域社会の形成	30
第2節	豊かな人生を支える福祉社会の実現	40
第3節	次代を育む文化・教育環境の創造	63
第4節	安全で快適な生活環境の実現	81
第5節	魅力ある都市空間の形成と産業の振興	104
第6節	都市経営の視点に立った行財政運営	131
資料	第4次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説（97指標）	145



# 1 第4次実施計画の概要

## (1) 総合計画における実施計画の位置づけ

本市の総合計画は、平成10年（1998年）4月に策定され、「基本構想」「基本計画」「実施計画」により構成されています。

「基本構想」は、将来の本市の発展方向を展望し、21世紀の新たな時代に向けて推進すべき基本的方向を明記するもので、その期間は、平成10年度（1998年）から平成32年度（2020年）までの23年間です。

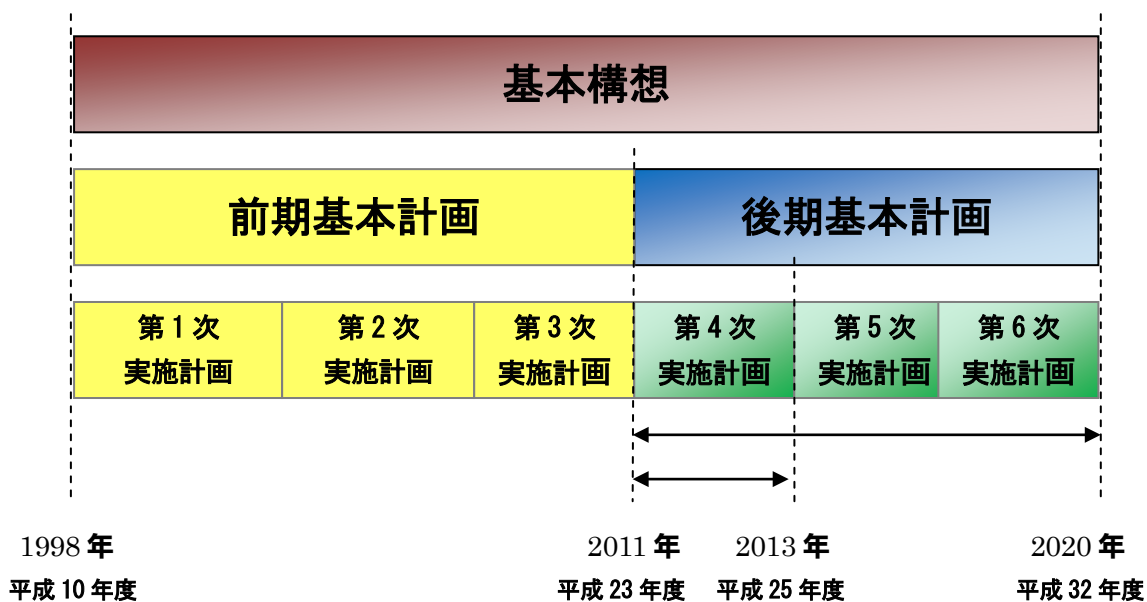
また、「基本計画」は、基本構想の実現のために必要な施策の方向を体系的に整理するものです。前期の基本計画が平成22年度で終了したことから平成23年度（2011年）から平成32年度（2020年）までの後期基本計画を策定し、これに基づき市政を推進しています。

また、「実施計画」は、基本計画に掲げられた施策を個別事業にまとめ、財政的な裏付けをもたせた短期的な事業計画です。

第4次実施計画の期間は、後期基本計画が始まる平成23年度（2011年）から平成25年度（2013年）までの3年間です。

### <総合計画の概要>

#### ◇ 計画の構成



## ◇ 基本構想の理念・将来像

「基本構想」では、本市のまちづくりを行うにあたり、次の3つを基本理念としています。

- 1 人権が尊重されすべての人が安心して暮らせるまち
- 2 快適な環境の中で人と人が支え合う地域社会のあるまち
- 3 地球にやさしい市民の交流を支える活力と魅力あるまち

また、基本理念に基づき、西暦2020年（平成32年）の松戸市の将来像を

「いきいきした市民の舞台」

「こちよい地域の舞台」

「風格ある都市の舞台」

のあるまち・松戸 と設定しています。

そして、「次代を担う子どもたちのふるさと・緑花清流による松戸の創生」を合言葉に、市民・事業者・行政が一体となり、真の豊かさを感じることができる3つの舞台が調和した松戸「住んでよいまち・訪ねてよいまち」をめざしています。

## ◇ 後期基本計画

「後期基本計画」では、基本構想の実現を図るために、リーディングプランを定めるとともに、必要な施策の方向を体系的に整理しています。

### ○ リーディングプラン

リーディングプランは、本市の将来像である「いきいきした市民の舞台、こちよい地域の舞台、風格ある都市の舞台のあるまち・松戸」について、その未来像に到達するためのプランを提示するものです。

	将来像	めざしたい未来像	リーディングプラン	重点施策
1	いきいきした市民の舞台	自分たちのまちは自分たちでつくる元気な街	(1) 市民参加・社会参加促進プラン	① 地域の問題は、地域で解決する仕組みづくりを進めます ② ボランティア活動をはじめ公共の場に参加しやすくするため、「人づくり」のための仕組みをつくり ③ NPO活動・ボランティア活動を支援する場を広めるなど協働のまちづくりを強化します ④ コミュニティビジネスやNPOなどを活性化し、元気な高齢者が活躍できる場をつくり ⑤ 起業をめざす人への支援を強化します ⑥ 社会的雇用弱者(再就職を希望する高齢者・女性、就労経験の少ない若者、就労を希望する障害者など)を中心に就労支援を強化します

	将来像	めざしたい未来像	リーディングプラン	重点施策
2	こころよい地域の舞台	住んでいるのが誇らしく思える街	(2) 魅力ある子育て・教育創造プラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 子どもを生み、育てるなら松戸と思われるように、子育て支援や教育などの各種施策を推進します</li> <li>② 将来の市民を育てるという視点から確かな学力と豊かな人間性を育む教育を進めます</li> <li>③ 各学校のカリキュラム開発を強力に支援し、「ヤル気になればデキル」から「デキルからヤル気になる」よう学習活動の転換を図り、児童生徒の自ら学び自ら考える力を育成し、基礎的・基本的な内容を確実に定着させます</li> </ul>
			(3) 松戸の住みやすさ再生プラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 都市計画制度の状況を分析し、魅力ある市街地の形成を進めます</li> <li>② UR 都市機構などの集合住宅のある街について、若者と高齢者などあらゆる層が交流できる活気あるまちづくりに向けて検討します</li> <li>③ 市民芸術の発信など文化芸術による地域のまちづくりを支援します</li> <li>④ 高齢者が住み慣れた街で安心して暮らせるように、身近な問題を地域みんなで解決できるまちづくりを進めます</li> <li>⑤ 市立病院を整備し、民間医療機関との連携を強め、医療を必要とする人が安心できるまちづくりを進めます</li> <li>⑥ 警防ネットワークなどの強化により、日常的に人と人のつながりがある「地域防災・防犯体制」づくりを進めます</li> <li>⑦ 公共施設の状況を明らかにし、今後の再編整備に向けて検討します</li> </ul>
3	風格ある都市の舞台	みんなの協力で賑わいのあがる街	(4) 地域産業活性化プラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 市内の交通結節点である主要駅を中心に、民間活力を活かした魅力アップを図り、市内からも市外からも購買力のある人々が集まる賑わいを創造します</li> <li>② 松戸の新しい都市ブランドを構築し、若者が住みたくなるモデル都市を検討します</li> <li>③ 地元商店街が地域のまちづくりの一翼を担うよう商店街の活性化を図ります</li> <li>④ 松戸駅の改造をきっかけとした松戸駅周辺の活性化を促進します</li> <li>⑤ 今後の社会経済環境を勘案しながら工業団地のあり方を検討します</li> </ul>
			(5) 行財政健全・安定化プラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 実施計画を選択と集中を明確にした戦略計画として、中期的な財政状況を明らかにし、事業の見直しを進め、財政の健全化を図ります</li> <li>② 政策立案過程の情報も含め、市政情報の「見える化」を進めます</li> <li>③ 市、外郭団体が保有する資産の実態を明らかにし、資産管理の適正化と効率化を図ります</li> </ul>

## ○ 政策展開の方向

政策展開の方向は、必要な施策を体系的に整理したものです。

節	項 (政策)
第1節 連携型地域社会の形成	第1項 市民と行政の共同を推進します
	第2項 一人ひとりの人権が尊重される地域社会をつくります
	第3項 男女共同参画の地域社会をつくります
第2節 豊かな人生を支える福祉社会の実現	第1項 健康に暮らすことができますようにします
	第2項 病気や障害、高齢などを理由に生活に支障があっても、自立した生活が送れるようにします
	第3項 安心して子どもを生み、健やかに育てることができるようにします
	第4項 市立病院として高度で良質な医療を提供します
第3節 次代を育む文化・教育環境の創造	第1項 子どもたちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験を得られるようにします
	第2項 生涯学習やスポーツを楽しむことができますようにします
	第3項 国際的な広い視野と平和を愛する心が生まれ、松戸の歴史や文化・伝統が保持され、後世に伝えられるようにします
第4節 安全で快適な生活環境の実現	第1項 災害に対する不安を減らすようにします
	第2項 火災等の災害から市民生活を守ります
	第3項 救急救命が必要になった市民の生命をつなぎます
	第4項 環境にやさしい地域社会をつくります
	第5項 犯罪や事故のない安全で快適な市民社会をつくります
	第6項 緑と花に親しむことができますようにします
第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興	第1項 地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにします
	第2項 個性を活かし、能力を発揮して働くことができますようにします
	第3項 ゆとりを感じるまちに住むことができますようにします
	第4項 誰もが安心してスムーズに移動できるようにします
	第5項 安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにします
	第6項 いつでも安心して水道水が使えるようにします
第6節 都市経営の視点に立った行財政運営	第1項 市民ニーズに基づく行政経営を行います
	第2項 財源、財産を適正に管理し、配分します



## (2) 第4次実施計画の特徴

### ① 戦略プロジェクトによる計画の推進

後期基本計画に定めるリーディングプランを実効的にメリハリをつけて推進するため、特に重点的に絞り込んで取り組むべきことについて、12の戦略プロジェクトとして第4次実施計画に設定して、計画を推進してきました。また、その推進体制については、平成25年4月の組織改革に併せて改善を図り、プロジェクト体制から部長をリーダーとした各所属で取り組みを進めることとなりました。

### ② 政策展開の方向

後期基本計画に定める政策展開の方向について、第4次実施計画では、施策ごとに、体系的に、取り組むべき課題、めざす成果、成果達成を判断する代表的な目標を設定して、計画を推進してきました。

### ③ 「めざそう値」(後期基本計画に定めた指標の目標値)の達成状況の確認

めざそう値は、後期基本計画に定めた指標の目標値です。後期基本計画で定める施策の展開方向については、この目標値の実績により達成状況を確認しており、第4次実施計画では、計画期間の最終年次である平成25年度のめざそう値を設定して、計画を推進してきました。

本報告書では、後期基本計画に定めた97指標の目標値(平成32年度)に対する第4次実施計画の実績値(平成25年度)を市民意識調査や内部調査などにより取得して達成状況を確認しています。めざそう値については、市民の皆さまとともにめざす目標であることから、この結果を公表することで、市民の皆さまの活動につなげていただくとともに、市としても第5次実施計画及び第6次実施計画の取り組みにつなげてまいります。

※資料 第4次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説をご参照ください(P.145～P.156)。

## (3) 本報告書の位置づけ

平成23年度から25年度までを計画期間とした「第4次実施計画」の計画期間が終了したことから、その達成状況をまとめたものが本報告書です。

本報告書では、後期基本計画のリーディングプランの実現に向けて、第4次実施計画に設定した12の戦略プロジェクトのミッションの達成状況について、また、計画期間内の施策の展開にそった取り組み課題(122の計画事業)については、設定した目標の達成状況について、実施計画の中で主な指標として示した「めざそう値」とともに、お知らせするものです(3 計画事業の達成状況)。

## 2 計画期間における人口と計画事業費の状況

### (1) 人口の状況

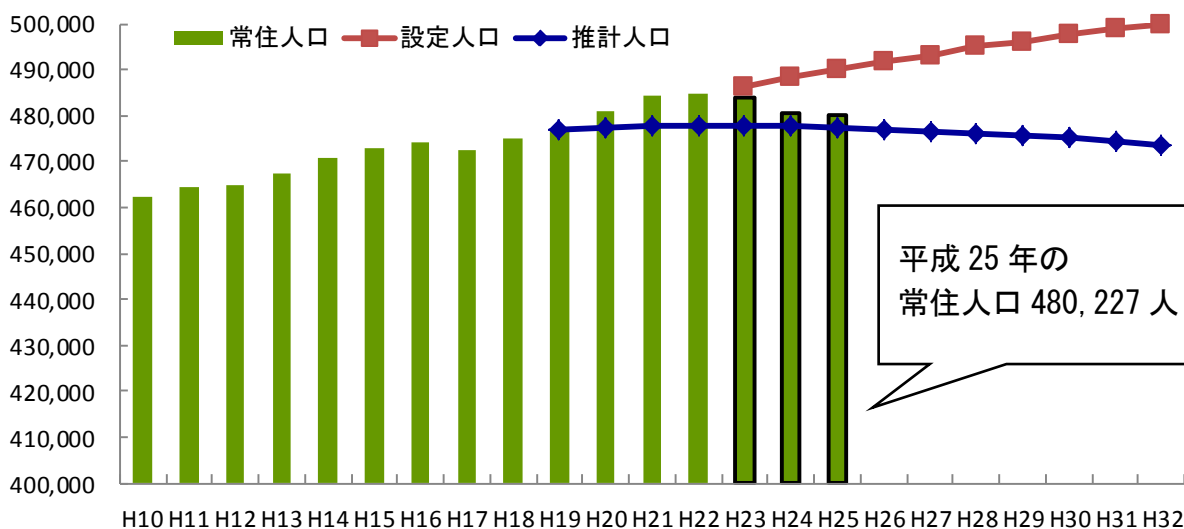
後期基本計画で設定した第4次実施計画における最終年次の平成25年度の計画人口49万人、推計人口477,421人、421人に対し、常住人口は480,227人となっています。

(単位：人、各年10月1日)

	前期基本計画			後期基本計画		
	第1次 実施計画 (平成14年)	第2次 実施計画 (平成19年)	第3次 実施計画 (平成22年)	第4次 実施計画 (平成25年)	第5次 実施計画 (平成28年)	第6次 実施計画 (平成32年)
設定人口 (14歳以下比) (15-64歳比) (65歳以上比)	461,000	478,000	480,000	490,000 12.0% 65.8% 22.2%	495,000 11.0% 64.6% 24.4%	500,000 9.8% 64.6% 25.6%
実績 (14歳以下比) (15-64歳比) (65歳以上比)	470,759	476,792	484,457	480,227 12.7% 64.8% 22.5%		
推計人口	—	—	477,830	477,421	476,182	473,615

- ・設定人口の年齢3区分による構成比は、参考です。
- ・推計人口については、平成21年1月実施の人口推計のうち、現実型の推計値（住民基本台帳人口と外国人登録人口の合計）を平成19年の乖離をもとに常住人口に換算しています。
- ・推計と設定人口との差は、子育て世代の定住促進などによる人口増を見込んでいます。

図表 人口の推移、推計、設定



(2) 計画事業費と財政の状況

① 計画額と予算額・決算額の状況

※予算額は当初予算となっています。

<一般会計・特別会計・企業会計>

(単位 百万円)

施策体系		年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	期間合計
			計画事業	計画事業	計画事業	
第 1 節	計画額		119	130	133	382
	予算額		119	176	174	469
	決算額		110	164	170	444
第 2 節	計画額		6,165	6,726	6,701	19,592
	予算額		6,165	6,069	6,619	18,853
	決算額		5,612	5,905	6,139	17,656
第 3 節	計画額		1,999	3,294	2,952	8,245
	予算額		1,999	1,400	1,656	5,055
	決算額		1,962	2,814	4,191	8,967
第 4 節	計画額		1,870	3,072	2,024	6,966
	予算額		1,675	2,441	3,770	7,886
	決算額		1,737	2,100	2,877	6,714
第 5 節	計画額		1,806	2,206	2,205	6,217
	予算額		1,605	1,522	1,909	5,036
	決算額		1,139	1,366	1,770	4,275
第 6 節	計画額		193	192	209	594
	予算額		194	211	190	595
	決算額		172	177	257	606
計	計画額		12,152	15,620	14,224	41,996
	予算額		11,757	11,819	14,318	37,894
	決算額		10,732	12,526	15,404	38,662
計画額に対する予算及び決算の実績						
予算額／計画額 (%)			96.7%	75.7%	100.7%	90.2%
決算額／計画額 (%)			88.3%	80.2%	108.3%	92.1%

(一般会計)

(単位 百万円)

施策体系		年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	期間合計
			計画事業	計画事業	計画事業	
第 1 節	計画額		119	130	133	382
	予算額		119	176	174	469
	決算額		110	164	170	444
第 2 節	計画額		5,623	6,113	6,079	17,815
	予算額		5,623	5,418	5,972	17,013
	決算額		5,275	5,511	5,741	16,527
第 3 節	計画額		1,999	3,294	2,952	8,245
	予算額		1,999	1,400	1,656	5,055
	決算額		1,962	2,814	4,191	8,967
第 4 節	計画額		1,870	3,072	2,024	6,966
	予算額		1,675	2,441	3,770	7,886
	決算額		1,737	2,100	2,877	6,714
第 5 節	計画額		1,090	1,483	1,474	4,047
	予算額		1,131	1,044	1,429	3,604
	決算額		677	888	1,295	2,860
第 6 節	計画額		193	192	209	594
	予算額		194	211	190	595
	決算額		172	177	257	606
計	計画額		10,894	14,284	12,871	38,049
	予算額		10,741	10,690	13,191	34,622
	決算額		9,933	11,654	14,531	36,118
計画額に対する予算及び決算の実績						
予算額/計画額 (%)			98.6%	74.8%	102.5%	91.0%
決算額/計画額 (%)			91.2%	81.6%	112.9%	94.9%

(特別会計)

(単位 百万円)

施策体系		年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	期間合計
			計画事業	計画事業	計画事業	
第 2 節	計画額		527	609	618	1,754
	予算額		527	646	642	1,815
	決算額		323	391	394	1,108
計	計画額		527	609	618	1,754
	予算額		527	646	642	1,815
	決算額		323	391	394	1,108
計画額に対する予算及び決算の実績						
予算額/計画額 (%)			100.0%	106.1%	103.9%	103.5%
決算額/計画額 (%)			61.3%	64.2%	63.8%	63.2%

(企業会計)

(単位 百万円)

施策体系		年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	期間合計
			計画事業	計画事業	計画事業	
第 2 節	計画額		15	4	4	23
	予算額		15	5	5	25
	決算額		14	3	4	21
第 5 節	計画額		716	723	731	2,170
	予算額		474	478	480	1,432
	決算額		462	478	475	1,415
計	計画額		731	727	735	2,193
	予算額		489	483	485	1,457
	決算額		476	481	479	1,436
計画額に対する予算及び決算の実績						
予算額／計画額 (%)			66.9%	66.4%	66.0%	66.4%
決算額／計画額 (%)			65.1%	66.2%	65.2%	65.5%

## ② 一般会計・歳出の財政見通しと実績

## &lt;財政見通し&gt;

(単位 百万円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	期間合計
一般財源	78,878	82,216	82,406	243,500
その他財源	47,072	56,088	54,840	158,000
計	125,950	138,304	137,246	401,500

※ その他財源は、国支出金、県支出金、地方債、その他特定財源（利用料など）が含まれます。

※ 上記の表は、平成 23 年 1 月時点の推計値です。

## &lt;実績&gt;

(単位 百万円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	期間合計
一般財源	87,798	87,125	89,627	264,550
その他財源	39,799	42,022	45,508	127,329
計	127,597	129,147	135,135	391,879

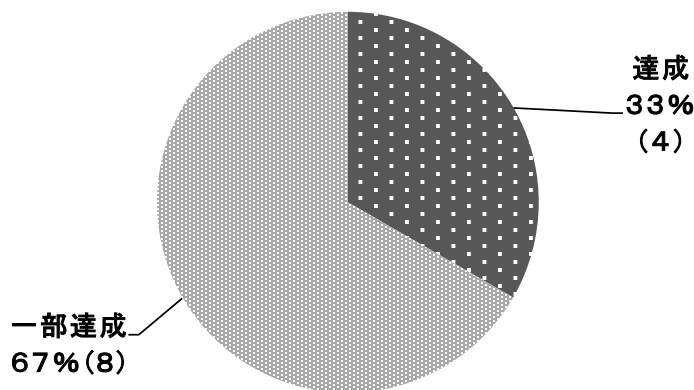
### 3 計画事業の達成状況

#### (1) 戦略プロジェクトの達成状況

第4次実施計画で設定した戦略プロジェクトの達成状況については、ミッションの達成状況により判断しました。「達成」しているものが4戦略プロジェクトで33%、「一部達成」しているものが8戦略プロジェクトで67%となっています。

なお、戦略プロジェクトは第4次実施計画をもって終了しましたが、引き続き取り組んでいく課題については、第5次実施計画に設定しています。

戦略プロジェクトの達成状況については、下記の表のとおりです。



( )内はプロジェクト数の内

後期基本計画に定めるリーディングプラン	戦略プロジェクト	達成状況
(1)市民参加・社会参加促進プラン	1 市民自治検討プロジェクト	一部達成
(2)魅力ある子育て・教育創造プラン	2 魅力ある子育てタウン創造プロジェクト	達成
	3 確かな学力と豊かな人間性を育む教育推進プロジェクト	一部達成
(3)松戸の住みやすさ再生プラン	4 都市計画検討プロジェクト	一部達成
	5 魅力ある大規模団地等検討プロジェクト	一部達成
	6 文化の香りのする街構築プロジェクト	一部達成
	7 病院経営健全化プロジェクト	一部達成
	8 公共施設再編整備プロジェクト	一部達成
(4)地域産業活性化プラン	9 松戸駅周辺地域活性化プロジェクト	一部達成
	10 工業団地のあり方再検討プロジェクト	達成
	11 中小企業支援・商店街活性化プロジェクト	達成
(5)行財政健全・安定化プラン	12 行財政改革プロジェクト	達成

【表の見方（戦略プロジェクト）】

1 〇〇プロジェクト

戦略プロジェクト番号・名称

課題に取り組む担当組織名（平成 25 年度）  
組織改革後の担当課を表示しています

【〇〇部 〇〇課】

【ミッション（使命）】

戦略プロジェクトでめざす任務・使命

【ビジョン（展望）】

戦略プロジェクトを推進することでめざす姿

【ミッションの達成について】

計画期間内における戦略プロジェクトの主な成果  
今後の方向性を記載しています。

達成状況	主な成果や今後の方向性

各戦略プロジェクトに設定したミッションの達成状況をふまえて判断しています

【3年間の取り組み課題】

<主な取り組み>

このプロジェクトでの主な取り組みです

取り組み課題	目標の達成状況	参照
		P. -No.

取り組み課題で設定した目標の達成状況をふまえて判断しています

<関連する取り組み>

このプロジェクトに関連する取り組みです

取り組み課題	目標の達成状況	参照
		P. -No.

# 1 市民自治検討プロジェクト

【市民部 市民自治課】

## 【ミッション（使命）】

市民自治の基本を示す制度の制定に向けた準備を行うとともに、地域の問題は地域で解決する仕組みを検討します。

## 【ビジョン（展望）】

市民自治の基本原則を定める条例などについて、市民や関係団体等と一緒に検討し、市民が主役のまちづくりを進めます。また、地域の団体や NPO 等が連携していけるような仕組みを地域の人々や関係団体等と一緒に検討し、地域の問題は、できるだけ地域で解決していけるようにします。

### ミッションの達成について

達成状況	主な成果や今後の方向性
一部達成	<p>地域の問題を地域で解決する地域の仕組みづくりを検討するため、委員会を設置し、「地域の仕組みづくり検討報告書」をもって、松戸版の地域の仕組みづくりを市長に答申しました。その後、より良い仕組みの構築を目指して、市主催で、様々な地域団体から代表者を集め、意見交流を行う懇談会を実施するとともに、モデル試行実施に向けて3地区（本庁、馬橋、小金地区）で理解を得て、2地区（馬橋、小金地区）で意見交換会を複数回開催しました。今後も松戸ならではの自律した地域社会の実現に向けて、ゆっくりではありますが、着実にその歩みを進めていきます。</p> <p>（成果物）地域の仕組みづくり検討報告書</p> <p>また、市民自治の基本を示す制度の検討においては、平成 23 年度から庁内横断的な「自治基本条例検討分科会」を開催し、研修会、グループワーク、市長への発表会、先進実施自治体への視察などを実施・展開することにより、職員の「市民自治」意識の涵養に努めました。</p> <p>今後も、中長期的な視点で、地域の仕組みづくりと連動しながら、進めていきます。</p>

## 【3年間の取り組み課題】

### <主な取り組み>

取り組み課題	目標の達成状況	参照
市民自治の基本を示す制度や地域の問題は地域で解決する仕組みを検討します。	一部達成	P. 32-No. 2

### <関連する取り組み>

取り組み課題	目標の達成状況	参照
市政の重要課題について、直接住民が意思決定をする仕組みを用意しておくため、住民投票条例をつくります。	一部達成	P. 32-No. 3
公募型委託制度などの仕組みを検討し、その導入を図ります。	未達成	P. 34-No. 5
地域団体、NPO、市職員が地域課題を共有し、活動につなげるためのまちづくり交流広場・サロン事業を推進します。	一部達成	P. 34-No. 6



認知症サポーターやあんしん一声運動の見守りに加え、高齢者支援連絡会を充実し、地域で発生する相談事業を地域包括支援センター等につなぎ、サービスの利用を促進します。	一部達成	P. 51-No. 22
要介護者の台帳を整備し、地域包括支援センターや中核地域生活支援センターなどの機能を充実し、福祉相談窓口のワンストップ化を進めるとともに、地域で活躍するコミュニティソーシャルワーカー（調整役・相談役）を養成し、地域とともに支え合う地域福祉の推進に努めます。	達成	P. 51-No. 23
子どもフォーラムや若者と大人の意見交換会を開催し、子どもたちが地域と将来に関心をもてるようにします。	達成	P. 54-No. 25
保護者・地域住民などによる学校教育支援のための仕組みや組織づくり、人材発掘を推進します。	一部達成	P. 70-No. 45
市民が主体となる学習活動を推進し、まちづくりを担う人材を育成します。	達成	P. 73-No. 48
災害時に一人での避難が困難な人を地域で支援できるようにするための計画をモデル地区で実施するとともに、自主防災組織を充実させます。	一部達成	P. 83-No. 58
市民との連携で、犯罪のおきにくい環境を整備するとともに、特に、子どもたちを犯罪被害から守る活動を促進します。	未達成	P. 97-No. 70

## 2 魅力ある子育てタウン創造プロジェクト

【子ども部 子育て支援課】

### 【ミッション（使命）】

松戸で子どもを生み、育てたくなる魅力ある子育て環境をつくるために必要な施策を推進します。

### 【ビジョン（展望）】

子どもを生み育てたいと思え、子育てするなら松戸に移り住みたいと思えるような、子育てしやすく、子どもの笑顔あふれる街まつどをめざします。そのために、国の「子ども子育て新システム」のモデルをめざし、幼保一体化など、松戸市の特性に応じた制度を構築します。また、松戸市次世代育成支援行動計画（後期計画）に基づき、待機児童の縮小、保育ニーズに合わせた保育サービス提供、放課後の児童の居場所づくりを進めます。

### ミッションの達成について

達成状況	主な成果や今後の方向性
達成	<p>学識経験者等による次世代育成支援行動計画推進委員会から魅力ある子育てタウン創造に向けた提言を受け、施策を検討・推進しました。また、子ども部を設置し、子ども・子育て支援施策の総合的な推進を図りました。</p> <p>（成果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもフォーラムの子どもたちの提言により森のこども館事業を実施</li> <li>○駅前型子育て支援施設としてE-こどもの森・ほっとる一む松戸を開設</li> <li>○大学、市内事業者との連携による子ども・子育て支援事業の実施</li> </ul>

### 【3年間の取り組み課題】

#### <主な取り組み>

取り組み課題	目標の達成状況	参照
国の「子ども・子育て新システム」のモデルをめざして、幼保一体化や、子育てしやすい街づくりのための施策を検討します。	達成	P. 57-No. 29

#### <関連する取り組み>

取り組み課題	目標の達成状況	参照
不妊治療を希望する人に、国、県が助成している補助金の増額を要請し、必要に応じて市独自の補助金を助成します。	達成	P. 46-No. 17
子どもを取り巻く地域や行政が連携し、児童虐待の早期発見、早期対応を図ります。	一部達成	P. 54-No. 24
子どもフォーラムや若者と大人の意見交換会を開催し、子どもたちが地域と将来に関心をもてるようにします。【再掲】	達成	P. 54-No. 25
東部地域など保育需要が増えている地域に保育所を誘致します。	未達成	P. 55-No. 26
多様なニーズに合わせて「一時預かり事業」「特定保育事業」「休日保育」などの保育サービスの拡充を図ります。	一部達成	P. 56-No. 27
駅前型子育て施設の設置推進を図ります。	一部達成	P. 57-No. 30
保護者の就労の有無に関わらず、全ての小学生が安全にすごせる「放課後の居場所」を増やします	一部達成	P. 58-No. 31
放課後・休日の子どもの学習活動を促進するため、社会教育施設等やスポーツ施設の無料化を進めます	達成	P. 75-No. 51

### 3 確かな学力と豊かな人間性を育む教育推進プロジェクト

【学校教育部 指導課】

#### 【ミッション（使命）】

将来の市民を育てるという視点から確かな学力と豊かな人間性を育む教育環境をつくるために必要な施策を推進します。

#### 【ビジョン（展望）】

児童生徒の自ら学び自ら考える力を育成し、確かな学力と豊かな人間性を育むための教育環境整備を進めます。スタッフ派遣の充実を図り、きめ細かな学習指導を行います。児童生徒が小さな「デキル」体験を積み重ねることで、「デキルからヤル気になる」へと学習活動を転換し、学力向上を推進します。英語・言語技術を軸にした小中一貫カリキュラムの構築により、学力の向上と小中学校のスムーズな接続を図ります。また、小・中・高の連携を踏まえた一貫教育のあり方も視野に入れて研究します。地域的な児童生徒増による学校の増築・新設を実施します。また、保護者・地域住民参加の学校支援の仕組みづくりを検討します。

#### MISSIONの達成について

達成状況	主な成果や今後の方向性
一部達成	言語活用科を軸にしたカリキュラム改善や小中連携進展、特別支援教育における支援体制改善に伴った人材支援体制整備、市立高校の充実化に一定の成果は見られましたが、今後も継続的な取り組みが必要であると考えます。

#### 【3年間の取り組み課題】

##### <主な取り組み>

取り組み課題	目標の達成状況	参照
長期的な視野に立った実効性のある教育プログラムにより、確かな学力と豊かな人間性を育みます。	一部達成	P. 65-No. 37

##### <関連する取り組み>

取り組み課題	目標の達成状況	参照
英語・言語技術を軸にした小中一貫カリキュラムを構築します。	達成	P. 65-No. 38
スタッフ派遣事業をはじめとした人材派遣事業を再構築し、児童生徒の学力向上をめざします。	達成	P. 66-No. 39
スポーツや音楽活動をはじめ魅力ある市立高校とするための改革を推進します。	達成	P. 68-No. 42
保護者・地域住民などによる学校教育支援のための仕組みや組織づくり、人材発掘を推進します。 【再掲】	一部達成	P. 70-No. 45
宅地開発等に伴う地域的な児童生徒数の増加への対応のため学校の増築や新設を実施します。	一部達成	P. 70-No. 46

## 4 都市計画検討プロジェクト

【街づくり部 都市計画課】

### 【ミッション（使命）】

都市計画制度の状況を分析し、魅力ある市街地の形成を進めるために、様々な手法を活用して、将来、豊かな松戸につながるようなプランニングを行います

### 【ビジョン（展望）】

生産年齢人口や交流人口の増加を図り松戸の価値を高めるため、現行の都市計画制度及び指定状況を分析します。そのうえで、地域の特性に応じた地域地区や都市施設さらに地区計画制度など様々な手法を活用し、「商業」「工業」「農業」「住宅」「景観」などあらゆる政策と連携を図り、豊かな松戸につながるようなプランニングを行い都市ブランドを構築します。

### ミッションの達成について

達成状況	主な成果や今後の方向性
一部達成	区域区分の見直しについては、住居系の編入候補地区が複数あるものの、千葉県を示す見直し基本方針により拡大は難しい状況となりました。住居系以外として、商業工業系の見直しについては開発事業者が不可欠であることから、今後は対象エリアを絞り込むと伴に事業者を模索する必要があるため、それについて検討を進めていきます。また、東松戸、新松戸地区については個別課題が明確となったため、今後は課題解決のための方策を検討します。

### 【3年間の取り組み課題】

#### <主な取り組み>

取り組み課題	目標の達成状況	参照
松戸市の将来像に適合する都市計画を検討します。	達成	P. 117-No. 93

#### <関連する取り組み>

取り組み課題	目標の達成状況	参照
松戸市の新しい都市ブランドを構築するため、東松戸駅周辺のまちづくりを検討します。	一部達成	P. 118-No. 94
長期未着手路線の必要性を検証し、都市計画道路の見直しを行います。	未達成	P. 124-No. 101
若い人が住みたくなる松戸の都市ブランドを構築するため、市内大学との連携を推進します。	一部達成	P. 133-No. 105

## 5 魅力ある大規模団地等検討プロジェクト

【健康福祉部 健康福祉政策課、街づくり部 住宅政策課】

### 【ミッション（使命）】

UR都市機構などの集合住宅のあるまちについて、自然、歴史文化などの地域特性を活かしつつ、子育て等、特に地域福祉の視点から今後のまちづくりを検討します。

### 【ビジョン（展望）】

UR都市機構などの集合住宅のあるまちが、自然、歴史文化などの地域特性を活かし、今後も魅力を持ち続けられるようにします。そして、若者から高齢者まで、共に生き生きと暮らせるまちにするために、子育ての視点、地域福祉の視点など様々な視点から今後のまちづくりに必要な諸施策を検討します。

### ミッションの達成について

達成状況	主な成果や今後の方向性
一部達成	梨香台団地においては、URの団地再生事業についての具体的な進捗はありませんでしたが地元自治会等との信頼関係を構築することができました。 常盤平団地においては、平成24年度にアート事業の実施により活性化を図りました。平成25年度については、関係者間の意見が合意に至らず、事業の実施が困難となったことから、今後の方策について再検討を進めています。

### 【3年間の取り組み課題】

#### <主な取り組み>

取り組み課題	目標の達成状況	参照
UR都市機構などの集合住宅のあるまちの今後のまちづくりを検討するため、市民、事業者、行政などによる検討体制をつくります。	一部達成	P.120-No.97

## 6 文化の香りのする街構築プロジェクト

【経済振興部 文化観光課】

### 【ミッション（使命）】

戸定邸・千葉大学園芸学部を中心とする地域、小金宿周辺地域、21世紀の森と広場・森のホール21を中心とする地域などのまちづくりを歴史・文化の視点から再検討します。

### 【ビジョン（展望）】

松戸の都市ブランド構築につながる文化・芸術を育てるために必要な施策を検討し、基本的な方針を定めます。そして、博物館、戸定歴史館、21世紀の森と広場などの拠点の魅力を高めます。

また、松戸の歴史的・文化的視点から重要な資源を再確認し、戸定が丘周辺、21世紀の森と広場周辺、小金宿周辺など、文化的資源を活かした地域の特性に合ったまちづくりを進めます。

### ミッションの達成について

達成状況	主な成果や今後の方向性
一部達成	有識者やアンケート調査に基づく松戸市文化芸術振興基本方針を作成し、取り組むべき方向性を示しました。今後は基本方針に基づくイベント等を実施し、その効果測定を行っていきます。 (成果物) 松戸市文化芸術振興基本方針

### 【3年間の取り組み課題】

#### <主な取り組み>

取り組み課題	目標の達成状況	参照
松戸の文化芸術を育む環境をつくるため、文化芸術の振興を図るための基本的な方針を検討します。	達成	P. 79-No. 55

#### <関連する取り組み>

取り組み課題	目標の達成状況	参照
生涯学習活動機能の充実を図るため社会教育施設の再編を検討するとともに、生涯学習センター構想用地の有効活用を検討します。	一部達成	P. 73-No. 49
近年の社会情勢や市民の学習機会を取り巻く多様な状況の変化に伴い、これからの生涯学習社会を支える情報の拠点としての図書館のあり方、図書館ビジョンの策定を検討します。	一部達成	P. 74-No. 50
博物館、戸定歴史館の展示内容を改良するとともに、市保有の美術品の展示を増やします。	達成	P. 78-No. 54
21世紀の森と広場の魅力を高めるため、公園機能の見直し検討を行います。	未達成	P. 103-No. 77
戸定が丘歴史公園（福島県学生寮跡地を取り込んだ戸定が丘一帯）の自然環境の保全や景観の向上を図ります。	一部達成	P. 104-No. 79
矢切の渡し、野菊の墓、本土寺、戸定邸などへの日帰り観光客を増やします。	未達成	P. 112-No. 89

## 7 病院経営健全化プロジェクト

【病院事業管理局 経営企画課】

### 【ミッション（使命）】

医療制度改革や医師・看護師不足等の影響から医業収支が悪化している国保松戸市立病院及び松戸市立福祉医療センター東松戸病院の経営問題について、最適な改善方法を検討します。

### 【ビジョン（展望）】

地域に必要な医療提供体制を確保し、安全で質の高い医療を持続可能なものとするため、国保松戸市立病院及び松戸市立病院福祉医療センター東松戸病院が政策医療を担う公立病院としての経営健全化を図ります。

### ミッションの達成について

達成状況	主な成果や今後の方向性
一部達成	地域医療支援病院や 7 対 1 入院基本料の取得による入院診療単価の向上を実現しました。今後は、健全化に向けた施策体系をトップダウン・ボトムアップの両面から策定・実施することにより、更なる経営健全化に取り組んでいきます。

### 【3年間の取り組み課題】

#### <主な取り組み>

取り組み課題	目標の達成状況	参照
柔軟でアクティブな経営機能を備えた病院のあり方を検討します。	達成	P. 62-No. 35

## 8 公共施設再編整備プロジェクト

【財務部 財産活用課】

### 【ミッション（使命）】

本庁舎や小中学校を含めて、全ての公共施設の管理について、ファシリティ・マネジメントの考え方を取り入れ、資産管理を最適化します。

### 【ビジョン（展望）】

全ての公共施設をはじめとした市有財産の情報を整理し、地域別の状況を市民に公表します。そして、今後の老朽化したり、耐震性に問題のある本庁舎なども含めた公共施設について、市民とともに検討し、複合化も含め、再編に向けた基本的な方針を定めます。また、土地開発公社で所有する土地や学校跡地については、周辺の公共施設のあり方も含めて検討し、有効活用を図ります。

### ミッションの達成について

達成状況	主な成果や今後の方向性
一部達成	<p>市が保有している公共施設について、機能、利用状況、維持管理費や事業運営費などの施設にかかるコスト、将来の大規模修繕や建替えにかかるコスト等、ハードとソフトの両面から施設の実態を把握するため、公共施設白書を作成しました。</p> <p>公共施設白書を公表することにより市民の皆様との情報の共有化が可能になったことから、今後は再編整備問題の周知を図り、ご意見をいただきながら、再編整備基本方針及び基本計画を策定し、公共施設再編整備に向けての課題に取り組んでまいります。</p> <p>（成果物）松戸市公共施設白書</p>

### 【3年間の取り組み課題】

#### <主な取り組み>

取り組み課題	目標の達成状況	参照
老朽化した公共施設の再編に向けて検討し、基本的な方針を定めます	一部達成	P.143-No.120

#### <関連する取り組み>

取り組み課題	目標の達成状況	参照
地域の団体等の活動場所として、市民センターのバリアフリー化などの整備を進め、ならびに町会・自治会等の集会所整備を支援します。	達成	P.33-No.4
生涯学習活動機能の充実を図るため社会教育施設の再編を検討するとともに、生涯学習センター構想用地の有効活用を検討します。【再掲】	一部達成	P.73-No.49
ニーズの減少しているプールは撤退します。	達成	P.76-No.53
廃校になった学校跡地の活用方針を決定します。	一部達成	P.144-No.121
全ての市有財産の価値を公表し、未利用財産の処分も含め、有効に活用できるようにします。	一部達成	P.144-No.122



## 9 松戸駅周辺地域活性化プロジェクト

【街づくり部 街づくり課】

### 【ミッション（使命）】

中心市街地活性化計画の策定を早急に進め、松戸駅の改造に合わせて、松戸の街に交流人口が集うようなプランニングを行います。

### 【ビジョン（展望）】

J R 東日本等が実施する松戸駅の改造を起爆剤として、松戸駅周辺に、人が集い、賑わい、活気のあるまちの実現をめざします。また、本地域（駅周辺）の特色である、身近な江戸川・坂川、戸定が丘歴史公園・千葉大学園芸学部、松戸神社などの地域資源を活用し、水と緑を基調とした、回遊性の高い魅力ある市街地空間（緑水空間）を創造します。

### ミッションの達成について

達成状況	主な成果や今後の方向性
一部達成	<p>地元組織等との意見交換を行いながら、松戸駅周辺のまちづくりの指針となる基本構想素案を作成しました。平成26年度に、議会や地元の方々などの意見を集約するとともに、まちづくり委員会での調査審議を行った後、基本構想を策定します。</p> <p>（成果物）松戸駅周辺まちづくり基本構想素案</p>

### 【3年間の取り組み課題】

#### <主な取り組み>

取り組み課題	目標の達成状況	参照
松戸駅周辺に、人が集い、賑わい、活気のあるまちの実現をめざします。	一部達成	P. 106-No. 80

#### <関連する取り組み>

取り組み課題	目標の達成状況	参照
支所・行政サービスセンターの開設日の増や開設時間の延長を行うとともに、総合窓口（ワンストップサービス）についての検討を進めます。	達成	P. 31-No. 1
生涯学習活動機能の充実を図るため社会教育施設の再編を検討するとともに、生涯学習センター構想用地の有効活用を検討します。【再掲】	一部達成	P. 73-No. 49
戸定が丘歴史公園（福島県学生寮跡地を取り込んだ戸定が丘一帯）の自然環境の保全や景観の向上を図ります。【再掲】	一部達成	P. 104-No. 79
松戸駅周辺の商業（中心市街地）の活性化を図ります。	未達成	P. 107-No. 81
矢切の渡し、野菊の墓、本土寺、戸定邸などへの日帰り観光客を増やします。【再掲】	未達成	P. 112-No. 89
松戸駅周辺のバリアフリー整備を推進するとともに、歩行者などが安心して利用できる快適な歩行空間の整備について検討します。	一部達成	P. 123-No. 99
江戸川・坂川をはじめとする水辺空間の活用を検討します。	未達成	P. 128-No. 103

## 10 工業団地のあり方再検討プロジェクト

【経済振興部 商工振興課】

### 【ミッション（使命）】

工業団地の現況や企業のニーズを分析し、現在ある企業への支援や新たな企業誘致など、将来、豊かな松戸につながるためのプランニングを行います。

### 【ビジョン（展望）】

松戸の経済成長に貢献してきた工業団地の現況を把握するとともに、工業会等との連携を深めるなかで、ニーズを把握します。そして、必要に応じて、現在ある企業への支援策の検討、付加価値の高い製造業など新たな企業の誘致、さらには、土地利用転換の可能性も含めて検討し、市民の雇用や税収の増につながるような施策を検討します。

### ミッションの達成について

達成状況	主な成果や今後の方向性
達成	<p>市内商工業者のニーズを把握・分析し、それを基に市内経済活性化に向けた「松戸市商工業等振興基本方針」を平成24年度に策定しました。今後は、本方針に基づいた具体施策を検討し、実施していきます。</p> <p>（成果物）松戸市商工業等振興基本方針、松戸市企業立地促進基本方針</p>

### 【3年間の取り組み課題】

<主な取り組み>

	目標の達成状況	参照
付加価値の高い製造業など、雇用や税収に繋がる企業の誘致を図ります。	未達成	P. 109-No. 85
市内の商工業の事業者のニーズを把握し、中小企業や商店街が活性化するための検討を行います。 【再掲】	達成	P. 107-No. 82

## 1.1 中小企業支援・商店街活性化プロジェクト

【経済振興部 商工振興課】

### 【ミッション（使命）】

市内の商工業を支える事業者のニーズを把握し必要な支援を行い、活性化することで、将来、豊かな松戸につながるようなプランニングを行います

### 【ビジョン（展望）】

商工会議所をはじめ各種団体との連携を深め、市内の商工業を支える中小企業者のニーズを把握します。そして、既存の中小企業者に必要な支援策を検討するとともに、社会起業家なども含めて松戸で起業しやすい環境づくりを行います。また、市内に数多くある商店会のそれぞれの実情にあった支援策を検討し、空き店舗対策などの充実を図ります。

### ミッションの達成について

達成状況	主な成果や今後の方向性
達成	市内商工業者のニーズを把握・分析し、それを基に市内経済活性化に向けた「松戸市商工業等振興基本方針」を平成24年度に策定しました。今後は、本方針に基づく具体施策を検討し、実施していきます。  (成果物) 松戸市商工業等振興基本方針

### 【3年間の取り組み課題】

#### <主な取り組み>

取り組み課題	目標の達成状況	参照
市内の商工業の事業者のニーズを把握し、中小企業や商店街が活性化するための検討を行います。	達成	P.107-No.82

#### <関連する取り組み>

取り組み課題	目標の達成状況	参照
空き店舗対策など商店会が行う事業を支援し、活性化を図ります。	達成	P.108-No.83
これから起業する方への創業支援や事業者に対して経営相談を充実します。	達成	P.108-No.84
入札制度における透明性の確保、公正な競争の促進とともに、地域産業の振興や雇用の確保にも配慮する等公契約のあり方について総合的に検討します。	達成	P.142-No.118

## 1.2 行財政改革プロジェクト

【総務部 行政経営課、財務部 財政課】

### 【ミッション（使命）】

まちづくりへの投資ができるような財政状況にするためのプランニングを行います。

### 【ビジョン（展望）】

政策目的を明確にした後期基本計画と第4次実施計画を推進するなかで、外部の視点も入れた行政評価などを徹底することで、時代に合わない事業を廃止したり、サービス水準の維持・向上に留意しつつ民間等に移行できる事業は移管を進めます。その結果として、財政の健全化を図り、都市ブランドの構築に必要なまちづくりへの集中的な投資が行える財政をめざします

### MISSIONの達成について

達成状況	主な成果や今後の方向性
達成	<p>第4次実施計画を推進する中で、財政の健全化を図りつつ、都市ブランドの構築のために集中的な投資を行うよう取り組みました。</p> <p>さらに、次期計画となる第5次実施計画を計画と財源の整合をとり、戦略的な実施計画として策定しました。また、平成25年4月に、複雑化、多様化する行政課題をより効率的に解決するため、平成12年度に導入した本部制をフラットな部制とする組織改革を実施しました。</p>

### 【3年間の取り組み課題】

#### <主な取り組み>

取り組み課題	目標の達成状況	参照
計画・財政・評価を一体としたサマリーレビューを実施することで、事業目的や成果を明らかにし、必要な事業に資源を集中します。	達成	P.133-No.106

#### <関連する取り組み>

取り組み課題	目標の達成状況	参照
支所・行政サービスセンターの開設日の増や開設時間の延長を行うとともに、総合窓口（ワンストップサービス）についての検討を進めます。【再掲】	達成	P.31-No.1
後期基本計画の達成状況を市民とともに確認し、市民参加を推進します。	達成	P.134-No.107
総合計画の進捗状況、財政状況などを分かりやすくまとめ、市民に提供するほか、可能な限り、生の情報をネット上で見られるようにします。	達成	P.135-No.108
松戸市の良さを積極的に市内外に伝えるための広報戦略を検討し、推進します。	達成	P.135-No.109
市民と協働して事業を進めたり、政策形成できる意欲をもった職員を増やすため、人材育成基本方針を改定します。	達成	P.136-No.110
民間人の登用も含め、職員が切磋琢磨し、やる気をもてる人事制度を構築します。	達成	P.137-No.111
アウトソーシングを推進し、職員の退職補充を抑制するなどして、人件費を10%削減します。	達成	P.137-No.112

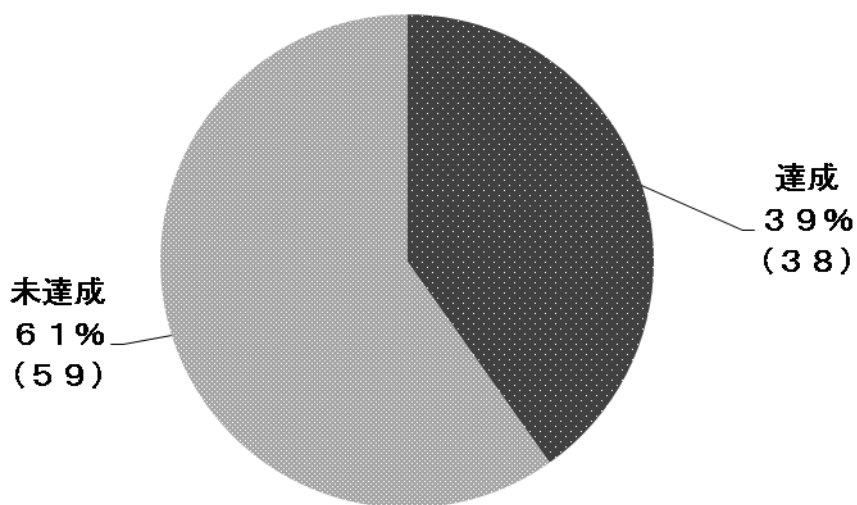
政策立案能力を高め、戦略的に執行できる組織体制を構築します。	達成	P. 138-No. 113
市の債権の徴収体制の整備及び徴収組織の充実を図ります。	達成	P. 141-No. 116
徴収体制の整備や広告媒体として市の資産活用の拡大を図り、自主財源の充実に努めます。	達成	P. 141-No. 117
入札制度における透明性の確保、公正な競争の促進とともに、地域産業の振興や雇用の確保にも配慮する等公契約のあり方について総合的に検討します。【再掲】	達成	P. 142-No. 118
財政健全化に向けて、市民や職員と共有していける制度を検討します。	達成	P. 142-No. 119

## (2) 政策展開の方向の達成状況

### ○めざそう値の達成状況

第4次実施計画期間終了時点で設定しためざそう値の達成状況について、「達成」しているのは97指標中38で、全体の約40%を占めています。

各節別のめざそう値の達成状況については、下記の表のとおりです。

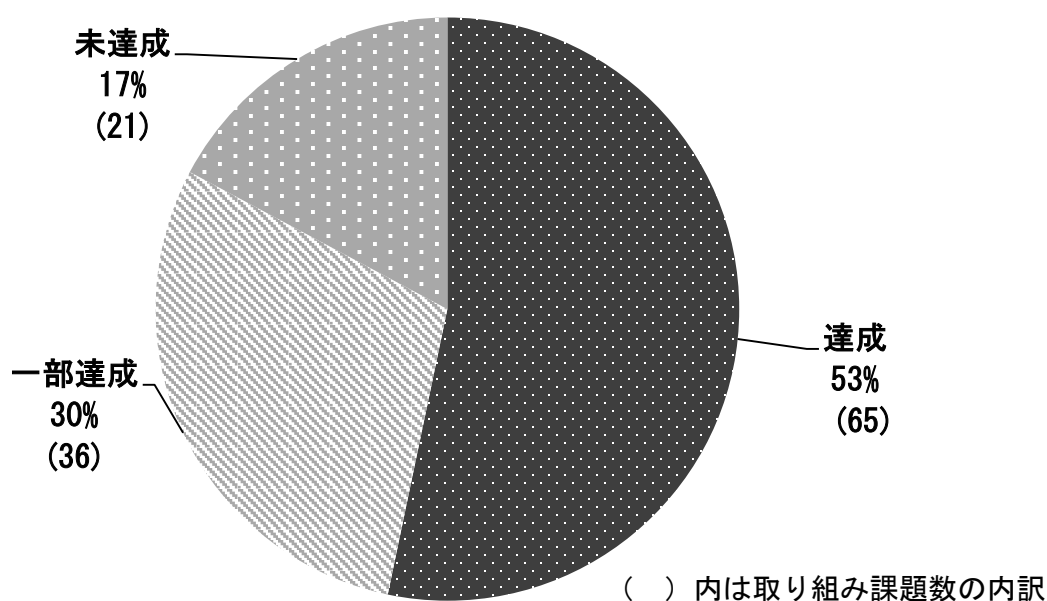


( ) 内は指標の数

節	政策展開の方向	達成	未達成	計
1	連携型地域社会の形成	3	4	7
2	豊かな人生を支える福祉社会の実現	4	12	16
3	次代を育む文化・教育環境	4	8	12
4	安全で快適な生活環境の実現	11	10	21
5	魅力ある都市空間の形成と産業の振興	11	20	31
6	都市経営の視点に立った行財政経営	5	5	10
	計	38	59	97

## ○取り組み課題の目標の達成状況

第4次実施計画に設定した取り組み課題の目標の達成状況について、「達成」「一部達成」となったものが122の取り組み課題のうち101で83%となりました。「未達成」となったものが21あることから、これらの課題については、目標の達成に向けて第5次実施計画期間の中で取り組んでいきます。各節別の取り組み課題の目標の達成状況については、下記の表のとおりです。



節	政策展開の方向	達成	一部達成	未達成	計
1	連携型地域社会の形成	2	5	4	11
2	豊かな人生を支える福祉社会の実現	17	7	1	25
3	次代を育む文化・教育環境	12	7	2	21
4	安全で快適な生活環境の実現	11	6	5	22
5	魅力ある都市空間の形成と産業の振興	10	6	9	25
6	都市経営の視点に立った行財政経営	13	5	0	18
計		65	36	21	122

【表の見方（政策展開の方向）】

第〇節 ○○○○ 基本構想に定める「施策の大綱」の名称

第〇項 ○○○○ 後期基本計画に定める「政策展開の方向」の名称

めざしたい将来像  
 ○○○○ 後期基本計画に定める「政策展開の方向」についてのめざしたい将来像

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度

後期基本計画に定める「めざそう値」の指標、実績値、現状値

第4次実施計画期間終了時点での「めざそう値」、実績値、達成状況

後期基本計画で定める終了時点での「めざそう値」

○ ○○○○ 後期基本計画に定める「施策の展開方向」の名称

施策の展開方向  
 ○○○○ 後期基本計画に定める「施策の展開方向」の内容



事業番号	取り組み課題	担当課
1	支所・行政サービスセンターの開設日の増や開設時間の延長を行うとともに、総合窓口(ワンストップサービス)についての検討を進めます	行政経営課 市民課

めざす成果	目標	対象事業	会計区分
市民が利用しやすい窓口をつくります	行政サービスセンター及び一部支所において、日曜日に開設します	戸籍・住民基本台帳等事業(行政サービスセンター管理運營業務)	一般会計

目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由
↑	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>計画期間内における計画事業の取組状況や主な成果などを記載しています。</p> </div>

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額(千円)	13,782	13,782	13,782	41,346
予算額(千円)	13,782	14,260	24,322	52,364
決算額(千円)	12,234	11,662	18,739	42,635

第4次実施計画期間中の平成23～25年度までの計画額・予算額(当初)・決算額を記載しています。また、「―」と記載しているものについては検討事業等であるものになっています。

対象事業が「(再掲)」の場合、計画額・予算額・決算額については再計となっています。

取り組み課題で設定した目標の達成状況をふまえて判断しています。目標の達成状況は4区分で、それぞれの設定基準は以下の通りです。

達成	数値を目標としている場合、目標値に到達した場合、または取り組みを目標としている場合、その実現に至った場合
一部達成	数値を目標としている場合、基準となる値よりも前進した場合。または取り組みを目標としている場合、実現までには至らなかったが前進した場合
未達成	数値を目標としている場合、基準となる値よりも後退した場合
未実施	取り組みを実施せず先送りにするもの

## 第1節 連携型地域社会の形成

### 第1項 市民と行政の協働を推進します

#### めざしたい将来像

「市民の自立」「市民や事業者などと行政の対等な関係」をめざす協働のまちづくりを推進し、安全・安心な豊かで、活力のある郷土愛に満ち、市民みんなが誇りに思える“ふるさとまつど”を実現します。そのため、支所など地域拠点の機能を高め、市民同士、市民と行政、行政組織同士などの連携を進めます。また、地域活動（町会・自治会活動、地区社会福祉協議会の活動）、NPO活動、ボランティア活動のそれぞれの活性化を図ります。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
市民活動（地域活動、NPO活動、ボランティア活動など）に参加している人の割合	27.1%	33.9%	26.0%	30%	28.9%	未達成	40%
市が協働する事業件数	—	—	169件 (19年度)	215件	179件	未達成	250件
NPO法人の数	26団体	111団体	114団体	137団体	147団体	達成	150団体
中間支援分野で活動している団体の割合	—	—	8.1%	13%	8.1%	未達成	25%

① 地域に根ざした協働の基盤づくりを推進します

施策の展開方向

8つの支所が、地域住民にとっての身近な窓口機能を発揮できるように、相談機能を含め充実を図ります。また、市民センターが、地域活動の核としての機能を維持できるよう、施設活用の適正化を図ります。

また、町会・自治会のコミュニティ活動を支援するため、その拠点となる集会所や、連絡機能としての掲示板についての設置等の支援を行います。

そして、地域の課題、要望等について、適切な意見交換を行えるよう、市政協力委員連合会と協議を図りながら、市長が市政協力委員等と懇談する場を設けていきます。さらに、地域の問題は地域で解決する仕組みづくりを進めます。

計画番号	取り組み課題			担当課
1	支所・行政サービスセンターの開設日の増や開設時間の延長を行うとともに、総合窓口(ワンストップサービス)についての検討を進めます			市民課、行政経営課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	市民が利用しやすい窓口をつくります	行政サービスセンター及び一部支所において、日曜日に開設します	戸籍・住民基本台帳等事業(行政サービスセンター管理運営業務)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	◎平成15年10月1日 松戸駅構内に証明発行窓口として開庁しました。 ◎平成23年1月 毎月第2日曜日の休日開庁を開始しました。 ◎平成24年4月 毎月第2日曜日に変えて毎週土曜日開庁を実施しました。 ◎平成25年7月1日 窓口業務部分を民間事業者に委託を開始しました。 ◎平成25年7月 毎週土曜日に加え、毎月第2・第4日曜日開庁を実施しました			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額(千円)	13,782	13,782	13,782	41,346
予算額(千円)	13,782	14,260	24,322	52,364
決算額(千円)	12,234	11,662	18,739	42,635

計画番号	取り組み課題			担当課
2	市民自治の基本を示す制度や地域の問題は地域で解決する仕組みを検討します			市民自治課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
地域の課題は、地域で解決していける仕組みができ、市民が主役のまちづくりが進みます		地域の団体やNPO等が連携して、地域の課題に効果的に取り組みます	市民自治検討事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	<p>地域の問題を地域で解決する地域の仕組みづくりを検討するため、委員会を設置し、「地域の仕組みづくり検討報告書」をもって、松戸版の地域の仕組みづくりを市長に答申しました。</p> <p>その後、より良い仕組みの構築を目指して、市主催で、様々な地域団体から代表者を集め、意見交流を行う懇談会を実施するとともに、モデル試行実施に向けて3地区(本庁、馬橋、小金地区)で理解を得て、2地区(馬橋、小金地区)で意見交換会を複数回開催しました。しかし、地域団体、NPO等が連携して、地域の課題に効果的に取り組むモデル地区を試行するまでには至りませんでした。</p> <p>また、平成23年度から庁内横断的な「自治基本条例検討分科会」を開催し、研修会、グループワーク、市長への発表会、先進実施自治体への視察などを実施・展開することにより、職員の「市民自治」意識の涵養に努めました。</p>			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額(千円)	—	—	—	—
予算額(千円)	700	556	455	1,711
決算額(千円)	768	377	377	1,522

計画番号	取り組み課題			担当課
3	市政の重要課題について、直接住民が意思決定をする仕組みを用意しておくため、住民投票条例をつくります			行政経営課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
市民の特に関心の高い重要案件については、直接、市民の意思を確認できるようになります		住民投票条例を平成23年度までに制定します	住民投票制度検討事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	<p>住民投票条例を制定できるように取り組んできたところですが、平成25年9月議会に提出した議案は継続審査となり、同年12月議会で否決となりました。</p>			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額(千円)	462	0	0	462
予算額(千円)	462	0	0	462
決算額(千円)	424	0	0	424

計画番号	取り組み課題			担当課
4	地域の団体等の活動場所として、市民センターのバリアフリー化などの整備を進め、ならびに町会・自治会等の集会所整備を支援します			市民自治課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
地域の団体の活動の核となる施設が整備されます		現状38.2%の市民センター利用率を上昇させます	市民センター管理運営事業(バリアフリー化推進業務) 町会集会所等支援事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	全17センターのうち9センターでバリアフリー化の整備が完了しました。今後も残りのセンターのバリアフリー化を推進していく予定です。また、町会・自治会等の集会所整備については、予算の範囲内での補助事業が完了しました。 【市民センター利用率】 H23実績値 39.4% H24実績値 41.3% H25実績値 41.4%			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額(千円)	88,144	92,200	92,200	272,544
予算額(千円)	88,144	147,200	133,420	368,764
決算額(千円)	82,059	139,638	137,558	359,255

## ② 協働を推進するための環境を整備します

### 施策の展開方向

「松戸市協働のまちづくり条例」に基づき、市民活動の活性化の支援と協働の推進を行います。

市民活動を始めたい人が、すぐに始めることの出来るように情報発信や相談などのコーディネート機能を高めたり、市民活動団体の組織や事業を支援できるような体制づくりを進めます。

また、市民活動団体や事業者と市が一緒になって地域課題の解決に取り組めるよう、共に企画をしたり、話し合える場を増やします。

そして、まつど市民活動サポートセンターについては、機能の充実を図るとともに、身近な場所で相談等が受けられるよう、拠点の確保を図ります。また、NPOを支援できるNPO（中間支援組織）が育つ環境を整備します。

計画番号	取り組み課題			担当課
5	公募型委託制度などの仕組みを検討し、その導入を図ります			市民自治課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
協働の選択肢が増えます		NPO が年間2件受注できるようにします	協働のまちづくり推進事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
未達成	他市の事例を収集するにあたり、あまり例の無い制度であることが判明しました。今後、研究を深めるにあたり、当該制度(類似も含め)を持つ自治体へのヒアリングを実施するほか、本市の協働事業提案制度等との兼ね合いも充分研究していく必要があります。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	5,373	14,623	13,859	33,855
予算額 (千円)	5,373	3,544	2,478	11,395
決算額 (千円)	3,270	2,519	1,911	7,700

計画番号	取り組み課題			担当課
6	地域団体、NPO、市職員が地域課題を共有し、活動につなげるためのまちづくり交流広場・サロン事業を推進します			市民自治課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
様々な主体が地域課題の解決に関わるようになります		まちづくり交流広場・サロンのモデル事業を実施します	協働のまちづくり推進事業(再掲)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	事業を実施するにあたり、地域の課題解決に取り組む「地域の問題は地域で解決する仕組み」の検討に含めることが有効であると考え検討を進めました。第5次実施計画において、「地域の問題は地域で解決する仕組み」の取り組みに含めて、モデル地区試行の実現を図っていきます。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	5,373	14,623	13,859	33,855
予算額 (千円)	5,373	3,544	2,478	11,395
決算額 (千円)	3,270	2,519	1,911	7,700

## 第2項 一人ひとりの人権が尊重される地域社会

をつくります

### めざしたい将来像

松戸に住む全ての人が互いに認め合い、多様な形でかかわりあえる「平等で人間性豊かな地域社会」を、自分たちで創り上げることをめざします。そのために、学習・交流など、様々な活動を心掛けます。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
身の回りで人権が守られていると思っている人の割合	42.4%	41.3%	45.7%	51.3%	48.1%	未達成	60%

施策の展開方向

平成9年2月策定の「松戸市人権施策に関する基本方針～このまちに人権文化を築くために～」、平成11年11月策定の「人権施策推進に係る指針」に基づき、市民の人権意識の高揚、人権侵害被害者を救護支援する仕組みづくり、人権尊重の市役所づくりを進めます。

具体的には、人権に関する講演会、人権講座の開催等の人権啓発事業を実施し、市民の人権に関する意識を高めていきます。また、人権問題に係わる相談を受ける窓口の連携を高め、新たな人権問題にも適切に対応できる相談体制を築きます。そして、市の各課に配置されている人権施策推進員を中心に、全庁的に人権施策を推進していきます。

計画番号	取り組み課題			担当課
7	人権に関する資料を作成するなど、人権啓発事業を推進します			行政経営課
めざす成果	目標	対象事業	会計区分	
人権施策への理解・普及を進めることにより、人権意識の高揚・向上が図られます	人権啓発に関するハンドブックを市民と協働で作成します	人権施策推進事業	一般会計	
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	主要な人権団体との面談や、各種講演会、研修会に参加し、人権課題についての考え方を確認しましたが、さまざまな人権問題に関して、各種団体の見解が対立しているため、統一見解を見出せず、作成には至りませんでした。			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額(千円)	274	274	3,286	3,834
予算額(千円)	274	232	3,191	3,697
決算額(千円)	262	257	3,130	3,649



計画 番号	取り組み課題			担当課
8	関係機関との連携を図り、人権相談機能を充実します			行政経営課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
人権相談窓口の存在が周知されるとともに機能が充実し、人権が侵害され被害に遭った市民がすぐに適切な相談を受けることができます		平成21年度、434件の人権相談件数(松戸法務局管内)を600件程度まで増やします	人権被害者相談事業	一般会計
目標の達成状況		これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由		
未達成		市役所相談コーナーにおいて毎月4回、六実・小金原・新松戸の各支所及び市民センターにおいて月1回の相談コーナーを開設しました。人権相談件数は、過去少しずつ増えてきましたが、平成25年は、野田市が柏法務局の管轄に移管となったため減少しました。当初の目標値に達することはできませんでしたが、平成25年度は、新たに相談窓口として新松戸市民センターを追加しており、過去の相談件数の増加を考慮すると、一部達成できたものと考えています。 【人権相談件数】 H23実績値 477件 H24実績値 487件 H25実績値 399件		
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額(千円)	1,369	1,369	1,369	4,107
予算額(千円)	1,369	1,404	1,404	4,177
決算額(千円)	1,368	1,403	1,403	4,174

計画 番号	取り組み課題			担当課
9	人権研修及び人権教育・啓発のさらなる充実を図ります			行政経営課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
人権教育・啓発の手法、参加者への周知方法等を検討することにより、人権教育・啓発事業への参加者が増え、人権意識の高揚・向上が図られます		平成21年度、666人の人権研修等の参加者を倍増します	人権啓発推進事業	一般会計
目標の達成状況		これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由		
一部達成		人権研修、現地学習、講演会を実施したものの目標値に達することはできませんでした。 【人権研修等への参加者数】 H23実績値 658人 H24実績値 657人 H25実績値 898人		
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額(千円)	757	641	1,351	2,749
予算額(千円)	757	901	972	2,630
決算額(千円)	735	757	765	2,257

### 第3項 男女共同参画の地域社会をつくります

#### めざしたい将来像

男女がお互いに相手の人権を大切に思い、ともに責任を分かち合い、個性や能力をフルに発揮できるまちをめざします。それは、男女が対等なパートナーとして、いろいろな分野に参画できるまちです。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
固定的性別役割 分担を支持しな い人の割合	43.4%	43.8%	43.2%	45%	48.0%	達成	50%
女性の就業割合	54.7%	53.5%	50.3%	55%	61.9%	達成	60%

### 施策の展開方向

平成10年度にスタートした「松戸市男女共同参画プラン」に基づき、市民と行政とが一体となって、男女共同参画社会の実現に取り組んでいきます。

男女が互いの人権を尊重し、一人ひとりが自分らしく生きることを大切にされるまちづくりのため、講座・イベントの実施や情報の提供、個別の相談事業を行っていきます。

出産・結婚等で離職した女性の再就職を支援する講座や相談などの支援を行います。また、子どもの個性を育む学習支援を行っていきます。

男女共同参画を推進するボランティア団体と、市との協働を進め、イベントの開催などを定期的に実施していきます。

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を、男女共同参画の視点からも推進し、個々人が自らの望むバランスで仕事と生活をしていけるような社会に向けて、市民に働きかけていきます。

なお、行政の施策を総合的に展開するため、庁内の関連部署における施策の進行状況を定期的に把握していきます。

計画番号	取り組み課題			担当課
10	女性の就労環境の整備を推進していきます			男女共同参画課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	女性の再チャレンジを支援し、もって就労をはじめとするあらゆる分野で男女が対等に参画できるようにします	平成21年度、322人だった講座やイベントなどの参加者を増やします	男女共同参画支援事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
未達成	平成24年度より連続講座を10回から8回に短縮となりましたが、講座内容の充実化を図ることで参加者の満足度を維持することができました。女性の就労に関わる相談窓口の増加に伴い、本事業の特徴を生かして参加者の増加を図っていきます。 【講座、イベントなどへの参加人数】 H23実績値 133人 H24実績値 213人 H25実績値 206人			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額（千円）	8,874	7,274	7,300	23,448
予算額（千円）	8,874	7,708	7,583	24,165
決算額（千円）	8,817	6,887	6,590	22,294

計画番号	取り組み課題			担当課
11	男女共同参画推進グループの、既存団体・新規団体の交流を推進し、ともに活性化していきます			男女共同参画課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
男女共同参画の推進を担う市民団体の育成や支援をし、市民が市民を支えるシステムを構築します		平成21年度、21団体だった男女共同参画推進グループ登録数を増やします	男女共同参画支援事業(再掲)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
未達成	新規参加団体は増えましたが、団体メンバーの高齢化等のため活動継続が困難な団体がそれを上回りました。 第5次実施計画において、引き続き推進グループの増加を図っていきます。 新規登録団体数 3団体、活動停止団体数 5団体 【男女共同参画推進グループ数 (2年に1度更新)】 平成23年7月末現在 22団体 平成25年7月末現在 19団体			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	8,874	7,274	7,300	23,448
予算額 (千円)	8,874	7,708	7,583	24,165
決算額 (千円)	8,817	6,887	6,590	22,294

## 第2節 豊かな人生を支える福祉社会の実現

### 第1項 健康に暮らすことができるようにします

## めざしたい将来像

自らの健康に関心を持ち、社会参加することを通して、一人ひとりが目的を持った生きがいのある暮らしを生み出します。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
生きがい感を持っている人の割合	80.3%	80.7%	79.0%	80%	75.4%	未達成	80%
本人が健康であると思う人の割合	66.4%	64.3%	65.9%	67%	63.6%	未達成	70%
健康づくりに関する講座やイベントへの参加者数	—	—	1,044人	1,300人	444人	未達成	1,400人
ホームドクター（かかりつけ医）を持つ人の割合	—	—	56.5%	60%	62.9%	達成	65%
多様な世代と交流する機会のある人の割合	—	—	5.6%	7%	4.1%	未達成	10%

### ① 生きがいを持ちます

#### 施策の展開方向

「シニア交流センター」や「老人福祉センター」では、高齢者が、住みなれた地域や家庭において自己の個性や能力を最大限に発揮し、生きがいを持って生涯を過ごすことができるように、様々な高齢者の状況に合わせた支援を充実させていきます。

地域の高齢者の自主組織である「老人クラブ」を地域福祉活動の担い手として、会員の方々にとって魅力ある活動として発展できるよう支援していきます。

高齢者の経験や技能を生かした就労を援助するため、「公益社団法人松戸市シルバー人材センター」を支援します。

障害のある人が、就労の場で、個々の状況にあわせて働くことができるような援助を行うとともに、文化・芸術活動やスポーツ活動などの社会参加の機会の充実を図ります。

計画番号	取り組み課題			担当課
12	シルバー人材センターを引き続き支援するとともに、シニア交流センターを活性化するため、世代間交流や、認知症予防教室を開催します			高齢者支援課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
元気な高齢者が個性をもって活動できる環境をつくります		平成21年度、7,601人だったシニア交流センター利用者を12,000人程度に増やします	シニア交流センター管理運営事業 シルバー人材センター関係事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	シルバー人材センター・おやこDE広場・はつらつクラブ連合会等の関係者による、連絡会議を組織しセンターの活性化へ向けて協議を行いました。 【シニア交流センター利用者数】 H23実績値 13,866人 H24実績値 14,848人 H25実績値 14,052人 ※おやこDE広場利用者を含む			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額(千円)	52,423	54,882	54,882	162,187
予算額(千円)	52,423	50,752	50,090	153,265
決算額(千円)	47,895	45,592	49,905	143,392

## ② 病気を予防し、早期に発見します

### 施策の展開方向

「自らの健康は自らつくる」ことを基本に、自主的な健康活動を支援するため、健康づくりのための教室や講話などを充実させていきます。

長年にわたる生活習慣に起因する生活習慣病をはじめ、がん、女性特有の疾病など各種健康診査サービスの充実を図り、受診勧奨を行います。

市民一人ひとりの気づきと見守りで自殺を防げるように、心の健康・うつ病や自殺について市民への情報提供と啓発活動をします。

選食力を養いよくかんで、心も身体も健やかになるよう、健全な食生活に関する指針の普及を図り、ライフステージに応じた食生活の実践を促す食育を推進します。

計画番号	取り組み課題			担当課								
13	がん検診や特定健康診査の受診率の向上を図ります			健康推進課								
めざす成果		目標	対象事業	会計区分								
市民が自らの健康状態を理解できるようになり、病気の早期発見が可能となり、医療費の抑制にもつながります		がん検診受診率（平成21年：22.7%）、特定健診受診率（同：25.0%）を上昇させます	がん検診事業 特定健康診査等事業費	一般会計・ 国民健康保険特別会計								
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由											
達成	<p>21年度より子宮がん及び乳がん検診、24年度より大腸がん検診にて、対象となる年齢の方に無料クーポン券を送付しました。一時的には受診者数が増加しましたが対象者数も増加しており、受診率の増加にはつながりませんでした。特定健康診査については、受診体制の充実、受診勧奨の強化等により、24年度受診率29.8%となっており、25年度も目標を達成できる予定です。（11月に取得予定）今後もこれらの取り組みを踏まえ、受診率向上を図ります。</p> <p>【がん検診受診率（平均）】</p> <table border="0"> <tr> <td>H23実績値 23.3%</td> <td>【特定健診受診率】</td> </tr> <tr> <td>H24実績値 24.3%</td> <td>H23実績値 26.9%</td> </tr> <tr> <td>H25実績値 22.8%</td> <td>H24実績値 29.8%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>H25実績値（11月に取得予定）</td> </tr> </table>				H23実績値 23.3%	【特定健診受診率】	H24実績値 24.3%	H23実績値 26.9%	H25実績値 22.8%	H24実績値 29.8%		H25実績値（11月に取得予定）
H23実績値 23.3%	【特定健診受診率】											
H24実績値 24.3%	H23実績値 26.9%											
H25実績値 22.8%	H24実績値 29.8%											
	H25実績値（11月に取得予定）											
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計								
計画額（千円）	1,011,665	1,111,810	1,114,752	3,238,227								
予算額（千円）	1,011,665	1,111,811	1,106,025	3,229,501								
決算額（千円）	816,206	901,387	891,685	2,609,278								

計画番号	取り組み課題			担当課			
14	自殺予防対策を充実させるため、対応職員のスキルアップを図り、市民への啓発活動を行います			健康推進課			
めざす成果		目標	対象事業	会計区分			
市民一人ひとりの気づきと見守る環境をつくり、自殺者数を減少させます		平成21年度、228人であった自殺予防に関心を持ち講座等に参加する人数を増やします	地域自殺対策緊急強化基金事業 自殺対策事業（平成25年度）	一般会計			
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由						
達成	<p>22年度から一貫して、補助金を活用して事業を行うことが出来ました。普及啓発のための一般向け講演会では心の健康そのものや自殺予防に関心を持つ市民を増やすことが出来ました。また、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげる「ゲートキーパー」養成研修では行政関連職員や民生児童委員、健康推進員等広く参加が得られました。他に対応職員向けのスキルアップ研修により適切な相談業務を行えるような体制を整えました。</p> <p>【講座等参加者数（一般市民対象講演会とゲートキーパー養成研修会）】</p> <table border="0"> <tr> <td>H23実績値 797人</td> </tr> <tr> <td>H24実績値 735人</td> </tr> <tr> <td>H25実績値 563人</td> </tr> </table>				H23実績値 797人	H24実績値 735人	H25実績値 563人
H23実績値 797人							
H24実績値 735人							
H25実績値 563人							
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計			
計画額（千円）	2,452	1,800	1,900	6,152			
予算額（千円）	2,452	1,150	1,075	4,677			
決算額（千円）	2,176	1,105	1,039	4,320			

③ 病気を治します

施策の展開方向

市民が身近な地域で医療サービスを受けられるよう、日頃から、かかりつけ医をもつように啓発するとともに、地域の中核的な病院と診療所との連携を図り、地域において必要な医療体制の確保を図ります。

松戸市医師会、松戸歯科医師会、松戸市薬剤師会と協力し、急病の時には、休日や夜間であっても市民が安心して医療を受けられる体制を提供します。

計画番号	取り組み課題			担当課
15	夜間・休日等救急医療対策事業のあり方を検討します			地域医療課
めざす成果	目標	対象事業	会計区分	
財源の有効活用を図ります	夜間・休日等救急医療対策事業費を減らします	夜間・休日等救急医療対策事業	一般会計	
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	夜間・休日等救急医療対策事業費の削減のため、歯科診療業務のうち、「休日・土曜日夜間歯科診療所」管理運営委託料の歯科医師人件費の削減について松戸歯科医師会と協議を重ねました。平成25年度から人件費を削減しました。 【夜間・休日等救急医療対策事業費決算額】 H23実績値 277,001千円 H24実績値 276,452千円 H25実績値 275,583千円			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	—	—	—	—
予算額 (千円)	—	—	—	—
決算額 (千円)	—	—	—	—



④ 受療環境を整備します

施策の展開方向

子育て中の家庭や経済的に困窮している家庭でも医療サービスを受けやすくするため各種医療費の助成事業を行い、受療環境の整備を図っていきます。  
また、国民健康保険等も適正な事業運営に努めます。

計画番号	取り組み課題			担当課
16	ジェネリック医薬品の普及促進、レセプト点検の強化、国民健康保険料の収納率向上により、医療費と保険料の抑制に努めます			国民健康保険課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	被保険者間の公平性を確保し、負担感を軽減します	保険給付費と保険料率を抑制します	保険給付関係事業 保険料賦課徴収関係事業	国民健康保険特別会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	ジェネリック医薬品差額通知をH25年度は2回送付し拡充を図った結果、保険給付費の伸び率を抑制することができました。また、10月よりベイジ一口座振替サービスを導入した結果、収納率は前年度より0.43%の伸びの90.09%となり、保険料率を据え置くことができました。引き続き、保険給付費の抑制と保険料の確保に努めていきます。 【保険給付費の伸び率】 H22実績値→H23実績値 3.20% H23実績値→H24実績値 3.28% H24実績値→H25実績値 2.25%			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	—	—	—	—
予算額 (千円)	—	—	—	—
決算額 (千円)	—	—	—	—

計画 番号	取り組み課題			担当課
17	不妊治療を希望する人に、国、県が助成している補助金の増額を要請し、必要に応じて市独自の補助金を助成します			子ども家庭相談課母子保健担当室
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
不妊治療を希望する人が受けられるようにします		助成金の周知を図ります	不妊治療助成事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	平成24年度より、市独自の補助金助成を開始しました。 【助成金の決定件数】 H24実績値 250件 H25実績値 469件			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額（千円）	0	48,000	48,000	96,000
予算額（千円）	0	30,102	28,541	58,643
決算額（千円）	0	17,659	32,449	50,108

## 第2項 病気や障害、高齢などを理由に生活に支障

があっても、自立した生活が送れるようにします

### めざしたい将来像

市民一人ひとりが、どう生きたいか、どう老いるかを考えて生活を送るようにします。そして、自助・共助・公助を高めて、個人の尊厳を保ちながら生きられ、誰もが自立した生活を安心して送れるまちを実現します。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
日常生活に対して不安を感じていない人の割合	3.6%	4.0%	3.0%	3%	5.1%	達成	3%
地域包括支援センター・在宅介護支援センター相談件数	—	16,827件	20,308件	24,000件	20,052件	未達成	29,000件

#### ① 必要なときに介護が受けられます

##### 施策の展開方向

高齢者が、できる限り、要支援・要介護状態になったり、重度化したりせずに、いつまでも元気に暮らせるように、「予防重視型システム」を推進します。しかしながら、介護を必要とする人には、必要なサービスを総合的、一体的に提供できるような環境整備を行っていきます。また、日常生活に支障のある高齢者を身近な地域でサポートできるように、地域のボランティア等と連携し、市民生活の安全、安心の向上に努めます。

障害のある人も地域で自立した生活を送れるよう、必要な情報を提供しながら、必要なサービスがいつでも利用できるよう障害福祉サービスの利便性の向上に努めます。

計画番号	取り組み課題			担当課
18	高齢になっても、元気で、介護が必要にならないように、NPOとの協働で行う運動教室を促進したり、民間スポーツクラブなど多様な事業者による魅力ある介護予防プログラムを導入します。また、介護支援ボランティアの導入を検討します			高齢者支援課、健康推進課
めざす成果	目標	対象事業		会計区分
元気な高齢者が増えます	平成21年度、255人だった通所型介護予防事業参加者や運動教室の指導員を増やします	通所型介護予防事業 介護予防普及啓発事業 高齢者健康推進事業(高齢者運動教室開催業務) 介護支援ボランティア事業		介護保険 特別会計 ・一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>通所型介護予防事業対象者に対して、事業への参加を促しより多くの対象者が参加するよう働きかけました。</li> <li>平成24年度に介護支援ボランティア制度の導入し、登録者数を促しました。(H25実績値 登録者数283人)</li> <li>協働事業で取り組んだNPO法人との事業も軌道にのり、各地、地区社会福祉協議会等でも高齢者の運動教室が開催されるようになってきました。市民全体での展開を推進するため、高齢者に限局する運動教室は25年度を持って終了としました。</li> </ul> <b>【通所型介護予防参加者数】</b> H23実績値 409名 H24実績値 442名 H25実績値 470名			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	43,740	58,284	64,024	166,048
予算額 (千円)	43,740	80,703	85,660	210,103
決算額 (千円)	36,096	60,986	70,193	167,275

計画番号	取り組み課題			担当課
19	障害のある方に対する権利擁護を推進し、必要なサービスを受けられるようにします			障害福祉課
めざす成果	目標	対象事業		会計区分
障害者の自己決定に伴う自立した生活につなげます	平成21年度、3件だった市長による後見等申立てを増やします	地域生活支援事業(相談支援業務) (成年後見制度支援業務(平成25年度))		一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	申し立て費用の補助が必要な人には補助を行い、障害のある方の権利擁護を行いました。 <b>【成年後見制度市長申し立て件数】</b> H23実績値 6件 H24実績値 9件 H25実績値 6件			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	15,494	16,781	17,350	49,625
予算額 (千円)	15,494	19,363	18,846	53,703
決算額 (千円)	14,965	18,065	19,244	52,274

計画 番号	取り組み課題			担当課
20	障害福祉サービスについて、業務内容を精査します			障害福祉課
めざす成果	目標	対象事業		会計区分
難病患者への継続的な援護施策が確保 できます	難病患者援護事業を見直します	障害者手当等給付事業(難病患者援護 費)		一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	障害者総合支援法改正により平成25年度から障害福祉サービスの対象者に難病の方も含まれることとなりました。難病患者援護金事業については、国の難病施策が根本的に見直されている最中であり、その結果を踏まえて対応していく必要があります。現在、近隣市の動向について情報を収集しながら、難病患者への継続的な援護確保の視点で、検討を進めています。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	—	—	—	—
予算額 (千円)	—	—	—	—
決算額 (千円)	—	—	—	—

② 必要なときに生活の援助が受けられます

施策の展開方向

経済的に困窮し、保護が必要なときは、生活扶助、住宅扶助、教育扶助、医療扶助、介護扶助、出産扶助、生業扶助、葬祭扶助を給付し、最低限度の生活の保障を行います。また、要保護者の自立を促すため、就労の指導や援助などを行っていきます

計画番号	取り組み課題			担当課
21	稼働年齢にあり就労可能な生活保護受給者の就職支援に向けて、就労支援プログラムの強化及びハローワークや民間企業との連携を図ります			生活支援一課、生活支援二課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
就労を支援し、被保護者、被保護世帯数の割合の減少を図ります		平成21年度、121人だった就労支援プログラム実施者を大幅に増やします	生活保護決定・実施事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	生活保護受給者の就労支援に関する協定締結等、ハローワークとの連携強化を図りました。 【就労支援プログラム実施者】 H23実績値 486人 H24実績値 545人 H25実績値 545人			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額(千円)	171,576	171,576	171,576	514,728
予算額(千円)	171,576	170,341	182,792	524,709
決算額(千円)	152,639	159,480	176,491	488,610

③ 必要なときに必要な人がサービスを受けられる体制を確立します

施策の展開方向

市民が地域福祉活動を積極的に安定的に続けられるよう、松戸市社会福祉協議会による地域ぐるみの福祉ネットワーク事業などを支援します。

高齢者や家族の相談を随時、受け入れられるように、地域ケアの拠点としての地域包括支援センターとそのランチ窓口としての在宅介護支援センターの連携を強化し、支援体制を充実します。

高齢者や障害のある人などが権利を侵されることがないように、個々の日常生活に対する相談機能の充実を図り、自らが権利の主体であることを自覚し、自分の意思を表明できるよう支援します。また、認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が不十分な人の権利擁護を図り、サービスの利用支援や財産管理をはじめとする、総合的な支援を充実します。

特に、ひとり暮らしの高齢者などが、安心して生活できるように、孤独死などにならない新たな支えあいを求めて、地域・NPOなどと連携を図っていきます。

計画番号	取り組み課題			担当課	
22	認知症サポーターやあんしん一声運動の見守りに加え、高齢者支援連絡会を充実し、地域で発生する相談事業を地域包括支援センター等につなぎ、サービスの利用を促進します			高齢者支援課	
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分	
	地域の身近なところで、福祉サービスが受けられるようにし、高齢者や単身世帯の方が住みなれた地域で安心して暮らせるようにします	平成21年度、8箇所だった高齢者支援連絡会を15箇所にし、オレンジ声かけ隊の人数を1,500人にします。	高齢者支援連絡会関係業務 あんしん一声運動業務	介護保険 特別会計	
	目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
	一部達成	<p>・認知症サポーター養成講座を市民・学校・企業等に広く周知しました。また、認知症サポーター養成講座実施時に、オレンジ声かけ隊への積極的な登録を促しました。</p> <p>・高齢者支援連絡会の設置目標は15箇所であったが、多様な活動ニーズを確認しながら活動を進めました。</p> <p>【オレンジ声かけ隊登録数】 H23実績値 1,288人 H24実績値 1,771人 H25実績値 2,055人</p> <p>【高齢者支援連絡会箇所数】 H25実績値 9箇所</p>			
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
	計画額（千円）	11,251	18,507	18,608	48,366
	予算額（千円）	11,251	11,165	11,361	33,777
	決算額（千円）	11,145	10,980	11,171	33,296

計画番号	取り組み課題			担当課	
23	要援護者の台帳を整備し、地域包括支援センターや中核地域生活支援センターなどの機能を充実し、福祉相談窓口のワンストップ化を進めるとともに、地域で活躍するコミュニティソーシャルワーカー（調整役・相談役）を養成し、地域とともに支え合う地域福祉の推進に努めます			地域福祉課、高齢者支援課	
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分	
	福祉サービスを必要とする人が地域で相談しやすくなります	福祉相談窓口のワンストップ窓口を設置します	地域ケアシステム推進事業 地域福祉計画推進事業	一般会計	
	目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
	達成	<p>【地域福祉課】</p> <p>① 要援護者台帳のシステムを導入し整備した。災害時要援護者の登録に活用しました。</p> <p>② 中核地域生活支援センターや、地域包括支援センターなど福祉のワンストップ窓口が充実しました。</p> <p>③ コミュニティソーシャルワーカー養成研修に社会福祉士を派遣し、地域での相談者としての技能を持った職員を養成しました。</p> <p>【高齢者支援課】</p> <p>地域包括ケア体制の構築のため、地域包括支援センターを平成25年度に3か所から11か所に増設し、高齢者総合相談窓口の充実を図りました。</p>			
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
	計画額（千円）	953	30,500	30,500	61,953
	予算額（千円）	953	4,340	4,169	9,462
	決算額（千円）	66	2,797	3,287	6,150

④ 死者を弔います

施策の展開方向

市の斎場は、いざという時に安心して市民の方々が利用できるよう、施設の維持に努めます。そして、墓地についても適正な需要と供給の把握に努めます。

第3項 安心して子どもを生み、健やかに育てる

ことができるようにします



### めざしたい将来像

地域ぐるみで子育てを支援し様々なサービスが選択できるようにすることによって、子育てしやすく、子どもの笑顔があふれる街まつどを実現します。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
子育ての満足度	89.8%	90.5%	89.6%	90%	91.4%	達成	90%
就労希望はあるが保育サービスが利用できないため就労していない人の割合	—	—	6.7%	6%	6.9%	未達成	5%
合計特殊出生率	1.28 (13年)	1.20 (19年)	1.29 (20年)	1.31	1.30 (24年)	未達成	1.33

### ① 安心して出産できるようにします

#### 施策の展開方向

妊娠・出産・育児について、学習する場の提供と育児等についての相談相手を持てるような支援体制の整備を進めていきます。

生まれたときから全ての子どもが健やかに成長できるよう、年齢や性別、ハンディキャップの状況、それぞれの家庭に置かれた状況など、一人ひとりの子どもに必要な支援を行っていきます。

### ② 健やかに子どもを育てるようにします

#### 施策の展開方向

子どもにとって安らげる家庭、家族であるために、家庭・家族の状況に応じた多様な支援により、子どもが育つことや子どもを生み育てるという営みを社会全体で応援していきます。そして、全ての子どもが自分らしい夢をもてるようにします。

子育ての不安を軽減し、楽しめるようにするため、親同士が交流したり、乳幼児が自由に遊べる場の充実や子育ての相談が気軽にできるチャンネルを増やしていきます。また、子育て支援にあたっては、地域の方が子どもたちの活動を通じて連携していくことを支援し、子育て中の親子の支援だけでなく、子どもから広がる地域づくりを推進します。

計画番号	取り組み課題			担当課
24	子どもを取り巻く地域や行政が連携し、児童虐待の早期発見、早期対応を図ります			子ども家庭相談課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	児童虐待をなくすとともに、ネットワークを充実します	相談受付の充実、関係機関との連携や虐待防止の啓発の強化などにより児童虐待の減少に努めます	児童虐待等早期発見・対応事業 家庭訪問事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	児童虐待の早期発見のため、産後うつ等の疑いほか、訪問拒否や連絡がとれない家庭等も含めてカンファレンスを実施しました。また、家庭児童相談システムの導入や母子保健担当室との統合により、家庭児童相談体制の充実を図りました。 【相談件数】 H23実績値 述べ7,128件 実人数634件(うち虐待310件) H24実績値 述べ4,581件 実人数703件(うち虐待353件) H25実績値 述べ5,263件 実人数631件(うち虐待360件)			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	29,212	34,242	34,242	97,696
予算額 (千円)	29,212	29,056	33,651	91,919
決算額 (千円)	36,696	28,845	32,616	98,157

計画番号	取り組み課題			担当課
25	子どもフォーラムや若者と大人の意見交換会を開催し、子どもたちが地域と将来に関心をもてるようにします			子どもわかもの課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	子ども・若者が自治に参画する仕組みをつくります	子どもフォーラムを年に1回、開催します	次世代育成支援地域行動計画推進事業(推進委員会運営業務)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	年1回こどもフォーラムを開催し、子どもたちの視点で松戸に対しての様々な意見や希望を市長の前で発表しました。特に平成25年度においては、21世紀の森と広場の活用法をテーマとして開催し、その場で出された意見を元に「森のこども館」事業を実施しました。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	174	180	180	534
予算額 (千円)	174	157	210	541
決算額 (千円)	163	142	124	429

③ 家庭と仕事を両立できるようにします

施策の展開方向

経済的な理由や意識の変化によって、子どもが小さいうちから就労を希望する女性が増えていることから、保育所や放課後児童クラブの利用がしやすくなるような環境整備を進めていきます。また、様々な子どもの状態に合わせた保育サービスができるようにしていきます。

なお、保護者の家庭と仕事の両立にあたっては、なによりも、子どもの成長を中心におくような相談体制や保育サービスの仕組みづくりを進めていきます。

計画番号	取り組み課題			担当課
26	東部地域など保育需要が増えている地域に保育所を誘致します			幼児保育課
めざす成果	目標	対象事業	会計区分	
保育所の需要と供給のミスマッチを少なくし、待機児童をなくします	平成21年度、6人だった待機児童数をなくします	民間保育所関係事業（建設費補助金）	一般会計	
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
未達成	H23 東進ポップキッズ、H24 佑和保育園、保育園きぼうのたからH25 梨の花保育園、はなみずき保育園の整備を行いました。就学前児童数は減少傾向にあるものの保育需要は増大しています。保育所設置(誘致)の事業展開を行っていますが、新たな保育需要を生み出すなど、待機児童解消までには至っていません。今後も保育需要の動向を検証しながら保育所設置(誘致)を進め、待機児童解消につなげていきます。 【待機児童数】 H23実績値 87人(平成24年4月1日現在) H24実績値 91人(平成25年4月1日現在) H25実績値 42人(平成26年4月1日現在)			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額(千円)	389,374	483,330	300,000	1,172,704
予算額(千円)	389,374	450,000	538,722	1,378,096
決算額(千円)	157,080	491,198	335,762	984,040

計画番号	取り組み課題			担当課
27	多様なニーズに合わせて「一時預かり事業」「特定保育事業」「休日保育」などの保育サービスの拡充を図ります			幼児保育課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	保護者の就労形態に応じたサービスを提供できるようにします	休日保育を開始します	民間保育所関係事業(特別保育事業費補助金) 市立保育所関係事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	市内5箇所で一時的預かり事業及び特定保育事業を実施し保育サービスの拡充を行いました。休日保育については、事業者と協議を行っていましたが、実施にまでは至りませんでした。しかしながら、県内初となる夜間保育を平成26年4月から実施するなど、保育サービスの拡充を図りました。今後も多様な保育サービスの拡充を目指していきます。			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額(千円)	1,033,583	1,125,007	1,084,180	3,242,770
予算額(千円)	1,033,583	577,741	660,872	2,272,196
決算額(千円)	924,076	561,088	579,116	2,064,280

計画番号	取り組み課題			担当課
28	民間活力の導入を視野に入れて公立保育所の耐震化を推進します			幼児保育課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	民間活力の導入によって、効率的な施設整備が図られます	耐震化を計画的に進めて児童の安全確保を図ります	市立保育所運営委託事業 保育所運営委託事業(市内保育所) 市立保育所関係事業(施設整備業務)(再掲) 民間保育所関係事業(施設管理費補助金、建設費補助金(再掲))	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	耐震整備プログラムに基づき順次保育所の耐震整備を行っています。平成25年度梨香台保育所耐震工事の委託をし、平成26年5月末で工事を完了しました。北松戸保育所については、耐震整備方法を決定するための調整等に時間を要し、平成25年度に決定することが出来ませんでした。			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額(千円)	3,440,689	3,799,889	3,755,659	10,996,237
予算額(千円)	3,440,689	3,666,134	4,197,638	11,304,461
決算額(千円)	3,240,372	3,809,237	3,971,965	11,201,574

計画番号	取り組み課題			担当課
29	国の「子ども・子育て新システム」のモデルをめざして、幼保一体化や、子育てしやすい街づくりのための施策を検討します			子育て支援課子ども子育て政策室
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	全国に発信する子育てモデル研究にします	モデル事業の実現と評価を進めます	子育てタウン創造事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	① 庁内ワーキングチーム設置・開催しました。(7回・分科会各2回) ② 子ども子育て新制度への対応を行いました。 ③ 次世代育成支援行動計画を推進しました。 ④ 松戸市子ども・子育て会議設置・開催しました。(4回) ⑤ 市民ニーズ調査等を実施しました。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	—	—	—	—
予算額 (千円)	—	—	—	—
決算額 (千円)	—	—	—	—

計画番号	取り組み課題			担当課
30	駅前型子育て施設の設置推進を図ります			子育て支援課、幼児保育課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	家庭と仕事の両立ができる環境を整えます	交通結節点の駅を中心に施設整備を図ります	民間保育所関係事業(建設費補助金)(再掲) 地域子育て支援事業(つどいの広場運営業務)(E-こどもの森・ほっとる一む松戸分・平成25年度)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	・平成24年度松戸駅前に保育園きぼうのたから、平成25年度北小金駅前に北小金グレース保育園の整備を行い、交通結節点の駅を中心とした整備を行いました。 ・松戸駅周辺の文化ホール内にE-こどもの森・ほっとる一む松戸を開設しました。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	389,374	483,330	300,000	1,172,704
予算額 (千円)	389,374	450,000	559,583	1,398,957
決算額 (千円)	157,080	491,198	359,195	1,007,473

計画番号	取り組み課題			担当課
31	保護者の就労の有無に関わらず、全ての小学生が安全にすごせる「放課後の居場所」を増やします			子育て支援課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	小学生が地域で安全で安心して健やかに育まれるようにします	全ての放課後児童クラブを学校敷地内にします	放課後児童クラブ管理運営事業 地域放課後児童支援事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内44小学校のうち42の放課後児童クラブを小学校敷地内に設置が完了しました。残り2校については、教育委員会、関係各課との連携を図り小学校の耐震化工事の完了後に整備を推進します。</li> <li>放課後KIDSルームを7校の小学校で実施し、全児童を対象とした「放課後の居場所」を拡充しました。</li> </ul>			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	396,310	396,310	396,310	1,188,930
予算額 (千円)	396,310	377,597	351,849	1,125,756
決算額 (千円)	345,549	356,205	351,751	1,053,505

#### 第4項 市立病院として高度で良質な医療を提供します

### めざしたい将来像

松戸市立病院は、東葛北部地域の中核病院として高度で良質な医療を提供するとともに、地域の病院・診療所・福祉施設、福祉サービス、NPO・ボランティア及び行政と連携、協力し合い、患者さんのより早い社会復帰・在宅復帰を実現します。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
患者満足度	—	—	58.2%	60%台	58.7%	未達成	60%台
平均在院日数	18.3日	14.6日	13.7日	13日	12.0日	達成	11.5日
紹介・逆紹介率	—	—	紹介 47.7% 逆紹介 30.3%	紹介 60% 逆紹介 30%	紹介 59.5% 逆紹介 90.3%	未達成	紹介 60% 逆紹介 30%
一般病床利用率	88.9%	81.1%	80.7%	90%	71.0%	未達成	90%
年間手術件数	5,167件	4,552件	4,319件	4,550件	3,808件	未達成	4,550件
経常収支比率	101.6%	98.6%	100.5%	100%	98.5%	未達成	100%

#### ① 地域の中核的な病院としての機能を充実します

##### 施策の展開方向

国保松戸市立病院は、施設の老朽化や狭隘化により快適性や利便性に問題が生じている上、耐震性にも劣るため、将来にわたり安定して医療を提供ができる施設・設備をできるだけ早期に整備していきます。また、整備にあたっては、現在の市立病院が地域の中で担っている救急、小児・周産期にかかわる医療の拠点病院としての基盤をさらに充実します。

計画番号	取り組み課題			担当課
32	地域の「かかりつけ医」を支援する病院として、地域医療の質の向上のための研修や医療提供の支援を推進します			市立病院地域連携課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
かかりつけ医との機能分化と医療連携によって、個々の患者さんにふさわしい医療が提供されます		平成21年度、4回開催した地域の医療機関を対象とした研修会を7回程度開催します	地域の医療支援を行う	病院事業 企業会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	平成25年度からは、どなたでも参加できるセミナーの実施回数を増やし、地域医療の強化充実を図った。 【研修会開催回数】 H23実績値 7回 H24実績値 8回 H25実績値 11回			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額（千円）	636	636	636	1,908
予算額（千円）	636	656	623	1,915
決算額（千円）	200	289	434	923

## ② 患者主体の医療を推進します

### 施策の展開方向

患者さん本位で良質かつ安心、安全な急性期医療を提供し、すべての人から「ここに来てよかった」と思われる病院をめざします。また、そのために必要な医療機器、医療体制を改善することはもとより、プライバシーやバリアフリーにも十分に配慮した療養環境を整備し、患者さんに快適な環境でさらに質の高い医療を提供します。



計画番号	取り組み課題			担当課
33	医師、看護師、コ・メディカル等必要な人材を確保し安定した医療体制を維持します			市立病院総務課、東松戸病院総務課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	外来・病棟が適正に機能するために必要な医療従事者が確保され、当院が担う本来の役割を十分に果たします	初期臨床研修医定員の充足率100%を維持します	医療従事者の確保	病院事業 企業会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	初期臨床研修医の確保については、既存の新卒者に加え既卒者を対象とした説明会への参加、フレキシブルな見学への対応などの取り組みが功を奏し、2年連続100%充足を達成しました。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	3,190	3,190	3,190	9,570
予算額 (千円)	3,190	3,425	4,340	10,955
決算額 (千円)	2,140	2,297	3,335	7,772

計画番号	取り組み課題			担当課
34	ボランティアやNPOにより来院者が利用し易くなるような環境整備に貢献する事業を実施し、市民の病院を市民と相互で支える協働事業を推進します			市立病院総務課、東松戸病院総務課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	ボランティアやNPOの自己実現の場として様々な場面で当院をサポートすることにより、病院だけでは行き届かないきめ細やかな患者サービスが創設されるとともに、市民が支える地域に開かれた市立病院が実現します	ボランティア登録人数30人を維持します	ボランティア等市民活動支援	病院事業 企業会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	病院だけでは行き届かないきめ細やかな患者サービスが提供されています。受付機の導入、会計の導線変更等による患者の混乱を和らげています。 【ボランティア登録人数(市立病院ボランティア数)】 H23実績値 36人 H24実績値 32人 H25実績値 30人			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額(千円)	0	0	0	0
予算額(千円)	348	315	288	951
決算額(千円)	102	100	102	304

③ 病院経営基盤の充実を図ります

施策の展開方向

平成 21 年 3 月に「経営の効率化」、「再編・ネットワーク化」、「経営形態の見直し」の視点から策定した「松戸市立病院改革プラン」及び「松戸市立福祉医療センター東松戸病院改革プラン」に基づき、経営改善を推進します。

なお、経営改善の進捗状況については、継続的に検証を行い必要な改善に取り組みます。

計画番号	取り組み課題			担当課
35	柔軟でアクティブな経営機能を備えた病院のあり方を検討します			経営企画課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	提供すべき医療機能の方向性の明示と、その運営に必要な具体策の策定・推進によって、質の高い医療と経営の健全化が促進されます	医業利益率を向上させます	経営の健全化	病院事業 企業会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	前計画である経営改革プランが主眼とした経営の効率化を引き継ぎつつ、それに加えて自治体病院としての安全・安心で良質な医療サービスを安定的に提供していくことを目的として、現場参加の手法を用いながら、経営健全化の施策を体系化し、「松戸市病院事業経営計画」を策定しました。 【医業収益】(市立病院) H21実績値 11,645,951,192円(基準値) H23実績値 13,035,030,360円 H24実績値 12,816,101,072円 H25実績値 12,678,672,462円(1,032,721,270円向上)			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	—	—	—	—
予算額 (千円)	—	—	—	—
決算額 (千円)	—	—	—	—

計画 番号	取り組み課題			担当課
36	戦略的な経営マネジメントを確立させ、経営の自立化、安定化、経営基盤の強化を図ります			経営企画課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
自立した病院経営が実現し、赤字体質の改善が図られます		平成21年度、88.55%だった医業収支比率を向上させます	経営改善の推進	病院事業 企業会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	<p>前計画である経営改革プランが主眼とした経営の効率化を引き継ぎつつ、それに加えて自治体病院としての安全・安心で良質な医療サービスを安定的に提供していくことを目的として、現場参加の手法を用いながら、経営健全化の施策を体系化し、「松戸市病院事業経営計画」を策定しました。</p> <p>【医業収支比率】(市立病院)</p> <p>H23実績値 95.69%</p> <p>H24実績値 92.41%</p> <p>H25実績値 89.78%</p>			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	10,854	354	354	11,562
予算額 (千円)	10,854	354	294	11,502
決算額 (千円)	11,678	111	281	12,070

### 第3節 次代を育む文化・教育環境の創造

第1項 子どもたちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験を得られるようにします

### めざしたい将来像

子どもたちの社会での自立のために、家庭、学校、地域の連携のもと、地域の人々の力を活かし、地域を体験の場とするなどして、他人を思いやれる人間として成長できる真の生きる力を引き出す教育を実現します。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
目標をもって学校生活をしている児童生徒の割合	60.4%	69.9%	73.7%	74.2%	78.3%	達成	75%
授業が楽しいと感じている児童生徒の割合	—	54.7%	59.3%	61.4%	70.2%	達成	65%
学校での「心の豊かさ」を育む体験活動の実施回数	—	—	1,887回	1,930回	1,940回	達成	2,000回

### ① 基礎基本を習得します

#### 施策の展開方向

児童生徒の基礎基本の定着と特色ある学校づくりのために、スタッフ派遣を行い、学校の創意ある経営プランと自律的運営を支援していきます。

基礎基本の習得ができるよう全教科のバランスのとれた効果的な学習プログラムにより進めます。特に、英語学習については、小学校高学年から中学校3年間を見据え、中学進学時の学力格差が生じないような学習プログラムの研究開発を進めていきます。

計画 番号	取り組み課題			担当課
37	長期的な視野に立った実効性のある教育プログラムにより、確かな学力と豊かな人間性を育みます			指導課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
児童生徒の言語力を醸成し、知識の活用力及びコミュニケーション力の向上を図ります		学んだことを実生活に活かそうとする 児童・生徒を増やします	学習指導事業	一般会計
目標の達成状況		これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由		
一部達成		H25中学校若手教員による言語活用科教材開発研究会の参加者アンケート調査によると、言語活用科日本語分野での実践を通して生徒の言語活用力の向上を感じた教員の割合が100%でした。 今後も、他教科や人間関係の土台となるコミュニケーション能力等の言語力向上の施策を推進する予定です。		
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	—	—	—	—
予算額 (千円)	—	—	—	—
決算額 (千円)	—	—	—	—

計画 番号	取り組み課題			担当課
38	英語・言語技術を軸にした小中一貫カリキュラムを構築します			指導課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
児童生徒の英語への苦手意識が減り、「デキルからヤル」子どもが増えます		平成21年度、65%だった生徒の英語に対する苦手意識を下げます	国際理解教育推進業務	一般会計
目標の達成状況		これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由		
達成		本市独自小学校英語ICT教材や中学校英語デジタル教科書の導入、外国人英語指導助手(LAT)のAll Englishの授業の実施、小5～中3の5年間の英語カリキュラムの工夫等により、英語の苦手意識の軽減と学力向上が図られました。 【生徒の英語に対する苦手意識 (中2後半)】 H23実績値 アンケート未実施 H24実績値 57.1% H25実績値 52.6% ○英語の学習が楽しい(小学校6年) H23実績値 83.6% H24実績値 85.0% H25実績値 85.6%		
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	66,725	85,194	98,663	250,582
予算額 (千円)	66,725	49,253	53,730	169,708
決算額 (千円)	62,335	45,738	51,155	159,228

計画 番号	取り組み課題			担当課
39	スタッフ派遣事業をはじめとした人材派遣事業を再構築し、児童生徒の学力向上をめざします			教育企画課、指導課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
カリキュラムやスクールマネジメントの質及び教員の授業力の向上が図られ、児童生徒の自己効能感や学力が向上します		学力が向上したと感じる児童・生徒を増やします	特色ある学校づくり推進事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	スタッフ派遣を契機に、市内小中学校では、目標に基づく経営マネジメントの定着、教育課程の改善や学習プログラム開発の動きが活発化しました。こうした学校の創意工夫は、児童生徒の学習意欲の向上につながり、学力向上に良い効果をもたらしました。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	108,633	153,000	153,000	414,633
予算額 (千円)	108,633	148,253	148,262	405,148
決算額 (千円)	104,449	136,686	139,201	380,336

② 一人ひとりの個性にあった教育が受けられます

施策の展開方向

児童生徒の社会的自立に向けて、実態把握と課題分析を重視するとともに、効果的な指導や創意工夫を活かした学校の多様な取り組みを支援していきます。

特別なニーズを必要とする児童生徒に対しては、持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服するために、一人ひとりの教育的ニーズに応じ、適切な指導・支援を行います。

市立高校は、生徒のニーズや保護者・地域の期待に応えるためにも、学力の充実と進学実績の向上をめざした改革を進め、スポーツ・文化芸術などの面で、松戸市の強みを活かした活躍ができる生徒を育成します。

計画番号	取り組み課題			担当課
40	特別支援教育を一層充実します			教育研究所
めざす成果	目標	対象事業		会計区分
特別な教育的ニーズをもつ児童生徒への指導体制を充実させます	平成21年度、27箇所だった特別支援学級の設置数を増やします	特別支援教育事業 教育相談事業		一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	特別支援教育推進の一つとして、特別支援学級の設置を進めてきました。利便性の向上や個のニーズに応じた指導の充実が図られました。 【特別支援学級の設置校数】 H23実績値 34校 H24実績値 36校 H25実績値 38校			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	34,941	40,431	48,431	123,803
予算額 (千円)	34,941	44,433	210,733	290,107
決算額 (千円)	33,263	39,923	187,928	261,114

計画番号	取り組み課題			担当課
41	白樺高原荘を廃止します			学務課
めざす成果	目標	対象事業		会計区分
林間学園を選択する際の学校の独自性を高めます	平成24年度までに、松戸市内の全小学校在林間学園で白樺高原荘以外の施設を利用するようにします	白樺高原荘管理運営事業		一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	平成24年度に白樺高原荘を廃止し、平成24年度以降、全小学校在白樺高原荘以外の施設を利用しています。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	—			—
予算額 (千円)	—			—
決算額 (千円)	—			—

計画番号	取り組み課題			担当課
42	スポーツや音楽活動をはじめ魅力ある市立高校とするための改革を推進します			市立高校
めざす成果	目標	対象事業	会計区分	
生徒の個性や才能を伸ばせる魅力的な教育活動により、学力や進路実績が向上します	部活動で県大会ベスト16以上に出場する生徒数(平成21年度101人)及び同等以上の成績をあげる生徒数を増やします	特色ある教育活動推進事業	一般会計	
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	顧問の指導の創意工夫、外部からの専門的技術講師による指導力の向上、中学との連携強化、部活動のPR促進が行われ、結果として部活動成績が大幅に伸びました。 【部活動で県大会ベスト16以上に出場した生徒数及び同等以上の成績をあげた生徒数】 H23実績値 155人 H24実績値 193人 H25実績値 204人			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	24,396	24,396	24,396	73,188
予算額 (千円)	24,396	22,664	22,541	69,601
決算額 (千円)	23,490	21,861	22,378	67,729

### ③ 安全な環境で安心した教育が受けられます

#### 施策の展開方向

小中学校校舎等の耐震改修工事を計画的に進めていきます。

保護者や地域の人たちが安心して子どもを託すことができるように、学校の危機管理能力を高めるとともに、合理的な安全管理の工夫と安全教育を推進します。

情報ネットワークやコンピュータ等の基盤整備の強みを生かし、ICTを効果的に活用した校務事務の合理化および教育の情報化を推進するとともに、学校図書館の学習情報センター機能の充実を図り、児童生徒の学びを支えます。

学校適正規模適正配置については、学校選択制の状況、国が示す1学級あたりの人数の基準、児童生徒人口の推移など総合的に判断して実行しなければならないところです。引き続き、児童生徒人口の動向を注視しつつ、必要な場合は適正な対応をしていきます。



計画番号	取り組み課題			担当課
43	学校の耐震化および施設設備の安全対策を推進します			教育施設課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
安全で安心な教育環境が整備され、収容避難所が確保できます		耐震化率(平成21年度:小学校43.9%、中学校68.8%)を上げます	小学校大規模改造耐震改修事業 中学校大規模改造耐震改修事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	耐震化工事の計画に沿い、順調に工事を実施することができ、安全な教育環境整備の推進を図ることができました。 【耐震化率】 H23実績値 小学校 58.9%、中学校 74.0%、合計64.1% H24実績値 小学校 64.6%、中学校 77.9%、合計69.2% H25実績値 小学校 76.0%、中学校 83.2%、合計78.4%			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額(千円)	1,221,506	1,147,202	1,027,288	3,395,996
予算額(千円)	1,221,506	247,600	516,602	1,985,708
決算額(千円)	1,231,623	1,733,594	3,047,690	6,012,907

計画番号	取り組み課題			担当課
44	安全・安心な学校づくりを推進します			保健体育課、教育施設課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
安全・安心な学校環境が整います		平成21年度、69,807件だった保健室で応急処置を行ったケガの数を減らします	学校安全管理事業 学校体育支援事業(学校体育備品整備業務、学校研究指定実践業務)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	老朽化した比較的危険な遊具の修繕、撤去に取り組みました。また、熱中症対策として、平成23年度にミストホース、平成24年度に冷凍庫とクーラーボックス、平成25年度に熱中症対策応急キットとエコジェルを全小中学校に配布しました。 その結果、平成25年度保健室で応急処置の数は、60,927件となりました。 【保健室で応急処置を行ったケガの数】 H23実績値 63,027件 H24実績値 65,318件 H25実績値 60,927件			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額(千円)	12,257	12,692	12,692	37,641
予算額(千円)	12,257	11,400	45,933	69,590
決算額(千円)	15,099	10,541	42,241	67,881

計画番号	取り組み課題			担当課
45	保護者・地域住民などによる学校教育支援のための仕組みや組織づくり、人材発掘を推進します			教育企画課、指導課
めざす成果	目標	対象事業	会計区分	
開かれた学校運営が推進されます	平成21年度、73%だった教育活動を支援する地域の活動がある学校の割合を上げます	学校を核にした地域コミュニティづくり事業	一般会計	
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	<p>地域の現状がそれぞれ異なるため、モデル校でおこなっている活動を各地域に応じた活動として広めるための工夫をさらに行っていく必要があります。</p> <p>【教育活動を支援する地域の活動がある学校の割合】</p> <p>H23実績値 92.2%(市内小中学校59校)</p> <p>H24実績値 92.2%(市内小中学校59校)</p> <p>H25実績値 89.1%(市内小中学校57校)</p>			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	1,992	2,000	2,000	5,992
予算額 (千円)	1,992	1,040	960	3,992
決算額 (千円)	725	467	583	1,775

計画番号	取り組み課題			担当課
46	宅地開発等に伴う地域的な児童生徒数の増加への対応のため学校の増築や新設を実施します			教育企画課、学務課、教育施設課
めざす成果	目標	対象事業	会計区分	
大規模校が解消され、安全に安心して、通学できるようになります	平成21年度、92%だった大規模校解消率を上げます	小中学校施設整備事業(小学校・中学校) (仮称)関台小学校新設事業設計委託(継続費)	一般会計	
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	<p>大規模校解消率は上昇していますが、これは児童・生徒の自然減によるものです。本課題の評価については、(仮称)関台小学校の平成28年4月開校をもって目的を達成するものであり、平成25年度においては計画的に事業を進めている過程です。その進捗状況においては、概ね予定通り進んでいます。</p> <p>【大規模校解消率】</p> <p>H23実績値 93.8%</p> <p>H24実績値 93.8%</p> <p>H25実績値 93.8%</p>			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	119,015	253,254	22,454	394,723
予算額 (千円)	119,015	184,343	236,614	539,972
決算額 (千円)	115,028	173,631	289,588	578,247

計画 番号	取り組み課題			担当課
47	学校施設の教育環境の改善を推進します			教育施設課
めざす成果	目標	対象事業		会計区分
安心して快適に学び生活できる教育環境を整備します	小学校、中学校及び市立高校の全普通教室に空調設備(エアコン)を設置します	小学校冷房化事業 中学校冷房化事業 高等学校冷房化事業 高等学校施設維持管理事業(校舎等改修業務(平成24年度))		一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	市立高校については、平成24年度に教室棟の工事を実施しました。また、小中学校については、平成28年度工事実施を目標に事業の推進を図っています。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	40,000	1,192,250	1,189,250	2,421,500
予算額 (千円)	40,000	265,750	0	305,750
決算額 (千円)	0	249,114	0	249,114

第2項 生涯学習やスポーツを楽しむことができる  
ようにします

### めざしたい将来像

生涯を通じて学んだり、スポーツをする楽しさを味わい続けられるように、自主的に参加しやすい場所や機会を増やすことで、年齢に関わらず心身ともにいきいきと暮らせるまちを実現します。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
学習活動を行っている市民の割合	44.4%	42.2%	39.8%	44%	39.0%	未達成	50%
学習活動の成果を地域社会で活かしている市民の割合	69.4%	66.9%	66.1%	70%	58.9%	未達成	75%
目的をもって部活動をしている児童生徒の割合	—	68.2%	77.6%	82%	80.9%	未達成	90%
スポーツを行なっている市民の割合	33.4%	36.0%	35.9%	42%	34.4%	未達成	50%

### ① 学習したい人が生涯にわたり学習できるようにします

#### 施策の展開方向

自ら目標を持って学習をする市民団体等を支援し、利用促進を図るため、広報やホームページ等で情報提供し、公民館、青少年会館、図書館などの施設を快適に使用できるように管理運営します。

市民団体等に所属しなくても学習ができるように、公民館や青少年会館が講座・講演会等を開催します。また、学習の成果を発表できる機会を設けます。

図書館は、身近な生涯学習の中核的施設として、市民自らの学びを支援していきます。

計画番号	取り組み課題			担当課
48	市民が主体となる学習活動を推進し、まちづくりを担う人材を育成します			社会教育課、生涯学習推進課、図書館、市民自治課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	地域の課題等に積極的に関わる人材が増えます	平成21年度、16件だった市民自主企画提案講座数を大幅に増やします	市民文化活動支援事業 図書館管理運営事業 市民活動支援事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	公民館主催のふるさと発見創造講座や成人講座を開催し受講終了生による新しい自主企画団体を作り、その団体の提案講座数を増やすことができました。 【市民自主企画講座】 H23実績値 件数20件 延べ人数1,749人 H24実績値 件数23件 延べ人数2,307人 H25実績値 件数27件 延べ人数2,221人			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	269,089	274,398	274,398	817,885
予算額 (千円)	269,089	280,626	276,570	826,285
決算額 (千円)	280,914	274,240	272,414	827,568

計画番号	取り組み課題			担当課
49	生涯学習活動機能の充実を図るため社会教育施設の再編を検討するとともに、生涯学習センター一構想用地の有効活用を検討します			教育企画課、社会教育課、市民会館、図書館
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	現在の社会教育施設の課題を把握し、市民ニーズに合った施設への転換を図ります	社会教育施設再編検討会議を設置します	生涯学習センター計画事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	関係各課と用地取得の取扱いや組織・スケジュールについて協議を重ねました。生涯学習センター一構想用地の有効活用について定めるべく、第5次実施計画において、生涯学習センターの計画策定に着手します。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	—	—	—	—
予算額 (千円)	—	—	—	—
決算額 (千円)	—	—	—	—

計画番号	取り組み課題			担当課
50	近年の社会情勢や市民の学習機会を取り巻く多様な状況の変化に伴い、これからの生涯学習社会を支える情報の拠点としての図書館のあり方、図書館ビジョンの策定を検討します			図書館
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
地域の情報拠点や多様な資料の構築、市民の課題解決支援を軸に改善を図ります		市民自らが学び、課題解決の支援となるような情報の拠点を提供します	図書館管理運営事業(再掲)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	松戸市の抱える課題から、今後の図書館サービスの在り方を検討しました。第5次実施計画において、学識経験者等の外部委員にご意見をいただき、社会動向や先進的事例を踏まえ、総合的な図書館整備計画の策定を目指します			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	—	—	—	—
予算額 (千円)	—	—	—	—
決算額 (千円)	—	—	—	—

## ② 子どもたちが健全に社会参加活動ができるようにします

### 施策の展開方向

行政はもちろんのこと、家庭・学校・地域社会それぞれが適切な役割分担のもとに緊密に連携をとりながら、地域における青少年の健全育成に取り組んでいきます。

子ども会の課題整理と解決策を検討して、子ども会への加入促進を進めていきます。また、子どもたちが夢中になり、将来に夢を持てる活動の研究と、研究に基づいた事業を実施していきます。

地域においては、どのような人たちが青少年の健全育成に携っているかを地域の人々が把握し、地域における人材活用をできるようにします。

次代を担うジュニアリーダーを育成するため、「こどもモニター」制度をさらに充実したものにしていきます。また、青少年相談員の協力により、青少年健全育成に向けた事業をさらに積極的に推進します。

非行防止に向けて、関係する機関・団体と情報を共有するとともに、意見交換を行い、地域での連携を図ります。また、有害環境の浄化活動を進めていきます。

計画 番号	取り組み課題			担当課
51	放課後・休日の子どもたちの学習活動を促進するため、社会教育施設等やスポーツ施設の無料化を進めます			教育企画課、社会教育課、市民会館、博物館、戸定歴史館、スポーツ課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	歴史や科学への関心を高めるとともに、健康維持・増進と体力の向上をめざします	平成21年度、15,694人だった関連施設の小中学生入場者を増やします	市民会館使用料、戸定歴史館入館料 博物館観覧料、運動公園プール使用料、中央公園プール使用料、新松戸プール使用料	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	平成23年度から、市民会館プラネタリウム、戸定歴史館、博物館、運動公園プールと新松戸プールについて、中学生以下の利用を無料化した結果、目標は達成されました。(中央公園プールは、23年度から休止し、25年度に解体となりました。) 【中学生以下の入場者数】 H23実績値 29,840人 H24実績値 39,897人 H25実績値 43,356人			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	0	0	0	0
予算額 (千円)	0	0	0	0
決算額 (千円)	0	0	0	0

③ スポーツをしたい人がスポーツをできるようにします

施策の展開方向

生涯スポーツの普及と推進について、全ての市民が、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを通して、健康で明るい活力ある生活が送れるよう、スポーツに親しめる環境づくりを推進していきます。  
また、スポーツを通しての交流や団体及び指導者の育成・支援を進めていきます。

計画番号	取り組み課題			担当課
52	生涯スポーツ社会の実現に向け、総合型地域スポーツクラブの設立を支援します			スポーツ課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
世代や種目を越えた交流ができ、市民が健康で活動的な生活を送ることができます		平成21年度、1箇所だった総合型スポーツクラブを4箇所にします	スポーツ活動支援事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	平成23年度矢切地区、平成24年度新松戸地区に設立、現在、五香六実地区での設立に向けた取り組みを行っています。第5次実施計画においても引き続き設立を支援します。 【総合型スポーツクラブ】 H23実績値 2箇所(矢切スポーツクラブ) H24実績値 3箇所(EMIの樹) H25実績値 3箇所			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	10,249	9,364	7,738	27,351
予算額 (千円)	10,249	10,004	14,550	34,803
決算額 (千円)	8,698	5,265	13,217	27,180

計画番号	取り組み課題			担当課
53	ニーズの減少しているプールは撤退します			スポーツ課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
市民ニーズに応じたスポーツ施設を充実します		撤退した場合の跡地利用を検討し、市民ニーズにあった施設に変更します	松戸中央公園プール管理運営事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	ニーズの低かった中央公園プールを解体し、公園広場として整備したことで、市民の運動機会向上に寄与しました。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	—	—	—	—
予算額 (千円)	—	—	48,000	48,000
決算額 (千円)	—	—	47,997	47,997



第3項 国際的な広い視野と平和を愛する心が育まれ、  
松戸の歴史や文化・伝統が保持され、  
後世に伝えられるようにします

めざしたい将来像

平和を大切にし、松戸を愛する人を増やすため、日本人も外国人も皆が松戸の歴史や文化・伝統が身近に感じられる工夫をこらして、誰もが誇りのもてるダブル“ふるさと松戸”を実現します。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
史跡や神社、仏閣 など歴史・伝統文化遺産の満足度	20.5%	18.0%	18.2%	19.2%	17.0%	未達成	20%
文化・芸術に親しむ市民の割合	46.8%	44.2%	48.4%	49.4%	43.7%	未達成	50%
外国籍市民と交流している人の割合	3.6%	3.0%	3.3%	3.7%	2.1%	未達成	5%
外国人市民で暮らしに満足している割合	56.0%	82.7%	82.7%	83%	82.5%	未達成	85%
世界平和都市宣言の認知度	53.9%	54.7%	52.7%	54%	68.9%	達成	60%

① 固有の文化・伝統に触れることができるようにします

施策の展開方向

郷土の歴史や伝統・文化を市民に知ってもらうため、文化財の基礎調査を進め、標識柱や案内板を整備します。

市立博物館については、「見て・触れて・身体で感じる」とする基本コンセプトは守りつつ、資料の展示方法の改善や展示替えを行い、リピーターにも新しい発見ができるよう創意工夫を凝らしていきます。

戸定邸及び戸定歴史館については、隣接する千葉大学松戸キャンパスの緑、イタリア式庭園、フランス式庭園などとの連携も視野に入れつつ、戸定が丘緑地の文化的資産を市民と協働して活用し、若手芸術家などとの連携による芸術の創造なども図りながら、より複合的に魅力を高めていきます。

計画番号	取り組み課題			担当課
54	博物館、戸定歴史館の展示内容を改良するとともに、市保有の美術品の展示を増やします			社会教育課、博物館、戸定歴史館
めざす成果	目標	対象事業	会計区分	
博物館等の魅力を高め、松戸の歴史・伝統文化・美術が、身近に感じられる学習機会の充実を図ります	平成21年度、13,596人だった博物館常設展の観覧者を大幅に増やします	博物館展示事業(常設展示業務) 戸定歴史館管理運営事業 美術文化関係事業	一般会計	
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	博物館では、常設展示解説パネルの一部更新や国指定重要文化財の展示コーナーの新設等により、目標の博物館常設展観覧者を増やすことは達成しました。博物館展示リニューアルについては、施設の老朽化から生じる修繕や改修工事と時期が重なるため、課題として残っています。 また、戸定歴史館では、地域との関係を深めながら、戸定アートプロジェクトとして、様々なコンサート等を実施しました。また春季展、夏季展、企画展、特別展を開催しました。 【博物館常設展入館者数】 H23年実績値 15,637人 H24年実績値 15,474人 H25年実績値 16,968人			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	85,707	95,505	88,606	269,818
予算額 (千円)	85,707	127,970	74,803	288,480
決算額 (千円)	82,597	118,439	71,342	272,378

② 文化・芸術活動を振興します

施策の展開方向

文化芸術を振興するため、松戸ゆかりの芸術家の演奏会を開催するとともに、美術作品の展示を行っていきます。また、市内の文化団体の活動を支援するとともに、協力して展覧会の開催などを行っていきます。舞台芸術については、財団法人松戸市文化振興財団を支援することで、国内外の優れた舞台芸術が身近で鑑賞できるようにします。

今後、文化施設の老朽化に伴い、適切な維持管理により延命化を図るとともに、市民会館から戸定歴史館、千葉大学園芸学部までの地域については、より文化的資産の価値を高めるため、一体的な検討を進めていきます。

計画番号	取り組み課題			担当課
55	松戸の文化芸術を育む環境をつくるため、文化芸術の振興を図るための基本的な方針を検討します			文化観光課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	市民が身近に文化芸術にふれる機会が増え、文化芸術への関心が高まります	文化芸術の振興を図るための基本方針を策定します	文化の香りのする街構築事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	文化芸術振興懇話会を開催し、広範な専門的見地からご意見をいただき、平成25年度に松戸市総合計画・後期基本計画における文化芸術振興に関する基本方針を策定しました。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	—	—	—	—
予算額 (千円)	—	2,709	2,692	5,401
決算額 (千円)	—	1,291	1,993	3,284

③ 国際化の推進と平和意識を高めます

施策の展開方向

今後も増加が予想される外国人市民が、松戸市民として、安全で快適な生活を送れるようにします。そのため、「外国人市民懇話会」をはじめ、在住の外国人の声を聴く機会を増やすとともに、外国人市民が公平なサービスを受けられるように情報の提供及びその手段の更なる充実に努めます。また、多文化共生意識と相互理解の促進を図るため、外国人市民と日本人市民の交流の場を増やします。

さらに、昭和46年より続いているオーストラリア・ホワイトホース市との姉妹都市交流事業を推進するとともに、カンボジアへの支援などのように、本市でできる範囲での海外支援を行い、それをきっかけとした文化や教育、経済など様々な分野での国際交流を図ります。

また、昭和60年にあらゆる核兵器の廃絶と世界の恒久平和を念願し行った「世界平和都市宣言」の理念に基づき、平和の大切さを訴え、意識の高揚を図っていくための平和事業を充実し、戦争の体験を風化させないための啓発や継承などの取り組みを推進していきます。

計画番号	取り組み課題			担当課
56	(財)松戸市国際交流協会と連携し、在住外国人への主要言語(英・中・韓・西・葡)による情報の提供を充実します			文化観光課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
外国人が暮らしやすくなります。		平成21年度、96.3%だった情報入手しやすいと感じている外国人の割合を高めます	国際化施策推進事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
未達成	① 広報まつど掲載の行政情報記事を毎月抜粋し、5ヶ国語に翻訳して配布・掲示しました。 ② 4ヶ国語による生活ガイドブック(標準版)を作成・発行し配布しました。 目標達成のためにこれらの取り組みを継続して実施しましたが、平成23年度調査での実績値は95.5%でした。情報提供のための翻訳作業に時間を必要とし、情報のタイムリーさに欠ける点が原因と分析しています。平成26年度に調査を予定しています。			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額(千円)	618	618	618	1,854
予算額(千円)	618	618	611	1,847
決算額(千円)	610	610	610	1,830

計画番号	取り組み課題			担当課
57	戦争体験を風化させないよう次の世代へ着実に継承し、世界平和にも目を向けた取り組みを行います			総務課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
平和に関する意識が高まります		平成21年度、98.7%だったイベントの集客率を高めめます	平和事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
未達成	<p>戦争を経験した人も少なくなり、平和の大切さや戦争の悲惨さなど平和意識が薄れていくことのないよう、次の世代に着実に継承し、平和意識の高揚を図りましたが、地球のステージの集客率が下がったため目標値を下回りました。しかし、平和語り部の参加者数は年々増加しておりイベント全体の参加者は増えています。今後も継続して平和意識の高揚を図る事業を行っていきます。</p> <p>【イベントの集客率】  H23実績値 98.1%(993人/1,012人)  H24実績値 93.4%(1,165人/1,247人)  H25実績値 94.0%(1,433人/1,525人)</p>			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額(千円)	3,776	3,076	3,076	9,928
予算額(千円)	3,776	3,112	3,205	10,093
決算額(千円)	3,004	2,393	2,874	8,271

## 第4節 安全で快適な生活環境の実現

### 第1項 災害に対する不安を減らすようにします

### めざしたい将来像

市民一人ひとりの防災意識を高め、自助・共助・公助の災害発生時の対応体制を確立し、災害に強く命を大切にする社会を実現します。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
災害に対して自ら対策を講じている人の割合	61.7%	69.0%	70.3%	74%	76.9%	達成	80%
総合防災訓練への対象団体の参加率	—	—	81% (47/58 団体) (19年度)	100%	97.1%	未達成	100%
自主防災組織の訓練実施率	31.7%	—	51.0% (19年度)	57%	69.0%	達成	64%
自主防災組織の結成率	—	—	87.32%	100%	78.8%	未達成	100%

### 施策の展開方向

本市では、平成20年度に防災アセスメント（被害予測調査）を実施しました。その成果を踏まえ、平成22年度に「松戸市地域防災計画」の見直しを行いました。この計画は、中央防災会議において、今後の発生を予測している東京湾北部地震を想定したものです。今後、この計画に基づいて施策を推進していきます。

自助・共助の意識を醸成し、自主防災組織、地域防災リーダー、地域防災協力員、消防団、社会福祉協議会など地域との連携を深めていきます。

また、中でも、災害時に援助を必要とする人が安心できるような仕組みを地域との連携により構築します。

さらに、食品、建設、運送業者など民間団体との災害協定が、災害時や復興時に有効に機能するよう、見直しや拡充を行います。

計画番号	取り組み課題			担当課
58	災害時に一人での避難が困難な人を地域で支援できるようにするための計画をモデル地区で実施するとともに、自主防災組織を充実させます			危機管理課、地域福祉課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	災害発生時に助け合える地域のつながりをつくります	災害時要援護者の個別計画をモデル地区で実施します	自主防災組織育成強化業務 災害時要援護者避難支援事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	自主防災組織13組織に補助金の交付、松戸市地域防災リーダーに防災講演会内にて研修会を実施しました。しかし、災害時要援護者避難支援計画の個別計画の登録を市内12地区のうち、4地区にて実施したが、全12地区のうち8地区への拡大が残っているため一部達成としました。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額(千円)	4,984	2,780	2,780	10,544
予算額(千円)	4,984	5,871	6,008	16,863
決算額(千円)	5,086	5,060	4,158	14,304

計画番号	取り組み課題			担当課
59	松戸市地域防災計画の見直しを受け、対応マニュアルを職員に徹底するとともに、防災マップを更新し、市民に周知します			危機管理課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	災害があったときに、行動できる市民・職員を増やします	災害に備え、災害対応マニュアルを作成するとともに、防災マップの更新を行います	防災組織強化事業(防災意識普及啓発業務)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	① 災害対応マニュアルについては、人事異動又は組織改変等に合わせて毎年見直し作業が必要と思われます。 ② 防災マップの分割版は「生活カタログ」への掲載は目標達成しました。 ③ A1版防災マップの印刷を実施したが、避難所となる施設の増減等に対応できるよう、数年に1回程度は発行が必要かと思われます。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額(千円)	4,460	7,485	485	12,430
予算額(千円)	4,460	10,450	1,520	16,430
決算額(千円)	3,861	7,207	1,510	12,578

計画番号	取り組み課題			担当課
60	災害時に情報収集・伝達できるよう、MCA無線への切り替えなど、費用対効果の高い通信システムを確立します			危機管理課
めざす成果	目標	対象事業	会計区分	
日常使用している情報伝達手段が使えなくなっても、連絡できる手段を確保しておきます	地域防災無線のMCA無線への切り替えを進めるとともに、老朽化の進む防災行政無線の再整備を推進し、緊急時の対応に備えます	防災施設整備事業(通信体制整備業務)	一般会計	
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	① MCA無線の運用等については引き続き通信訓練を実施し、今後は新たにMCA無線機を導入します。 ② 平成24年度に設置した子局については運用を開始し、臨時放送を聞きなおせるフリーダイヤル応答サービスを導入しました。しかし、子局設置場所の調整により平成25年度設置予定数に達せず、通次繰越をすることとなりました。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	40,468	63,655	327,539	431,662
予算額 (千円)	40,468	265,932	203,287	509,687
決算額 (千円)	33,183	22,552	153,167	208,902

## 第2項 火災等の災害から市民生活を守ります



### めざしたい将来像

市民一人ひとりが火災を発生させないようにするとともに、地域と行政で連携して、火災等による被害が少ない安全・安心なまちを実現します。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
出火率（火災件数 /対人口1万人）	3.7 (13年)	2.6 (19年)	2.4 (21年)	2.4 (25年)	2.9 (25年)	未達成	2.4 (32年)
住宅用火災警報器の設置率	—	—	59.2%	70%	77.7%	達成	90%

### ① 火災を予防します

#### 施策の展開方向

本市における防火対象物数は、既存建物の老朽化による建替え等も含め、今後微増するものと思われます。また、各種技術の進歩等により今後も防火対象物あるいは危険物施設は、構造の多様化、管理形態の多様化が予想されます。それぞれに適した火災予防を講じるとともに、火災原因調査技術の強化をより一層高めて、安全安心情報を積極的に発信することにより、出火防止及び被害の軽減を図ります。

また、立入検査や防火指導などを通じて、事業所等の火災予防啓発をより一層深めるとともに、違反対象物に対して強力な指導を行っていきます。

さらに、全ての一般住宅への設置が義務付けられた住宅用火災警報器の設置促進にむけ、啓発活動に力を注いでいきます。

計画番号	取り組み課題			担当課
61	消防関係団体と消防が協働し、火災予防運動や住宅用火災機器設置普及を推進します			予防課
めざす成果	目標	対象事業	会計区分	
住宅から発生する火災を早く知り、早く消し、火を広げないことにより、火災による被害を最低限にすることができます	平成21年、20%だった初期消火実施率を高めめます	火災予防対策事業	一般会計	
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	① ホームページ、広報まつど等に掲載 ② 炎予防運動時等、リーフレット等の配布 ③ のぼり旗、ポスター等の掲出 ④ 入検査、防火防災指導時及び消防音楽隊演奏会における設置促進 ⑤ 高齢者への住宅用火災警報器の取付け支援をしました 【初期消火実施率】 H23実績値 24% H24実績値 22% H25実績値 29%			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額（千円）	1,636	1,636	1,636	4,908
予算額（千円）	1,636	1,798	1,775	5,209
決算額（千円）	1,630	1,611	1,712	4,953

## ② 火災等の災害を拡大させない消防体制を確立します

### 施策の展開方向

小金消防署をはじめ、老朽化の著しい消防署については、建替えを進め、大規模災害時の拠点としての機能拡充や、市内の災害対応力を充実強化していきます。

また、消防の広域化については、千葉県との推進計画で示された組み合わせを踏まえ、近隣市との政令指定都市研究などとも歩調をあわせながら、研究・検討を進めていきます。

一方、119番通報の受付業務については、平成25年度から千葉県域を1ブロックで消防救急無線をデジタル方式に移行するとともに、119番通報の受付業務を北西部地域と北東部・南部地域の2ブロックに分け、北西部地域は松戸市に共同指令センターを設置し大規模広域災害への対応能力を強化します。

計画番号	取り組み課題			担当課
62	電波法関係審査基準の改正によりアナログ方式の消防救急無線の使用期限が平成28年5月31日と定められたことから、千葉県においては、県域を1ブロックとして平成25年度から消防救急無線をデジタル方式に移行します			警防課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	無線通信の秘匿性が向上し個人情報 が保護されます	デジタル無線設備を平成24年度ま でに整備します	消防救急無線広域共同運用事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	平成25年度からの消防救急デジタル無線の運用開始に向け、スムーズな移行が図れるよう、デジタル無線設備を整備しました。			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額(千円)	109,163	350,393	26,084	485,640
予算額(千円)	109,163	107,003	8,671	224,837
決算額(千円)	108,933	81,884	8,313	199,130

計画番号	取り組み課題			担当課
63	北西部6市の共同指令センターを整備し、平成25年度から指令業務の共同運用を実施します			警防課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	千葉県北西部ブロックの指令業務の共同化により大規模災害への対応力が強化します	共同指令センターの共同化率が5割を 超えるようにします	消防指令管制システム運用業務 千葉北西部消防指令センター事業 (平成24・25年度)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	平成25年度からの千葉県北西部6市の共同指令センター運用開始に向け、消防指令事務協議会を設立し、運用及び事務取決め等の協議を実施しました。 【共同指令センターの共同化率】 H23実績値 54.5%(11市中6市) H24実績値 54.5%(11市中6市) H25実績値 54.5%(11市中6市)			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額(千円)	172,246	171,600	125,015	468,861
予算額(千円)	172,246	206,450	222,555	601,251
決算額(千円)	172,199	200,333	205,609	578,141

計画番号	取り組み課題			担当課
64	小金消防署を建替え、松戸市北部地区の災害対応力を強化します			消防総務課
めざす成果	目標	対象事業	会計区分	
全線開通予定の都市計画道路3・3・7号(横須賀紙敷線)沿線に建替えることにより、松戸市北部地域(特に人口が集中している新松戸地域)における災害現場への到着時間が短縮できます	平成21年度、平均5.7分かかっていた小金消防署から新松戸地域において発生した災害現場までの到着時間について、3分程度に短縮します	小金消防署建設事業	一般会計	
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	小金消防署を建替えたことにより、松戸市の北部地域への災害対応力が強化され、新松戸地域への災害到着時間は、平均5.7分から3.6分に短縮されました。また、大規模災害時には防災拠点として運用できる庁舎となりました。			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額(千円)	506,442	427,125	100,000	1,033,567
予算額(千円)	506,442	353,492	1,400	861,334
決算額(千円)	481,621	349,733	1,323	832,677

### ③ 災害等に迅速に対応します

#### 施策の展開方向

災害対応については、部隊の円滑な運用や消防力の一層の強化を図るため、専任指揮隊等の部隊を整備し、消火・救助に係る技術を高めるとともに、各種訓練や研修による職員の知識技術の習得と資質の向上に努め、災害に迅速かつ的確に対応する部隊活動能力を強化していきます。

地域の災害対応において、消防団は、きわめて重要な役割を負っています。消防団員確保のため、様々な広報や地域住民に理解を求める方策を展開していきます。また、事業所と消防団の連携体制の強化を促進し、消防団の活動環境を整備していきます。

### 第3項 救急救命が必要になった市民の生命を

つなぎます

#### めざしたい将来像

救急医療機関の受け入れ状況を的確に把握できるような救急医療システムを構築するとともに、居合わせた市民が応急手当をできるように知識・技能を向上させることで、緊急事態でもより多くの市民の生命を守ることができる安心安全なまちを実現します。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
心肺停止傷病者の1ヶ月生存率 (1ヶ月生存者数/心肺蘇生実施者数)	—	6.5 (19年)	6.1 (21年)	6.8 (25年)	8.7 (25年)	達成	6.8 (32年)
救急入電から医療機関に收容するまでに要する時間	—	—	35.1分 (21年)	34.9分 (25年)	38.3分 (25年)	未達成	34.9分 (32年)

① 救急救命の環境をつくります

施策の展開方向

平成 16 年 7 月から一般市民にも AED の使用が認められました。AED による処置は、早ければ早いほど効果が高いことから、多くの市民に応急手当を習得してもらうため、講習を充実させます。また、事業所等の協力のもと「救急救命ネットワーク」の充実を図り、AED の設置を促進します。さらに、119 番要請時、必要により近くの AED 設置場所を案内するサービスの充実を図ります。

計画番号	取り組み課題			担当課
65	救急救命ネットワークで設置されたAEDを活用して、応急手当を身につけた市民が生命を救います			救急課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	応急手当の普及により、救急隊が到着する前に、応急手当を実施する人が増えます	平成21年度、47.9%だった心肺停止傷病者への市民応急手当(心肺蘇生法)実施率を高めます	応急救護普及事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	① 救急救命ネットワーク事業を推進 ② 救命講習会の実施によるバイスタンダーの育成・確保 ①、②を実施し、応急手当の重要性についての認識の高まりから、実際に応急手当を実施する市民の割合が増加しました。 【心肺蘇生法実施率】 H23実績値 38.0% H24実績値 45.1% H25実績値 49.8%			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	1,133	1,133	1,133	3,399
予算額 (千円)	1,133	1,116	1,105	3,354
決算額 (千円)	1,100	1,114	1,103	3,317

② 市民が安心できる救急体制を確立します

施策の展開方向

市民に高度救急救命処置を適切に提供するため、救急救命士の配置を進め、医師による指導助言及び教育体制等（メディカルコントロール体制）のもと、救急隊員の高度な知識技術を確保する体制を充実します。

救急需要増加の影響を受け、救急車の到着時間の遅れや医療機関収容時間の遅れが発生していることから、救急車の適正利用を訴え、市民に理解を求めると共に、速やかな医療機関収容体制の確保をめざします。また、緊急性の低い傷病者の対策として、本市が認定する民間患者搬送事業者（民間救急車）の利用を広く普及します。

計画番号	取り組み課題			担当課
66	医療機関との連携を強化することで、救急救命士の技術向上を図るとともに医療機関への早期収容をめざします			救急課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	救急救命士の技術向上及び医療機関との連携強化により、傷病者の状態に適した医療機関へ速やかに収容することができます	平成21年度、18.8分だった現場到着から現場出発までに要する時間を短縮します	救急救命士養成業務	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
未達成	① 救急救命士の養成 2名 ② 気管挿管・薬剤投与認定救命士の養成 ③ 病者の搬送及び受入れ実施に関する基準の活用 ①～③を実施し、救急救命士及び気管挿管・薬剤投与認定救命士の増員が図られた。しかし、医療機関の選定にあたって重要な要素である傷病者（特に高齢者）に係る情報の収集や救急高度化に伴い現場で実施する必要がある観察及び処置が拡大したため、現場到着から現場出発までに時間を要した。 【現場到着から現場出発までに要する時間】 H23実績値 20.4分 H24実績値 21.3分 H25実績値 21.1分			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額（千円）	7,778	7,778	7,778	23,334
予算額（千円）	7,778	7,399	6,369	21,546
決算額（千円）	7,728	6,884	6,661	21,273

## 第4項 環境にやさしい地域社会をつくります

### めざしたい将来像

地球温暖化防止を推進するため、行政と市民が一体となって、日常生活における省エネルギーを加速させるとともに、新エネルギーの導入に努めて、低炭素社会の基盤を作り上げます。また、市民・事業者及び市が協働して、資源の浪費とごみの排出を可能な限り少なくし、徹底した環境保全に努める社会「資源循環型社会」の構築をめざします。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
温室効果ガス削減量（CO2換算）	—	—	(1,849,000t) 温室効果ガス総排出量（CO2換算） (H18)	281,600 t	191,801 t	未達成	446,800 t
廃棄物の最終処分量	20,847 t	18,640 t	18,270t	17,400 t	19,851t	未達成	11,000 t
二酸化窒素の環境基準達成率	75%	75%	75%	100%	100.0%	達成	100%



① 環境にやさしい行動を促進します

施策の展開方向

平成 21 年度に策定した「松戸市地球温暖化対策地域推進計画（松戸市減 CO2 大作戦）」に定める 6 つの「改革の柱」をもとに、地球温暖化防止事業を推進していきます。

- i 市民一人ひとりのライフスタイルを改革して、我が家でできる省エネ行動の実施率を向上させます。
- ii 目標をもって省エネに取り組む事業を拡大させ、ワークスタイルを改革します。
- iii 自動車の燃費向上、自家用自動車台数の削減、走行距離の削減、クリーンエネルギー車の拡大を促進し、車社会の改革を進めます。
- iv 省エネルギー仕様の住宅を拡大し、緑を増やすなど都市構造の改革を進めます。
- v 太陽光発電システム等の設置、バイオマス活用を促進し、エネルギー源の改革を進めます。
- vi 省エネ家電への買い替えを促進するなど家電製品などの改革を進めます。

計画番号	取り組み課題			担当課
67	地球温暖化対策地域推進計画(松戸市減CO2大作戦)の短期削減目標の達成に向け、引き続き市民・事業者とともに、温室効果ガスの排出抑制など地球にやさしい行動を推進します。併せて、短期目標の進捗状況を基に中期目標に向けての新たな戦略について検討します			環境政策課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	減CO2大作戦の短期目標(2012年度までに1990年度比6%削減)を達成します	平成21年度、142.6千tだった減CO2大作戦によるCO2の削減量を大幅に増やします	地球温暖化防止事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	市民や事業者向けに、CO2排出抑制のための周知・啓発事業等を実施しましたが、平成25年度のめざそう値であるCO2の削減量281,600tには及びませんでした。この結果を踏まえ、より効果的なCO2排出抑制をはかるため、事業の見直しをしていきます。 【CO2削減量】 H23実績値 174.3千t H24実績値 173.5千t H25実績値 191.8千t			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	14,287	21,886	21,885	58,058
予算額 (千円)	14,287	20,349	19,452	54,088
決算額 (千円)	17,130	17,750	24,075	58,955

② 廃棄物による環境負荷を減らします

施策の展開方向

資源循環型社会を構築していく上での基盤となる3R施策を、市民の発意と協働を基本として推進していきます。

ごみ減量に向け市民・事業者の自主的な取り組みの推進、資源化の促進や生ごみ処理容器購入費の補助、集団回収活動への支援等を行うとともに焼却灰の一部をエコセメントにするなど、ごみの減量・資源化を推進していきます。

収集については、常に最適な収集体制の構築を図っていきます。

処理施設の整備については、計画的に必要な整備を行うことで、排出されるごみの適正処理を推進していきます。

計画番号	取り組み課題			担当課
68	和名ヶ谷クリーンセンターの長寿命化を図ることにより、建て替えのサイクルを長くします			和名ヶ谷クリーンセンター
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	和名ヶ谷クリーンセンターの延命化を図ります	平成 25 年度までに基幹的整備実施率を 6 割にします	和名ヶ谷クリーンセンター基幹整備事業(継続費)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	1・2号炉及び共通設備の工事が完了し、延命化を図ることが出来ました。 【基幹的整備実施率】 H24実績値 30% H25実績値 60%			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	195,000	956,000	549,500	1,700,500
予算額 (千円)	0	435,000	2,570,600	3,005,600
決算額 (千円)	0	375,192	1,747,974	2,123,166

計画番号	取り組み課題			担当課
69	新しいごみ処理基本計画を策定することで、循環型社会の形成に向けた3R 施策と、ごみ処理に係る受益者負担を視野に入れた本市に適した持続可能なごみ処理体制を構築します			廃棄物対策課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
ごみの減量・資源化を進め、最終処分量の削減を図ります		平成21年度、790.3g/日だった原単位を減らします	ごみ処理基本計画推進事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	資源循環型社会の構築に向けた取り組みを一層進め、目標数値は達成していますが、さらに減量するため3R施策推進等啓発の継続が必要です。 【原単位】 H23実績値 770.9g/日・人 H24実績値 766.8g/日・人 H25実績値 760.7g/日・人			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	—	—	—	—
予算額 (千円)	—	—	—	—
決算額 (千円)	—	—	—	—

### ③ 大気汚染に係る物質を減らします

#### 施策の展開方向

大気汚染を監視することによって、大気環境の把握に努めるとともに、大気汚染対策の一環として、低公害車の普及促進を図ります。

環境意識向上のため、大気保全の大切さや、環境に配慮した生活と行動のあり方などについて考える機会をつくり、市民への啓発活動に努めます。

### ④ 生活上の不快要因を減らします

#### 施策の展開方向

市内幹線道路沿道の騒音、振動の状況を把握するため、自動車騒音及び道路交通振動の測定を行います。公害苦情対策の一つとして、市民、事業者向けのごみ焼却行為禁止のパンフレットを作成するなど啓発に努めます。

松戸の良さの一つとして、音環境を保全するため、心地よい音を残す啓発活動に努めます。

## 第5項 犯罪や事故の少ない安全で快適な市民社会

をつくります

### めざしたい将来像

犯罪や事故、消費者トラブルのない安全・安心のまちづくりに向けて、市民一人ひとりの心がけと地域の見守り等を実施し、お互いに助け合える社会を実現します。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
刑法犯認知件数 (対1千人)	28.2件	16.4件	14.1件	13.5件	12.1件	達成	13件
防犯用品貸与団体数	—	40団体	288団体	300団体	316団体	達成	320団体
交通事故による 死傷者数(対1千人)	6.5人	5.4人	4.5人	4.3人	3.3人	達成	4人
交通事故の発生 件数 (対1千人)	5.3件	4.5件	3.9件	3.8件	2.8件	達成	3.5件
消費者トラブル に巻き込まれた 人の割合	11.4%	11.0%	9.0%	9%	8.3%	達成	8%

①安心して日常生活が送れるようにします

施策の展開方向

「松戸市安全で快適なまちづくり条例」に基づき、平成17年6月から、重点推進地区である松戸駅周辺と新松戸駅周辺で、また平成20年4月から八柱駅周辺を加え、迷惑行為のうちポイ捨て、指定喫煙場所以外の喫煙に限り、発見次第直ちに過料を徴収しています。道路上など公共の場所における喫煙率を下げるため、啓発活動等を続けていきます。

市民・地域、警察、行政などの連携による松戸市警防ネットワークを強化するため、青色回転灯装備車両による夜間を含めたパトロールの強化、町会や防犯活動団体へ必要な支援、防犯カメラの設置、地域の防犯灯の設置等に係る支援など様々な防犯に関する取り組みを推進します。

また、市民の日常生活での悩み事や困りごとに対して、弁護士・税理士などのアドバイスを受けることができる専門相談を行います。

計画番号	取り組み課題			担当課
70	市民との連携で、犯罪のおきにくい環境を整備するとともに、特に、子どもたちを犯罪被害から守る活動を促進します			市民安全課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	地域のことは地域で守る地区が増えることで、犯罪がおきにくい街になります	平成21年度、3地域だった地域防犯対策連絡協議会を6地域程度に増やします	地域ぐるみ安全安心推進事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
未達成	地域防犯対策連絡協議会を増やすべく、支所等と協議を重ねてきましたが、双方の意見が一致せず、設立に至りませんでした。引き続き、地域防犯対策連絡協議会設立に向け、検討・協議を重ねてまいります。 【地域防犯対策連絡協議会】 H23実績値 3地域 H24実績値 3地域 H25実績値 3地域			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額(千円)	34,685	31,495	31,495	97,675
予算額(千円)	34,685	49,894	59,302	143,881
決算額(千円)	44,519	43,451	59,664	147,634

②安心して買い物ができるようにします

施策の展開方向

消費者の安全を守るため、安全が留意される製品については、関係法令に基づく立ち入り調査を行います。また、適正な計量の実施を確保するため、必要な計量器の検査を行います。

自立した消費者育成の拠点となる「松戸市消費生活センター」は、相談を受け付け、必要な情報提供や助言などを行っています。生活者の視点に立ち、より相談しやすい体制の構築をめざします。そのため、相談員が専門的な知識の習得ができるように、積極的に研修会に参加するなどスキルの向上を図ります。

消費者を守るために必要な情報を迅速に収集するとともに、消費者団体や消費生活モニターの協力により、市民からの日常の消費生活に関する情報を集め、業務に反映させていきます。

また、消費者の学習支援として、高齢者を対象とした被害にあわない、被害を拡大させないための講座等を開催し、消費者の自立を支援します。

計画番号	取り組み課題			担当課
71	消費者被害を未然に防止し、併せて消費者の自立を支援します			消費生活課
めざす成果	目標	対象事業	会計区分	
消費者被害が減り、自立した消費者が増えます	平成21年度、1,527人だった消費者講座受講者数を増やします	消費生活相談事業 消費者学習支援事業	一般会計	
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
未達成	市民から広報や講座等により、被害から回避できたとの情報提供が得られました。市民からの要請による講座回数の減少と1講座当たりの受講者数が少なかったため、目標達成には至りませんでした。今後は、小中高大生を対象とした講座も含め、講座内容の見直しと周知方法の検討により、受講者数を増やしたいと考えます。 【消費者講座受講生】 H23実績値 1,046人 H24実績値 546人 H25実績値 487人			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額(千円)	22,751	20,035	18,219	61,005
予算額(千円)	22,751	24,646	20,744	68,141
決算額(千円)	21,508	23,915	22,445	67,868

## 第6項 緑と花に親しむことができるようにします

### めざしたい将来像

生きものやみどりと共に暮らすために、みどりの市民力による協働を推進します。そして、人と自然を大切にする思いやりの心を持ち、豊かで潤いのある生活ができるまちを実現します。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合	21.1%	22.7%	19.4%	21.4%	18.8%	未達成	25%
里やまボランティア活動団体数	3団体	7団体	12団体	16団体	15団体	未達成	23団体
花いっぱい運動活動団体数	30団体	59団体	68団体	80団体	88団体	達成	101団体
公園緑地活動団体数	—	129団体	145団体	158団体	155団体	未達成	180団体
身近で、緑が守られ、増えていると感じる人の割合	—	—	6.2%	12%	7.0%	未達成	18%

施策の展開方向

緑の基本計画（平成21年3月改定）をもとに、防災・環境保全・レクリエーション・景観形成といった緑の多面的機能を向上させ、緑地の保全、公園緑地の整備、緑化の推進を行い、市民が緑や水辺に触れ合うことのできるネットワークを形成していきます。

市内全域の樹林地をこれ以上減少させないため、樹林地等の土地所有者と連携し、多様な制度や手法による緑の保全に取り組んでいきます。条例による「保全樹林地地区・特別保全樹林地地区」の指定に努めると共に、矢切の斜面林などを積極的に、法による「特別緑地保全地区」に指定していきます。

また、樹林地・公園等の資源を有効に活用するために、市民や市民団体を中心とした多様な人々との協働に積極的に取り組み、緑のイベント・講座等を充実させ、みどりの担い手づくりに努めます。

計画番号	取り組み課題			担当課
72	市民に身近な緑の保全と花に親しむ活動を市民団体等と行政が連携して推進します			みどりと花の課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	身近な緑や花により市民に「うるおい」と「やすらぎ」を与えられます	平成21年度、75箇所だった花いっぱい運動活動箇所数を増やします	公共用地等緑化事業 市民参加緑化事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	イベント等で、市民に対し啓発活動を行いました。平成25年度実績は、団体数3増3減で実質0増でしたが、過年度増加数が目標を大きく上回っているため、平成25年度目標は達成しています。 【花いっぱい運動活動箇所数】 H23実績値 91箇所(3増1減) H24実績値 101箇所(12増2減) H25実績値 101箇所(3増3減)			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額(千円)	217,043	253,177	246,592	716,812
予算額(千円)	217,043	225,479	228,763	671,285
決算額(千円)	226,158	222,570	227,645	676,373



計画番号	取り組み課題			担当課
73	里やま入門講座など市民参加による緑地の保全を目指し、市民団体と行政による維持管理を協働で実施します			みどりと花の課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
身近な緑に親しむ活動を通じて市民団体等と行政が連携し、保全の意識が高まります		平成21年度、15箇所だった里やまボランティア団体活動箇所数を増やします	市民参加緑化事業(再掲)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	平成24年度は修了生が既存のボランティア団体に分散して加入しました。平成25年度は1団体結成。今後も活動の促進に向け、行政の取り組みを強化します。 【里やまボランティア団体活動箇所数】 H23実績値 15箇所(0箇所) H24実績値 16箇所(1箇所増) H25実績値 17箇所(1箇所増)			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	59,731	57,119	56,992	173,842
予算額 (千円)	59,731	61,313	55,566	176,610
決算額 (千円)	58,408	58,948	53,743	171,100

計画番号	取り組み課題			担当課
74	特別緑地保全地区や特別保全樹林地区等の指定により、残された貴重な緑を保全します			みどりと花の課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
貴重な緑を保全することにより、自然環境が維持できます		特別緑地保全指定区域等の面積と保護樹木指定本数を増やします	樹林等保全事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	所有者への指定の働きかけを行いました。保護樹木等の項目で目標を達成できなかったため一部達成をしました。 【都市緑地法に基づく特別緑地保全地区】 【松戸市緑の条例による特別保全樹林地区】 H21実績値 2.1ha(基準値) H21実績値 89,023㎡(基準値) H23実績値 2.8ha H23実績値 119,344㎡ H24実績値 4.3ha H24実績値 121,941㎡ H25実績値 4.8ha H25実績値 121,941㎡ 【松戸市緑の条例による保護樹木】 H21実績値 130本(基準値) H23実績値 126本 H24実績値 129本 H25実績値 129本			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	23,851	29,989	25,928	79,768
予算額 (千円)	23,851	21,382	18,510	63,743
決算額 (千円)	20,426	19,477	16,326	56,229

計画番号	取り組み課題			担当課
75	公園や緑地で緑や花と触れ合える地域活動ができるように、行政と市民団体とが協働で管理します			みどりと花の課、公園緑地課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
市民団体等が緑地の管理運営を行うことにより、緑に対する意識が高まります		平成21年度、144箇所だった市民団体等の活動する公園緑地数を増やします	公共用地等緑化事業(再掲) 市民参加緑化事業(再掲) 市内公園緑地管理事業(維持管理業務)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	公園利用をしている市民団体、町会及び自治会等に声をかけ、管理運営をする市民団体を増やしました。しかし、新たに市民団体を増やしても、高齢化や少子化により継続できず止めてしまう市民団体もあります。 【市民団体等の活動する公園緑地数】 H23実績値 146箇所 H24実績値 150箇所 H25実績値 153箇所			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	546,008	592,943	586,681	1,725,632
予算額 (千円)	546,008	560,133	584,810	1,690,951
決算額 (千円)	626,966	557,214	578,817	1,762,997

計画番号	取り組み課題			担当課
76	地域のニーズや時代を反映させた公園像を市民とともに探ります			公園緑地課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
地域の声 that 反映され、コミュニティの舞台となる公園が増えます		地域の考えを反映させた公園を1箇所整備します	市内公園緑地管理事業(改良業務)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
未達成	平成24年度については、松戸市公園再整備ガイドライン(案)の作成を行い、平成25年度では同案のパブリックコメントを実施し、松戸市公園再整備ガイドラインを策定しました。また、金ヶ作公園(常盤平地域)のワークショップ実施し、再整備計画を策定しました。 今後は、緑の基本計画に基づき市内11地域を代表する公園を毎年1地域ずつ整備していくため、事業終了は平成37年度を予定しています。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	20,374	36,198	25,834	82,406
予算額 (千円)	20,374	21,500	40,000	81,874
決算額 (千円)	28,688	21,372	42,698	92,758

計画番号	取り組み課題			担当課
77	21世紀の森と広場の魅力を高めるため、公園機能の見直し検討を行います			公園緑地課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	21世紀の森と広場の魅力が上がり、来園者数が増えます	平成21年度、651千人だった年間来園者数を増やします	21世紀の森と広場施設整備業務	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
未達成	<p>平成24年度の松戸市緑推進委員会からの「21世紀の森と広場の魅力アッププラン」についての答申を受け、市では平成24年度中にアクションプランの検討を行い、平成25年度から一部事業化。「21世紀の森と広場ドコでもシアター」、「ドンちゃん・グリちゃんの自然展」などの事業を実施しました。来園者数は東日本大震災の放射能事故により大幅に減少し、目標には及ばなかったが、平成25年度には急速に回復しており、更なる来園者数増を目指し、今後も魅力アップのための事業の継続と、新規事業に取り組んでいきます。</p> <p>【年間来園者数】  H23実績値 527,391人  H24実績値 526,092人  H25実績値 596,217人</p>			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額（千円）	59,775	62,893	59,893	182,561
予算額（千円）	59,775	58,515	0	118,290
決算額（千円）	59,346	58,037	0	117,383

計画番号	取り組み課題			担当課
78	身近な緑の拡大及び育成を図るため、街区公園を1箇所(拓野公園)整備します			公園緑地課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	公園の少ない地域に身近な緑を拡充し、親しむ機会を増やします	平成25年度に、拓野公園を開園します	街区公園整備事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	<p>拓野公園用地を取得し、整備を行い平成24年度末に開園しました。開園後に拓野公園を利用している自治会と公園等の管理作業に関する協定書の締結を行いました</p>			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額（千円）	104,856	10,000	0	114,856
予算額（千円）	104,856	13,000	0	117,856
決算額（千円）	103,000	14,280	0	117,280

計画 番号	取り組み課題			担当課
79	戸定が丘歴史公園(福島県学生寮跡地を取り込んだ戸定が丘一帯)の自然環境の保全や景観の向上を図ります			公園緑地課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
戸定が丘歴史公園の緑地が拡充されることにより、新たな景観に親しむ機会が増えます		戸定が丘歴史公園の緑地を拡充します	特殊公園整備事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	用地の取得は完了しましたが、検討会議に伴う有識者等の意見を踏まえ、国の名勝指定に向けた取り組みを優先させるため、整備計画を見直しました。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	0	227,000	112,000	389,000
予算額 (千円)	0	276,670	4,500	281,170
決算額 (千円)	0	292,715	1,700	294,415

## 第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

### 第1項 地域産業を振興し、豊かな経済活動ができる ようにします

### めざしたい将来像

今ある資源を活かした、新しい松戸らしい地域産業を生み出すため、産・学・官・民の連携、世代間を超えた連携を継続して行うことによって、若者にも魅力ある松戸のまちを実現します。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合	42.9%	37.7%	35.4%	40%	35.7%	未達成	50%
商業の年間商品販売額	80,376,473 万円	76,488,304 万円 (H19.6)	76,668,908 万円 (H19)	77,668,000 万円	76,668,908 万円 (H19)	未達成	80,000,000 万円
製造品出荷額	46,795,923 万円 (H12.12)	42,773,374 万円 (H18.12)	47,370,740 万円 (H20)	43,000,000 万円	36,593,587 万円 (H24)	未達成	43,000,000 万円
農用地利用権設定面積	—	1.54ha	3.55ha	1.8ha	3.97ha	達成	1.8ha

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
松戸の良さを伝えるために取り組んでいる市民の割合	—	—	19.0%	25%	15.8%	未達成	30%
主要観光スポットの観光客数	3,175千人	2,627千人 (H19.12)	2,617千人	2,700千人	2,584千人	未達成	2,800千人

① 商工業を盛んにします

施策の展開方向

商店会への支援策として、意欲的な商店会が行う販売促進活動（イベント開催等）、街路灯やアーチなど商店街の賑わいを創出する共同施設整備、商店街の空き店舗対策などに対する支援を行います。また、環境変化やニーズの変化に的確に対応するため、商店会の活性化に向けた指導育成や法人化の支援に努めます。

松戸駅周辺においては、松戸駅の改造などもあることから、地元住民との協働によりまちづくりの方向性を明確にし、計画を策定するとともに、本市の中心市街地にふさわしい商業環境の整備に努め、駅周辺でのイベントや販売促進活動を推進し、商業基盤の強化を図ります。

工業においては、経済情勢や企業をとりまく環境の変化に対応し、企業活動の活性化や、バランスある産業構造の確保に努めます。また、付加価値の高い製品の製造業の誘致などを図り、工業団地の政策的使命を果たすとともに、今後の土地利用の状況を見極め、有効活用を推進します。

卸売市場は、規制緩和等による流通構造の大きな変化に伴い全国的に取扱量が減少していることから、活性化が図れるよう公設市場の民営化の検討を進めます。

計画番号	取り組み課題			担当課
80	松戸駅周辺に、人が集い、賑わい、活気あるまちの実現をめざします			街づくり課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	地元と十分に協議し、地域資源を活用した回遊性の高い魅力あるまちづくりに向けて進んでいます	松戸駅周辺の活性化の方向性を定めます	松戸駅周辺地域活性化事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	「松戸駅周辺まちづくり基本構想」の素案を作成しました。 今後、学識経験者や地元で構成する「松戸駅周辺まちづくり委員会」で調査審議を行った後、基本構想を策定します。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額（千円）	—	—	—	—
予算額（千円）	—	35,300	10,300	45,600
決算額（千円）	—	24,045	8,400	32,445

計画番号	取り組み課題			担当課
81	松戸駅周辺の商業(中心市街地)の活性化を図ります			商工振興課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	中心市街地が賑わいに溢れ、市外への流失が減ります	平成19年度、7,444,132万円だった中心市街地の商業小売年間販売額を増やします	商店街活性化指導事業(中心市街地活性化業務)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
未達成	松戸駅西口デッキステージにおけるイベントや、周辺商店会による共同事業など、約30回のイベント等開催により松戸駅周辺中心市街地の賑わいの創出を図りました。 経済産業省による統計調査の結果が発表されていないため、中心市街地の商業小売年間販売額の目標に対する達成度合いの判断はできませんが、東日本大震災が商業分野に与えた影響は大きく、現在持ち直しの動きは見られるものの、平成19年度に比べ、個人消費は大幅に落ち込んだものと思われるため、未達成としました。			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額(千円)	2,590	74,590	2,590	79,770
予算額(千円)	2,590	2,590	2,590	7,770
決算額(千円)	1,993	2,413	2,061	6,467

計画番号	取り組み課題			担当課
82	市内の商工業の事業者のニーズを把握し、中小企業や商店街が活性化するための検討を行います			商工振興課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	市内の商工業を活性化するための方策が立案できます	市内の商工業者のニーズ分析及活性化のための方策を立案します	緊急雇用創出事業(中小企業経営ニーズ調査事業)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	本市の商工業の現状と課題を踏まえ、本市における商工業振興のための基本方針を策定するとともに、当該方針に沿って施策を展開しました。			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額(千円)	—	—	—	—
予算額(千円)	13,787	0	0	13,787
決算額(千円)	13,440	0	0	13,440

計画番号	取り組み課題			担当課
83	空き店舗対策など商店会が行う事業を支援し、活性化を図ります			商工振興課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
賑わいのある商店街が増えます		平成21年度、54事業だった販売促進事業(共同事業)を増やします	商店街共同事業支援事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	平成21年度、54事業であった販売促進事業(共同事業)の開催件数が、63事業に増加するとともに、空き店舗を活用した商店街活性化のための取り組みに対して支援を行いました。 【販売促進事業(共同事業)】 H23実績値 57件 H24実績値 62件 H25実績値 63件			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	64,500	16,900	16,900	98,300
予算額 (千円)	64,500	13,750	15,250	93,500
決算額 (千円)	61,356	10,281	14,299	85,936

計画番号	取り組み課題			担当課
84	これから起業する方への創業支援や事業者に対して経営相談を充実します			商工振興課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
相談件数が増え、起業する者が増えます		平成21年度、61件だった中小企業総合相談数を増やします	経営支援事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	相談事業の周知及び開設日時の工夫等により、相談窓口利用件数は実施計画策定時の目標値を上回ることができました。相談窓口を経て開業に至った方も追跡調査等で把握している分で10件程度ありました。 【中小企業総合相談数】 H23実績値 103件 H24実績値 125件 H25実績値 123件			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	64,541	64,541	64,541	193,623
予算額 (千円)	64,541	61,161	59,207	184,909
決算額 (千円)	58,876	56,791	54,945	170,612



計画番号	取り組み課題			担当課
85	付加価値の高い製造業など、雇用や税収に繋がる企業の誘致を図ります			商工振興課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
工業関係団体と連携し工業団地の企業誘致や有効活用が図られます		平成21年度、435所だった工業団地内の事業所数を増やします	工業活性化事業 企業誘致事業(平成25年度)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
未達成	<p>松戸市商工業等振興基本方針・松戸市企業立地促進基本方針の策定、ホームページ「松戸市の工業と企業誘致」による情報発信をするとともに、産業振興アドバイザーを中心に、企業のニーズ把握や誘致営業に努めました。しかしながら、景気動向等の影響により、目標である事業所数435所は未達成でした。</p> <p>【工業団地内の事業所数】  H23実績値 364所  H24実績値 390所  H25実績値 347所</p>			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	—	—	—	—
予算額 (千円)	302	4,522	1,200	6,024
決算額 (千円)	0	4,123	1,044	5,167

計画番号	取り組み課題			担当課
86	市場関係者に民営化への理解と協力を求め、後継開設者を誘致します			消費生活課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
活力ある市場になります		平成21年度、11%だった南部市場における民営化の合意割合を高めます	市場施設管理事業	公設地方卸売市場特別会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
未達成	<p>民営化に移行している先進市場への視察と調査を実施し、その調査結果をとりまとめました。また、南部市場における民営化の合意割合については、卸売会社、仲卸会社に意見を聞くことができる状況となっていないことから、民営化に向けた協議等の話し合いが進んでおらず、目標が前進しているとは判断しかねるため、未達成としました。今後は、庁内関係課で市場民営化に関する協議会を立ち上げ、その協議結果を参考に勉強会等を市と施設会社、卸売会社、仲卸会社の市場関係者で開催できるように調整していきます。</p>			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	—	—	—	—
予算額 (千円)	—	—	—	—
決算額 (千円)	—	—	—	—

② 農林水産業を続けられるようにします

施策の展開方向

平成 23 年度の「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」の改正において、農業の法人化を促進し、生産、加工、販売の一体化の推進、新たな松戸ブランド農産物の商品化、意欲ある多様な農業者への農地集積、農産物直売所の設置などを検討していきます。また、観光農業・体験農園・産地直売農園の推進、認定農業者制度の普及・促進をさらに進めます。

計画番号	取り組み課題			担当課
87	環境保全型農業を推進するなど安全・安心な農産物の生産・供給を拡大するとともに、施設園芸事業により松戸ブランド品を育てます			農政課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	都市型農業の推進が図られます	平成21年度、1,221,972千円だった農産物出荷額を増やします	産地育成強化支援事業 環境保全型農業推進事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
未達成	環境にやさしい農業の推進、農産物ブランド化の推進、作業機器の導入や生産施設の拡充により、省力化と生産の安定化を推進しましたが、農家戸数の減少傾向が続いていると推察され、出荷額も減少しました。今後は農産物ブランド化ロゴマークの認知度を高めると共に、農産物の質的向上を目指して事業を進めていきます。 【農産物出荷額】 H23実績値 1,161,757千円 H24実績値 1,212,188千円 H25実績値 1,115,591千円			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	33,385	30,635	30,635	94,655
予算額 (千円)	33,385	34,242	38,468	106,095
決算額 (千円)	28,285	28,196	32,079	88,560

計画番号	取り組み課題			担当課
88	オーナー農園、産地直売所を通じて地場農産物の PR を充実するとともに、農業体験農園を推進します			農政課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
市民が松戸産農産物を手にしたり、農業体験できる機会と場が増えます		平成21年度、1,234区画だったオーナー農園の販売区画数を増やします	観光農業普及奨励事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
未達成	<p>オーナー農園の推進を図りましたが、東電原発事故による影響と、一部農園の閉鎖により 24 年度区画数が大きく減少しました。</p> <p>【販売区画数】</p> <p>H23実績値 1,231区画</p> <p>H24実績値 760区画</p> <p>H25実績値 805区画</p>			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	3,906	656	656	5,218
予算額 (千円)	3,906	300	300	4,506
決算額 (千円)	3,776	209	300	4,285

### ③ 市内観光を楽しめるようにします

#### 施策の展開方向

各地域で、さまざまに開催されるイベントを支援し、地域の活性化を図るとともに、地域のまちづくりのためのボランティア活動を促進していきます。また、ガイドマップ、地区別マップ、観光協会ホームページを活用し、多様化する観光ニーズに合わせた情報提供の充実を図ります。

観光を目的とする市民ボランティアへの支援体制を向上させ、市民ボランティアの協力を得て、観光地の環境美化や案内の充実などに努めます。

また、「矢切の渡し」のある矢切地区や「本土寺」「東漸寺」がある小金地区などを観光地として、周辺の観光資源の発掘を行い、日帰りで楽しめるような観光ルート の環境整備を進めます。

計画 番号	取り組み課題			担当課
89	矢切の渡し、野菊の墓、本土寺、戸定邸などへの日帰り観光客を増やします			文化観光課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
商店街での観光客の消費が増えます		平成21年度、2,877千人だった市内 主要イベント入込客数を増やします	観光イベント支援事業 観光促進事業(観光協会補助金) 観光施設管理事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
未達成	<p>① 市政70周年を記念して、松戸花火大会での花火発数を10,000発へ増発しました。          ② 学生観光サポーター養成講座について、市内大学の観光学部と連携し、拡大を図りました。          ③ 松戸観光特命大使に松戸市出身の宝塚歌劇団専科の北翔海莉さんを任命しました。</p> <p>主要観光スポットだった施設の入込客数の集計が一部取れないため、また、主要イベント等のほとんどが屋外での開催であるため天候や気候により入込が大きく変わったことから、未達成としました。(平成23年は東日本大震災の影響のため中止イベントあり)。          【市内主要イベント入込客数】          H23実績値 1,991千人          H24実績値 2,740千人          H25実績値 2,584千人</p>			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	47,987	48,527	48,527	145,041
予算額 (千円)	47,987	49,962	53,953	151,902
決算額 (千円)	38,209	49,927	53,559	141,695

第2項 個性を活かし、能力を発揮して働くことができるようにします

### めざしたい将来像

松戸市に住む人が潤いのある生活を送れるように、若者から高齢者まで就労したい人は誰もが、就労できる環境をつくることによって、松戸に住んでよかったと思えるまちを実現します。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
新規求人倍率 (松戸市内)	0.66倍	0.86倍	0.51倍	1.0倍	0.98倍	未達成	1.0倍
65歳以上の完全失業率	4.8% (H12)	—	5.8% (H17)	—	5.7% (H22)	未達成	4.8%
20歳代の就業率	69.2% (H12)	—	66.8% (H17)	—	67.6% (H22)	未達成	70%
就業者数	235,837人 (H12)	—	232,391人 (H17)	—	226,256人 (H22)	未達成	260,000人

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
障害者法定雇用率を達成している企業の割合 (松戸市内)	51.4%	37.0% (H18.6)	42.5% (H21.6)	45%	27.0% (H25)	未達成	50%
障害者法定雇用率を達成している企業数	—	—	34社	37社	27社 (H25)	未達成	40社

※ めざそう値のうち国勢調査結果をもとにしているものは、25年度めざそう値を「—」にしました。

### 施策の展開方向

失業率の高い若年層や結婚や出産を機に仕事を辞めたために再就職が難しくなっている女性、あるいは高齢者の就労を促進する職業訓練や講座、相談窓口などの取り組みを充実します。また、就労意欲の高い障害者の就労環境の整備や就労機会の拡大を図るため、関係機関との連携を図りながら雇用の促進を図ります。

中小企業勤労者の福利厚生制度の整備を図るため、退職金制度導入の推進や労働に関する問題に対応する相談窓口を設置し、勤労者の福祉の向上に努めます。

計画番号	取り組み課題			担当課
90	市役所や民間企業における若者の就業体験の受入・協力体制を強化するとともに、個別就職カウンセリング窓口と職業能力向上講座を活用し、若者の就労を支援します			商工振興課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	就労できる若者が増えます	平成21年度、98人だった若者就労支援事業(職業能力講座・相談室等)参加者を増やします	雇用促進事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	<p>若者の就労支援として「就職個別相談」や「職業能力向上セミナー」、「就職活動セミナー」を実施。また「若年者職業訓練講座助成金」の交付などを行いました。</p> <p>平成25年度より実施した「まつど合同企業説明会」では、地元企業と求職者との出会いの場を提供し、出展企業38社、参加求職者196名、うち13名が出展企業より内定を獲得しています。</p> <p>【若者就労支援事業参加者数】</p> <p>H23実績値 44人 H24実績値 111人 H25実績値 280人</p>			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	18,036	18,600	18,600	55,236
予算額 (千円)	18,036	14,620	20,195	52,851
決算額 (千円)	11,736	11,818	18,476	42,030

計画番号	取り組み課題			担当課
91	様々な就労希望者に対して、関係機関と連携し情報提供を行い求職活動を支援します			商工振興課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	個性を活かして働く人が増えます	平成21年度、7.3%だった松戸市公共職業安定所管内の就職率を大幅に高めます	雇用促進事業(再掲)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	<p>松戸公共職業安定所雇用促進協会及び同所雇用対策推進協議会へ参加するとともに、庁内就労支援担当者会議を開催しました。</p> <p>外部就労支援機関、庁内就労支援担当者との情報共有、連携を図りながら求職者支援を実施した結果、松戸公共職業安定所管内の就職率は26.5%。前年比2.9%増となりました。</p> <p>【松戸市公共職業安定所管内の就職率】</p> <p>H23実績値 22.2%</p> <p>H24実績値 23.6%</p> <p>H25実績値 26.5%</p>			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	18,036	18,600	18,600	55,236
予算額 (千円)	18,036	14,620	20,195	52,851
決算額 (千円)	11,736	11,818	18,476	42,030

計画番号	取り組み課題			担当課
92	障害者雇用の法定雇用率達成に向け、障害者の雇用推進に取り組みます			商工振興課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	障害者の雇用が増えます	平成21年度、1.40%だった市内の障害者の雇用率を高めます	雇用促進事業(再掲)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
未達成	<p>障害のある方を雇用した、または職場実習に受け入れた事業所へ奨励金を交付しました。</p> <p>平成25年度の法定雇用率は1.37%でしたが、平成21年度より市内事業所の障害者雇用者数は約61人増加しました。</p> <p>平成21年度と比較し法定雇用率算定の基礎となる事業所数が20社、労働者数4,868人増加していることが、目標未達成の一因と考えています。</p> <p>【市内の障害者の雇用率】</p> <p>H23実績値 1.25%</p> <p>H24実績値 1.33%</p> <p>H25実績値 1.37%</p>			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	18,036	18,600	18,600	55,236
予算額 (千円)	18,036	14,620	20,195	52,851
決算額 (千円)	11,736	11,818	18,476	42,030

### 第3項 ゆとりを感じるまちに住むことができるように にします

#### めざしたい将来像

文化的で自然豊かなゆとりのあるまちと感じられるように、産・学・官・民が連携してまちづくりをすすめることで、地域のコミュニティが生まれ、市民のふるさととしてふさわしいまちを実現します。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
安心やゆとりを感じている人の割合	24.6%	25.6%	26.9%	28%	30.2%	達成	30%
最低居住面積水準未達率	7.0% (10年度)	—	8.3% (20年度)	0%	9.6% (H25全国速報値)	未達成	0%
景観づくりに参加する人の数	—	48人	73人	100人	66人	未達成	120人
地区計画策定面積	104.0ha	104.0ha	104.9ha	113ha	105.4ha	未達成	127ha



① 住環境が整ったまちにします

施策の展開方向

本市では、市街地環境の整備、改善を図るため、土地区画整理事業などを促進しており、1人当たりの居住面積についても、近隣市と比べ同等の水準にあり、近年上昇傾向にあるため、良好な居住環境が拡大しつつあると考えられます。

今後も快適で利便性の高い市街地環境の整備を進めるため、都市基盤の整備や再整備を要する区域にあっては、地区計画制度など様々な手法の活用を図り、市街地環境の向上をめざします。

また、松戸市耐震改修促進計画に基づき、耐震化を促進することにより、安全な住宅に誘導し、住生活基本計画に定める基本理念「松戸の歴史・文化と人材を活かし、誰もが安心して豊かに住み続けられる住生活の実現」に向けて、基本目標に沿って各種事業を推進します。

計画番号	取り組み課題			担当課
93	松戸市の将来像に適合する都市計画を検討します			都市計画課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	松戸市の都市ブランドを向上させます	平成21年度、△5.09%だった地価公示価格の変動率を高めめます	土地利用関連計画策定事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	市街化調整区域のうち、市街化区域としてのポテンシャルを有する地区の選定を行うことができました。しかし、実際に市街化区域に編入するためには千葉県の方針との整合や関係機関との調整など、非常に大きなハードルがあり、また、市街化区域の拡大は人口減少にシフトした時勢と逆行するものであるため、結果的に市街化区域の編入手続きには至りませんでした。 【地価公示価格の変動率】 H23実績値 △4.00% H24実績値 △4.32% H25実績値 △3.85%			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画額(千円)	—	—	—	—
予算額(千円)	26,665	9,218	19,747	55,630
決算額(千円)	23,721	8,380	12,784	44,885

計画番号	取り組み課題			担当課
94	松戸市の新しい都市ブランドを構築するため、東松戸駅周辺のまちづくりを検討します			政策推進課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
松戸市の都市ブランドを向上させます		東松戸周辺の魅力を高めます	政策検討事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	平成25年度に実施したサウンディング調査の結果や地域の要望を踏まえ、平成26年度に二段階一般競争入札(企画提案審査を通過した事業者のみで価格競争入札を行う)により66街区を売却し、民間による活用を図ります。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	—	—	—	—
予算額 (千円)	—	—	—	—
決算額 (千円)	—	—	—	—

計画番号	取り組み課題			担当課
95	都市整備公社の今後のあり方について検討します			街づくり課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
都市整備公社の解散を実施します		平成24年度までに解散します	都市整備公社検討事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	平成24年度末をもって解散することを平成23年度に決定し、平成25年3月31日に存続期間満了により解散しました。同年4月1日から清算法人に移行し、市へ残余財産を帰属させ、8月末日をもって清算が終了しました。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	—	—	—	—
予算額 (千円)	—	—	—	—
決算額 (千円)	—	—	—	—

② 生活の援助が必要な人に住宅を供給します

施策の展開方向

経済的な理由で住まいの確保に困窮する世帯や、母子家庭、障害者、高齢者などの民間賃貸住宅への入居が難しい世帯についても、住まいが確保でき、安心して生活を営めるように、公営住宅を今後も確保していきます。

現在の戸数を基本に、耐震化・バリアフリー化等を行い、既存ストックの質の転換を図りつつ、同等程度の住宅を確保していきます。

さらに、特別に支援が必要な人々へのソフト的な施策として、居住支援づくりを検討していきます。

計画番号	取り組み課題			担当課								
96	民間木造住宅への耐震化に係る助成制度の周知を図るとともに、特定建築物への耐震化の促進を図るための施策を検討します			建築指導課								
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分								
	耐震診断・改修が図られ、災害による建築物の損壊が減少します	平成21年度、0件だった民間木造住宅への助成件数を増やします	既存建築物耐震診断・改修促進事業（助成業務）	一般会計								
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由											
達成	<p>出前講座の要請はありませんでしたが、耐震相談会を10回開催し、広報等を通じて耐震化の必要性について周知しました。しかしながら、東北大震災から3年が経ち、耐震に対する関心が薄れたためか耐震診断補助・耐震改修補助の申請件数が減ったものと思われます。また、耐震診断を行ったとしても、建物の耐用年数と改修工事にかかる費用及び生活費のバランスから、耐震改修が必要と認識しつつも工事はできないと諦めていることも一つの要因と思われます。</p> <table border="0"> <tr> <td>【耐震診断補助】</td> <td>【耐震改修補助】</td> </tr> <tr> <td>H23実績値 44件</td> <td>H23実績値 8件</td> </tr> <tr> <td>H24実績値 56件</td> <td>H24実績値 12件</td> </tr> <tr> <td>H25実績値 14件</td> <td>H25実績値 10件</td> </tr> </table>				【耐震診断補助】	【耐震改修補助】	H23実績値 44件	H23実績値 8件	H24実績値 56件	H24実績値 12件	H25実績値 14件	H25実績値 10件
【耐震診断補助】	【耐震改修補助】											
H23実績値 44件	H23実績値 8件											
H24実績値 56件	H24実績値 12件											
H25実績値 14件	H25実績値 10件											
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計								
計画額（千円）	7,500	7,500	7,500	22,500								
予算額（千円）	7,500	13,000	13,500	34,000								
決算額（千円）	9,529	9,109	5,963	24,601								

計画番号	取り組み課題			担当課
97	UR 都市機構などの集合住宅のあるまちの今後のまちづくりを検討するため、市民、事業者、行政などによる検討体制をつくります			住宅政策課 健康福祉政策課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	集合住宅のあるまちの今後のまちづくりの方向性について、市民、事業者、行政などで共有します	集合住宅のあるまちの今後のまちづくりの方向性を検討する組織を設置します	大規模団地等活性化事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	<p>梨香台団地においては、今後のまちづくりを検討する前に、団地における現在の課題について意見交換を行い、URへ照会を行うなどの取り組みから、地元自治会などとの信頼関係を築いてきましたが、今後は梨香台団地地域のあるべき姿について検討を深めていきます。</p> <p>常盤平団地においては、平成24年度に事業主体である常盤平団地等地域活性化検討協議会・常盤平アートプロジェクト実行委員会を設置し、アート事業による地域活性化を図りました。平成25年度はこれら委員会の意見が合意に至らず、事業の実施が困難となったことから、今後の方策について再検討を進めています。</p>			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額（千円）	—	—	—	—
予算額（千円）	—	6,298	5,845	12,143
決算額（千円）	—	4,711	131	4,842

計画番号	取り組み課題			担当課
98	建物の老朽化、居住者の高齢化、低所得者の増加などに対応するため、市営住宅の今後のあり方を検討します			住宅政策課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	市営住宅の整備が図られ、居住者のニーズに対応できます	平成21年度、28棟だった耐震化された市営住宅を30棟にします	市営住宅改修事業 老朽化市営住宅住替事業 市営住宅維持管理事業（平成25年度）	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	<p>設計業務委託終了後、各関係機関との協議や居住者への説明会等に不測の日数を要したため、目標達成までは至りませんでした。今後は残り1棟の耐震化に向けて引き続き取り組んでいきます。</p> <p>【耐震化された市営住宅】 H23実績値 28棟 H24実績値 28棟 H25実績値 29棟</p>			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額（千円）	80,000	91,441	269,660	441,101
予算額（千円）	80,000	45,000	388,052	513,052
決算額（千円）	75,597	36,948	366,366	478,911

### ③ 美しいまちなみを増やします

#### 施策の展開方向

生活都市として快適でうるおいのある美しい都市の景観づくりをめざし、自然や歴史・文化を大切にするとともに、道路、河川などの公共空間やまちなみを構成する建築物などの景観に配慮し、市民や事業者と協働で景観づくりを推進します。

そこで、景観にかかわる意識の高揚を図るとともに、景観基本計画で定める松戸らしい景観づくりの基本的な考え方や方向性に基づき、地域住民の意向に沿ったまちづくりの実現に向け、市民、事業者、行政のそれぞれの役割を明確にしながら各種事業を推進します。

第4項 誰もが安心してスムーズに移動できるように  
します

### めざしたい将来像

誰もが安心して気軽に外出できる街並みを増やすために、人と自然にやさしい公共交通と道を整備することによって、いつまでも住み続けていたいまちを実現します。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
道路のバリアフリー地区別完了率	—	6.7% (1/15地区)	6.7% (1/15地区)	13% (2/15地区)	6.7% (1/15地区)	未達成	27% (4/15地区)
鉄道駅のバリアフリー化率(ワンルート整備率)	5.3% (1/19駅)	47.4% (9/19駅)	60.6% (12/20駅)	100%	81.8% (18/22駅)	未達成	100%
鉄道の混雑率(緩行電車)	209% (12年度)	179% (18年度)	173% (20年度)	173%	165% (24年度)	達成	150%
鉄道の混雑率(快速電車)	205% (12年度)	177% (18年度)	175% (20年度)	175%	168% (24年度)	達成	150%
渋滞箇所数	28箇所	26箇所	26箇所	25箇所	24箇所	達成	25箇所

### ① 歩行者等が移動しやすくなります

#### 施策の展開方向

「松戸市交通バリアフリー基本構想」に基づき、特定事業者（公共交通事業者、道路管理者、公安委員会）が、重点整備地区内の駅や特定経路等についての整備または整備着手をめざした「特定事業計画」を策定することを支援してきました。同計画により、松戸地区においては、引き続きバリアフリー化整備を進めていきます。

今後は次期重点整備地区を検討しながら、引き続き段階的に整備を計画していきます。

計画番号	取り組み課題			担当課
99	松戸駅周辺のバリアフリー整備を推進するとともに、歩行者などが安心して利用できる快適な歩行空間の整備について検討します			道路維持課
めざす成果	目標	対象事業	会計区分	
誰もが安心して通行しやすい市街地空間となります	松戸駅西口地区のバリアフリー整備を完了させます	交通バリアフリー整備業務	一般会計	
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	松戸駅西口地区バリアフリー整備につきましては、平成23年度より詳細設計や地元商店会等への周知を図り、平成24年度に松ノ木通りの第1工区に工事着手(平成25年9月竣工)し、平成25年度には松ノ木通りの第2工区に工事着手しています。平成26年度には高砂通りまでの工事を完了させる予定ですが、電線共同溝整備と併せた事業でもあるため、関連企業者との調整に不測の期間を要していることから、当初予定より完了が遅れています。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	67,000	290,000	167,000	524,000
予算額 (千円)	67,000	140,200	204,500	411,700
決算額 (千円)	36,474	81,059	143,566	261,099

## ② 車で移動しやすくなります

### 施策の展開方向

市民生活に欠かすことのできない社会基盤として、道路の機能を確保するため、定期的に、道路のパトロールを行い、計画的に舗装整備や段差解消を図っていきます。

また、交差点の改良などにより、渋滞の解消を図るとともに、都市計画道路の段階的な供用開始に向けて、整備に努めていきます。

計画番号	取り組み課題			担当課
100	都市計画道路3. 3. 7号線(河原塚地先)の整備を検討します			都市計画課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	本市内交流拠点の連絡性を高める骨格的な幹線道路が貫通します	関係機関と調整を図り、基本的な構造を定めます	都市計画道路計画策定事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	目標である基本的な構造の検討を行いました。千葉県が施行主体となって行うことについては了解を得られていないため、都市計画を変更し、構造を定めるまでには至りませんでした。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	10,000	9,000	5,000	24,000
予算額 (千円)	10,000	5,700	0	15,700
決算額 (千円)	8,441	5,630	0	14,071

計画番号	取り組み課題			担当課
101	長期未着手路線の必要性を検証し、都市計画道路の見直しを行います			都市計画課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	長期未着手となっている都市計画道路の必要性を再検討し、計画を見直します	追加廃止・構造変更などの路線見直し率を5%にします	都市計画道路計画策定事業(再掲)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
未達成	第4次実施計画策定時は、平成23年度に将来交通量推計、平成24年度に見直しの考え方、見直し対象路線の選定し、平成25年度に都市計画変更を行っていく予定でしたが、平成24年度に見直しの考え方を策定したのちに、千葉県や、道路が接続する近隣市との調整に平成25年度の一年間を要したことから、目標を達成することができませんでした。今後、抽出した見直し対象路線について、引き続き千葉県と協議を行い、了承を得られれば順次都市計画変更の手続きに着手していきます。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	10,000	9,000	5,000	24,000
予算額 (千円)	10,000	5,700	0	15,700
決算額 (千円)	8,441	5,630	0	14,071



### ③公共交通が利用しやすくなります

#### 施策の展開方向

鉄道については、鉄道駅のバリアフリー化などの支援、運行計画や運行本数の確保等に向けて、国土交通省や鉄道事業者等関係機関に働きかけて利便性の向上をめざしていきます。また、JR常磐線の東京駅乗り入れにあたっては、市民の交通利便性を高めるため、沿線自治体とともに、JR東日本と協議していきます。

バスについては、回転所の確保や路線変更の協議等、バス事業者への支援や関係機関への働きかけ、市民への情報提供など、生活の足となるバス路線の確保、維持等に向けた取り組みを行っていきます。

放置自転車対策としては、各駅に自転車駐輪場を整備し、市内16駅周辺に、放置禁止区域を設けています。今後も、放置自転車防止指導員を配置し、啓発を続けるとともに、放置禁止区域内に放置された自転車を移送保管し、駅周辺の安全な歩行空間を確保していきます。

## 第5項 安全な河川に整備し、きれいな水と

ふれあえるようにします

### めざしたい将来像

清流と豊かな自然環境の保持に向けて、浸水被害を少なくし、川に親しめるような整備をすることで、川辺が市民の憩いの場となることを実現します。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合（再掲）	21.1%	22.7%	19.4%	21.4%	18.8%	未達成	25%
流域整備面積	54.6%	57.4%	57.9%	59.7%	67.9%	達成	62%
BOD(75%)値 (国分川水系)	15mg/l	8.6mg/l	9.0mg/l (20年度)	10mg/l 以下	9.2mg/l (24年度)	達成	10mg/l 以下
水質基準達成率 (国分川水系 BOD)	37%	75%	83% (20年度)	100%	83% (24年度)	未達成	100%
BOD(75%)値 (坂川水系)	5.9mg/l	5.1mg/l	7.0mg/l (20年度)	5mg/l 以下	6.4mg/l (24年度)	未達成	5mg/l 以下

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
水質基準達成率 (坂川水系 BOD)	45%	66%	58% (20年度)	100%	100% (24年度)	達成	100%
河川利用イベントの参加者数	—	10,395人	18,700人	22,000人	9,100人	未達成	22,000人
下水道利用率 (下水道利用者 数/市内人口)	62.17%	72.26%	74.10%	78%	78.09%	達成	85%

①水害を少なくします

施策の展開方向

浸水被害常襲化地区の水害の軽減を図るため、河川と排水路の計画的な改修を行います。

市街地における雨水対策については、放流先河川の改修事業と調整を図りながら、浸水被害常襲化地区、および計画的な開発が進められている地区を中心に治水対策を推進します。

近年、都市における局所的な集中豪雨がみられ、その浸水対策が必要となってきました。

河川や排水路などの整備を推進し、保水や遊水機能の保全に努めるとともに、市民が災害（洪水）時に備えるためのソフト対策を含め、治水安全度の向上を図ります。

計画番号	取り組み課題			担当課
102	水害から市民を守るため、春木川、長津川、紙敷川等の改修・整備を行います			河川清流課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	河川の改修や排水施設の整備により、浸水被害を防ぎます	平成21年度、46.8%だった浸水対策率を向上させます	排水施設整備事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	春木川中流排水整備事業、紙敷川排水整備事業、紙敷川中流排水整備事業の整備を引き続き実施し、浸水対策率が上昇しました。 【浸水対策率】 H23実績値 50.2% H24実績値 52.2% H25実績値 54.5%			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額（千円）	665,787	801,628	814,390	2,281,805
予算額（千円）	665,787	580,735	562,700	1,809,222
決算額（千円）	289,124	528,868	554,597	1,372,589

## ②水環境をよくします

### 施策の展開方向

本市は、行政面積に対する河川の延長が県内で最も長い都市です。親水性に配慮した護岸を整備するとともに、環境学習などの市民参加による水辺活用プロジェクトを推進し、こうした豊かな水の資源を都市の魅力づくりに生かしていきます。

また、河川の水質保全や衛生的な生活環境の向上のため、普及率 100%をめざして下水道施設の整備、普及を推進します。

さらに、市内河川にかつての清流を取り戻し、生態系の維持機能の向上を図るため、排水における水質の規制や河川愛護の啓発に努め、公共下水道整備とともに河川浄化施設などの水質改善対策を推進します。

また、雨水の貯留や浸透による水源の確保や環境用水などの導入を図り、河川や湧水地の水量の確保に努めます。

計画番号	取り組み課題			担当課
103	江戸川・坂川をはじめとする水辺空間の活用を検討します			河川清流課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	良好な水辺空間にふれあえる場所が増えます	平成21年度、52.4%だった河川親水施設利用率を向上させます	水辺拠点事業 水辺活動推進事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
未達成	河川愛護団体による水質調査、江戸川松戸フラワーラインの花畑でポピー、コスモスの育成、レンゲ祭り、コスモス祭りを行いました。また、東松戸祭りで治水対策・河川愛護の啓発活動を行いました。水辺空間を活用したボランティア活動が根付いてきておりますが、施設の老朽化により活動場所に制限が出てきています。このことから、坂川親水広場を再整備する計画を進めています。 【河川親水施設利用率】 H23実績値 46.4% H24実績値 51.2% H25実績値 51.2%			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額（千円）	24,716	28,420	28,520	81,656
予算額（千円）	24,716	27,267	33,120	85,103
決算額（千円）	16,990	25,520	25,738	68,248

## 第6項 いつでも安心して水道水が使えるように

します

### めざしたい将来像

いつでも水道水が使えるために、災害に強い施設を整備することで、引き続き、安定した飲み水を実現していきます。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
水道事業に満足している人の割合	21.6%	—	28.4% (20年2月)	34%	34.0% (24年11月)	達成	41%
浄・配水施設の更新率	—	11.0%	43.6% (21年3月)	45%	45.0% (25年3月)	達成	78%

### 施策の展開方向

水道事業の経営にあたり、経営目標である、「安全で良質な水の供給」、「安定給水の確保」、「サービスの向上と健全経営」を行うため、常に事業の見直し・精査を行っていきます。

また、今後も耐震性の向上を図るため、耐用年数を迎える老朽管を始めとする浄・配水場の老朽施設を地震などの災害時にも水を確保できるよう、適切な耐震性能を有する施設へと、計画的に更新していきます。

計画番号	取り組み課題			担当課
104	安定的に水道水を供給するため、健全経営に努めます			水道部工務課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	安全な水を安定的に、将来にわたって供給することができます	平成21年度、0.35MPだった配水圧を持続します	井戸の保全 受水の確保 配水施設の運転管理	水道事業 企業会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	配水場電気室新築・配水場受配電設備更新・保守点検等により、浄・配水場の配水圧力を各年度とも0.35MPに持続できました。 【配水圧】 H23実績値 0.35MP H24実績値 0.35MP H25実績値 0.35MP			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額（千円）	715,766	723,132	730,594	2,169,492
予算額（千円）	474,343	477,754	479,799	1,431,896
決算額（千円）	461,639	478,686	474,842	1,415,167

## 第6節 都市経営の視点に立った行財政運営

### 第1項 市民ニーズに基づく行政経営を行います

#### めざしたい将来像

50万人になろうとする市民が、安心して住みやすく、満足してもらえるようなまちを実現します。そのため、継続的な対話を経た力強い連携から政策が生まれる仕組みづくりをし、経営基盤を強化します。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
住み続けたいと思う人の割合	58.6%	58.2%	60.0%	62%	61.3%	未達成	65%
行政サービスの改善度	—	—	26.8%	29.4%	20.0%	未達成	35%
後期基本計画のめざそう値の達成率	—	—	—	100%	39%	未達成	100%
行政情報入手手段に係るホームページの割合	4.8%	11.3%	14.4%	18%	18.5%	達成	25%
インターネットを利用している人の割合	38.1%	61.3%	60.0%	65%	68.5%	達成	70%

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
いきいきと働く ことができている 職員の割合	—	—	49.2%	55%	62.2%	達成	60%

① 市民ニーズ等を把握し、総合計画を策定します

施策の展開方向

基本計画の実現のため、財政的な裏付けをもたせた短期的な事業計画としての実施計画を策定します。実施計画は、選択と集中を明確にした戦略的な計画とします。また、基本計画の評価は、政策展開の方向に示すめざそう値の達成状況を中心に、適時、状況を把握し、評価していきます。実施計画については、計画事業以外の事業も含めて行政評価によりモニタリングを行い、計画期間満了後、達成状況を評価します。なお、公共ニーズを充足する主体間の連携を高めるため、産学官で情報交換を行う場を設け、連携事業の可能性を検討していきます。

そして、地域主権改革の進展により、基礎自治体としての本市の役割は大きくなることから、その役割に見合った財政基盤の充実強化や広域的課題への取り組みについて、国・県へ要請していきます。また、広域行政については、引き続き、近隣市との連携や合併による政令指定都市移行などの研究を行い、広く議論するための情報を提供していきます。



計画番号	取り組み課題			担当課
105	若い人が住みたくなる松戸の都市ブランドを構築するため、市内大学との連携を推進します			政策推進課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	学生のアイデアなどから若い人のニーズに合った都市ブランドが生まれます	市内4大学と包括協定を締結します	政策検討事業(再掲)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	平成25年度に千葉大学と聖徳大学との包括協定を結んだほか、様々な分野で市内4大学と連携しました。他大学とも新たな連携関係の構築に向けて、取り組みます。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	11,161	5,774	5,774	22,709
予算額 (千円)	11,161	16,775	10,156	38,092
決算額 (千円)	9,767	11,151	9,783	30,701

計画番号	取り組み課題			担当課
106	計画・財政・評価を一体としたサマーレビューを実施することで、事業目的や成果を明らかにし、必要な事業に資源を集中します			行政経営課、財政課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	外部の視点も入れて評価することで、持続可能であり、かつ、市民満足度の高い事業計画となります	第4次実施計画を着実に推進します	サマーレビュー推進事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	第4次実施計画を推進する中で、財政の健全化を図りつつ、都市ブランドの構築のために集中的な投資を行うよう取り組みました。さらに、次期計画となる第5次実施計画を計画と財源の整合をとり、戦略的な実施計画として策定しました。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	—	—	—	—
予算額 (千円)	—	—	—	—
決算額 (千円)	—	—	—	—

計画番号	取り組み課題			担当課
107	後期基本計画の達成状況を市民とともに確認し、市民参加を推進します			政策推進課
めざす成果		目標	対象事業	会計区分
市民参加の意義について、市民と職員共に学習が進みます		後期基本計画の進行管理に関する市民参加を活性化します	後期基本計画進行管理事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	後期基本計画の現状を市民参加を得て確認することができました。市では、これらの取り組みを踏まえて、第5次実施計画を策定しました。 ○事前セッション参加者数 H24実績値 146名(市民94名、職員52名) ○振り返りセッション参加者数 H24実績値 69名(市民49名、職員20名)			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	2,000	5,100	3,100	10,200
予算額 (千円)	2,000	6,593	636	9,229
決算額 (千円)	2,070	5,027	309	7,406

## ② 行政活動を透明にします

### 施策の展開方向

本市の活動状況をわかりやすく伝え、市民と行政の信頼関係を構築するため、広報まつどを定期的に発行するとともに、ホームページなどのインターネット技術を使っての情報提供を適時、行っていきます。また、市職員が出前で市政情報をお伝えするパートナー講座（出前）の充実や、よりわかりやすい説明になるよう工夫していきます。

また、情報公開制度を適切に運用し、透明性を確保するとともに、行政資料センターの情報内容の向上を図っていきます。

さらに、重要な政策の形成にあたっては、パブリックコメント制度をはじめ、市民会議などを適切に活用し、市民意見を的確に募集し、政策に反映するようにします。

計画番号	取り組み課題			担当課
108	総合計画の進捗状況、財政状況などを分かりやすくまとめ、市民に提供するほか、可能な限り、生の情報をネット上で見られるようにします			政策推進課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	本市行政の総合的な経営状況を市民に理解してもらえようとし、市民参加しやすい環境をつくります	平成23年度に経営白書を発行します	前期基本計画進行管理事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	平成23年に前期基本計画評価のための市民意識調査を実施し報告書を作成・公表するとともに、松戸市自治体経営白書を作成し、発行しました。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	1,900	0	0	1,900
予算額 (千円)	1,900	0	0	1,900
決算額 (千円)	1,759	0	0	1,759

計画番号	取り組み課題			担当課
109	松戸市の良さを積極的に市内外に伝えるための広報戦略を検討し、推進します			広報広聴課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	松戸市に住みたい、応援したいという人が増えます	新たなPRの手段を増やします	広報戦略推進事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	「まつどシティプロモーション推進方針」を策定するとともに、「情報共創型シティプロモーション」を行うための活動体「まつどやさしい暮らしラボ」の活動を開始しました。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	0	2,027	20,000	22,027
予算額 (千円)	0	0	7,000	7,000
決算額 (千円)	0	0	6,930	6,930

③ 人材や情報システムを活用し、生産性の向上を図ります

施策の展開方向

地域主権政策が推進されているなか、より一層、地方自治体の「自己決定・自己責任の原則」が徹底され、経営責任が問われる時代となります。多様化する行政需要に、より少ない職員数で、効率的に対応するため、行政評価などを通して、事務事業を点検します。そして、民間事業者を活用したり、市民との役割分担を見直すなかで、行政が行うべき事業を選択し、経営資源の集中を図ります。

また、組織機構については、行政需要に柔軟に対応し、市民にわかりやすく、的確に市民に向き合えるように見直しを図ります。

複雑化、高度化した様々な課題に対応できる高度な知識・能力を備えた人材の育成をめざします。特に、今後の施策展開にあたっては、市民と行政が協働して推進する場面が増えていくことから、わかりやすい説明ができ、様々な場面で話し合いを行う上で必要なノウハウをもった職員を増やします。また、新しい公共経営を担えるマネジメント能力をもった幹部職員を育成します。

本市情報システムは、これまでも「情報システム最適化計画」などに則り、その整備と構築に努めてきましたが、日々進化するICTに対して、常に敏感に適応する必要があります。そのため、新たな情報政策の全体計画を整備し、行政情報の電子的な提供を図るなど、電子的な市民サービスを向上するとともに、行政内部の事務のより一層の効率化を推進していきます。また、情報システムの運用については、地域情報プラットフォームの導入や、外部情報資産の活用なども視野に入れ、効率化を図ります。

計画番号	取り組み課題			担当課
110	市民と協働して事業を進めたり、政策形成できる意欲をもった職員を増やすため、人材育成基本方針を改定します			人事課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	主体性をもって働ける職員を増やします	市民と協働での研修、政策形成関連の研修の受講者数を増やします	人材育成事業(職員研修業務)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	平成23年度に人材育成基本方針を改定した他、政策形成研修として管理職説明能力向上研修など、下記の新たな研修を導入するなど、目標達成に向け有意義な研修を実施できました。			
	【協働での研修の受講者数】		【政策形成研修の受講者数】	
	H24実績値 119名		H24実績値 17名	
	H25実績値 64名		H25実績値 119名	
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	16,926	16,292	16,292	49,510
予算額 (千円)	16,926	16,396	16,101	49,423
決算額 (千円)	12,046	12,111	11,701	35,858

計画番号	取り組み課題			担当課
111	民間人の登用も含め、職員が切磋琢磨し、やる気をもてる人事制度を構築します			人事課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	職員のやる気や能力を最大限生かせる組織にします	平成21年度、49%だった職場満足度を高めます	人事管理事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	平成25年度は40名の民間企業等職務経験者の採用を決定し、これまでの採用者数は63名となり、これまで民間企業等で培ってきた専門知識や発想力等を各所属で十分に発揮し活躍しています。 【職場満足度】 H23実績値 60.0% H24実績値 61.3% H25実績値 62.2%			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	27,177	27,750	27,750	82,677
予算額 (千円)	27,177	24,434	22,016	73,627
決算額 (千円)	28,934	23,293	21,186	73,413

計画番号	取り組み課題			担当課
112	アウトソーシングを推進し、職員の退職補充を抑制するなどして、人件費を10%削減します			行政経営課、人事課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	再任用職員も含めた効果的な職員定数を実施することで、職員の適切な労務管理と生産性の向上が図れます	平成20年度の人件費の決算額を基準に、10%削減します	組織・機構整備事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	平成20年度の人件費(決算額)と比較し、平成25年度には約14.6%削減することができました。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	—	—	—	—
予算額 (千円)	—	—	—	—
決算額 (千円)	—	—	—	—

計画番号	取り組み課題			担当課
113	政策立案能力を高め、戦略的に執行できる組織体制を構築します			行政経営課
めざす成果	目標	対象事業	会計区分	
人材の有効活用が図られ、総合計画を推進するのに最適な組織となります	12の戦略プロジェクトが円滑に機能するようにします	組織・機構整備事業(再掲)	一般会計	
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	戦略プロジェクトの目標が達成できるよう組織改革を実施しました。 ① 重層的な組織だった本部制を廃止することで、組織の階層が減り、部門間の連携が以前よりとりやすくなりました。 ② 企画管理室の廃止により、管理部門の職員を減らし、事業部門を担う職員を増やすことができました。 ③ 広報広聴部門を集約し、基本政策の企画、総合調整を担う「総合政策部」を設置しました。 ④ 課や担当室を見直し、管理職ポストを削減しました。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	—	—	—	—
予算額 (千円)	—	—	—	—
決算額 (千円)	—	—	—	—

計画番号	取り組み課題			担当課
114	松戸市に寄附することによるメリットを市民に分かりやすく伝えられる寄附制度を構築します			総務課
めざす成果	目標	対象事業	会計区分	
市民の寄附文化が根付きます	多くの市民が寄附をするようにします	寄附採納事業(寄附受入金員)	一般会計	
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	HP・広報等を活用し寄附者へ周知しましたが、より一層寄附しやすい寄附制度の構築を図っていきます。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	119	124	124	367
予算額 (千円)	119	119	119	357
決算額 (千円)	50	71	86	207

計画番号	取り組み課題			担当課
115	ICTの利活用による市民サービスの向上や、業務効率化を推進するために、新たな情報システム全体計画を策定します			IT 推進課
めざす成果	目標	対象事業	会計区分	
オープン化されたシステムを利用した様々な行政サービスの導入及び業務改善により、TCOの圧縮・削減を図ります	新たな情報システム全体計画を早期に策定します	情報システム等活用事業	一般会計	
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	松戸市住民系基幹情報システム全体再構築計画を平成23年度に策定しました。さらに、平成25年度には、データセンター及び仮想基盤により構成される松戸市基幹系プライベートクラウド事業者の選定を行いました。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	—	—	—	—
予算額 (千円)	—	—	—	—
決算額 (千円)	—	—	—	—

## 第2項 財源、財産を適正に管理し、配分します

## めざしたい将来像

市民ニーズに弾力的に応えられる活力に満ちた松戸市となるために、発展性のある健全な財政運営を実現します。そのために、将来を見越して、社会資源の有効活用を図りつつ、柔軟かつ大胆な発想で歳入・歳出とも不断の見直しを行います。

	実績値		現状値	めざそう値	実績値	達成状況	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	25年度	25年度		32年度
財政力指数	0.886	0.963	0.951	0.980	0.883	未達成	1.050
経常収支比率	86.4%	92.1%	93.7%	90%	88.6%	達成	85%
自主財源比率	67.0%	72.6%	69.6%	70%	58.9%	未達成	70%
将来負担比率	—	30.1%	29.9%	40%	▲11.0%	達成	35%

### ① 財源を確保し、有効に配分します

#### 施策の展開方向

平成19年に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が成立し、平成20年度決算から新たな健全化判断基準と再生判断基準が適用されました。本市においては、これまでも「松戸市行財政改革計画」などにより取り組んできましたが、行財政改革の一層の推進が必要とされています。

また、市税の収納率向上に向けた取り組みとして、差し押えた不動産の公売を行うなどのほか、市税以外の各種料金等についても税と一元的な滞納管理を行うとともに、担税力の強化を図ることにより歳入の確保を図ります。

歳出については、義務的経費の増加を極力抑制しつつ、選択と集中により、限られた投資的経費を有効活用し、最大の効果があがるよう不断の見直しを行います。

なお、基本計画に掲げられた施策を個別事業にまとめ、財政的な裏づけをもたせた実施計画を着実に推進するため、毎年、中期的な財源推計を行いながら、事務事業を見直し、計画的な財政運営を行っていきます。



計画番号	取り組み課題			担当課
116	市の債権の徴収体制の整備及び徴収組織の充実を図ります			財政課、債権管理課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	市の債権管理を適正に行い、市民の納付の公平性が保たれます。自力執行権のない債権の法的措置が拡充します	現年度及び過年度滞納繰越分の収納率を向上させます	市税徴収事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	<p>市の債権の徴収体制の整備及び徴収組織の充実を図るため、債権管理条例を施行し、債権管理課を設置しました。その結果、市の全体の収納率が向上しました。</p> <p>債権管理課を設置したことにより、今までの体制に加え下記の実績を得られました。完全徴収一元化が重要であるとの考えから、債権管理課では第5次実施計画においても徴収組織の見直しに取り組んでいます。</p> <p>【徴収実績】</p> <p>H23実績値 212,497,830円  H24実績値 284,632,502円  H25実績値 377,506,077円</p>			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	110,336	110,336	110,336	331,008
予算額 (千円)	110,336	105,846	100,936	317,118
決算額 (千円)	102,167	96,292	95,591	294,050

計画番号	取り組み課題			担当課
117	徴収体制の整備や広告媒体として市の資産活用の拡大を図り、自主財源の充実に努めます			財政課、財産活用課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	自主財源が増えます	税収の確保と広告収入を増やします	市税徴収事業(再掲)	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	自動証明写真機契約更改に伴い再度事業者公募を行い、貸付料率の増加を達成しました。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	110,336	110,336	110,336	331,008
予算額 (千円)	110,336	105,846	100,936	317,118
決算額 (千円)	102,167	96,292	95,591	294,050

計画番号	取り組み課題			担当課
118	入札制度における透明性の確保、公正な競争の促進とともに、地域産業の振興や雇用の確保にも配慮する等公契約のあり方について総合的に検討します			契約課、技術管理課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	公正な競争の促進、品質確保や地域産業の振興等、公契約としての役割と機能を発揮します	総合評価落札方式による発注件数を年間2～5件実施します	契約事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	① 優良工事表彰の実施に伴う準備が完了し、平成26年度より実施します。 ② 平成25年度の総合評価落札方式による発注件数を年間14件実施した。 ③ 総合評価方式で発注する建設工事の案件のうち、労働者の賃金の支払状況等雇用状況を評価する評価項目を取り入れた総合評価方式を試行的に導入した。 【総合評価落札方式による発注件数】 H23実績値 3件 H24実績値 15件 H25実績値 14件			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額（千円）	622	622	622	1,866
予算額（千円）	622	583	583	1,788
決算額（千円）	510	480	511	1,501

計画番号	取り組み課題			担当課
119	財政健全化に向けて、市民や職員と共有していける制度を検討します			財政課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	松戸市の財政状況について、市民や職員と共通認識が図れるようになります	財務諸表を整備します	財政管理事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
達成	平成22年度決算財務諸表のホームページでの公表を行い、平成23年度版作成のためのデータの精緻化を図りました。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額（千円）	15,480	16,236	16,196	47,912
予算額（千円）	15,480	12,339	12,041	39,860
決算額（千円）	12,229	7,111	8,876	28,216

② 財産を管理し、有効な活用を図ります

施策の展開方向

市の様々な財産を、適正に管理するとともに、その資源を活かし有効かつ効率的に運用していきます。また、公会計による財務 4 表(貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書)の整備を進め、市の財産の現状を広く公開していきます。

行政目的としての役割が終了した財産(土地等)については、売却も含め、有効的な活用を図ります。その他、行政目的として先行取得した土地については、その事業の方向性も含め、有効活用を検討します。耐震性が不足している公共施設については、「松戸市立小学校及び中学校施設等耐震改修基金」などの有効活用を図り、計画的な修繕・耐震化を進めていきます。

本計画の計画期間である平成 32 年度以降には、人口急増期に建設した公共施設が、次々に 50 年以上を経過することから、適切な維持管理により延命化を図りつつ、今後の市民ニーズの変化も見越した中で、市民意見を聴きながら、公共施設の再編に向けたプランづくりを行います。

計画番号	取り組み課題			担当課
120	老朽化した公共施設の再編に向けて検討し、基本的な方針を定めます			財産活用課
	めざす成果	目標	対象事業	会計区分
	施設の有効活用を図ります	主要施設の利用価値と再編に向けた方向性を決定します	公共施設再編検討事業	一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	公共施設マネジメント研修を実施(3回)しました。 公共施設白書(概要版を含む。)を作成し、公共施設再編整備基本方針の策定に向けて検討を行いました。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合計
計画額(千円)	—	—	—	—
予算額(千円)	—	7,900	9,500	17,400
決算額(千円)	—	7,780	1,100	8,880

計画番号	取り組み課題			担当課
121	廃校になった学校跡地の活用方針を決定します			財産活用課
めざす成果	目標	対象事業		会計区分
廃校になった学校跡地を有効に活用します	廃校の有効活用に向けた方策を定めます	学校跡地検討事業 新松戸地域学校跡地有効活用事業(継続費)		一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	廃校になった学校跡地のうち新松戸地域の2校について、新松戸地域学校跡地有効活用事業として、新松戸地域学校跡地有効活用基本計画の決定、公募型プロポーザルによる事業者の決定、基金条例の設置、既存施設の解体撤去(一部)等を実施しました。 今後は、同事業を引続き進めるとともに、他の2校の有効活用方策についても検討を継続します。			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	3,000	3,000	3,000	9,000
予算額 (千円)	3,000	15,333	3,000	21,333
決算額 (千円)	1,460	12,833	96,016	110,309

計画番号	取り組み課題			担当課
122	全ての市有財産の価値を公表し、未利用財産の処分も含め、有効に活用できるようにします			財産活用課
めざす成果	目標	対象事業		会計区分
自主財源が確保されます	平成21年度、22,845千円だった未利用財産の処分を更に進めます	市有地等管理業務		一般会計
目標の達成状況	これまでの取り組みと主な成果 または 一部達成・未達成・未実施の理由			
一部達成	未利用地の売却を進めているが、売却が困難な土地については、有償貸付等を検討していきます。 【未利用財産の処分(売却収入)】 H23実績値 78,905,000円 H24実績値 9,957,000円 H25実績値 38,770,500円			
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合 計
計画額 (千円)	4,901	4,901	4,901	14,703
予算額 (千円)	4,901	4,801	8,168	17,870
決算額 (千円)	1,146	1,215	5,065	7,426

資料 第4次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説（97指標）

頁	節項	意識調査	指標	出典・計算根拠	めざそう値(25年度)設定の考え方
30	1-1	●	市民活動(地域活動、NPO活動、ボランティア活動など)に参加している人の割合	市民意識調査による。「日頃積極的に参加している地域貢献活動団体」という質問に対して、「町会・自治会」、「ボランティア団体」、「PTA」、「NPO法人」、「子ども会育成会」、「企業による奉仕活動」、「その他」と回答した割合。	団塊世代の参加が期待されている一方で、若い世代が町会・自治会活動から離れている傾向も見られる。各年度の推移にもバラツキがあり、大きな期待はできないので、現状の26%から年に1ポイントの増をめざす。
30	1-1		市が協働する事業件数	市民自治課(旧協働推進課)「市民と行政との協働による事業実態調査」による。	松戸市協働推進計画では、「市が協働する事業件数」について、平成23年度までに200件を目指すこととしているため、年7~8件の増をめざす。
30	1-1		NPO法人の数	千葉県NPO情報ネットホームページによる。松戸市内で活動している、県知事認証(主たる事業所が松戸市内にある団体)及び内閣府認証(主たる事業所が松戸市内にある団体)のNPO法人の数。	現状値から2割程度の増加をめざす。
30	1-1		中間支援分野で活動している団体の割合	「市民活動団体アンケート調査」による。「どのような分野の活動をしていますか」という質問に対して、「団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動(中間支援団体)」と回答した割合。	平成32年度のめざそう値から逆算した数値をめざす。
35	1-2	●	身の回りで人権が守られていると思っている人の割合	市民意識調査による。「あなたの身の回りでは人権が守られていると思いますか」という質問に対して、「人権問題は特にない」と回答した割合。	平成19年6月に内閣府が実施した「人権擁護に関する世論調査」における、「人権を侵害されること」について、「少なくなってきた」(11.0%)と、「あまり変わらない」(40.3%)と答えた人の合計の割合をめざす。
38	1-3	●	固定的性別役割分担を支持しない人の割合	市民意識調査による。『「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感する方ですか」という質問に対して、「同感しない」と回答した割合。	第3次実施計画の目標値を引き続きめざす。

資料 第4次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説（97指標）

頁	節項	意識調査	指標	出典・計算根拠	めざそう値(25年度)設定の考え方
38	1-3	●	女性の就業割合	市民意識調査による。20～64歳の女性で職業を、「会社員」、「公務員」、「自営業」、「アルバイトやパート」と回答した割合。	平成32年度めざそう値と現状とのおよそ中間値をめざす。
41	2-1	●	生きがい感を持っている人の割合	市民意識調査による。「あなたは日頃、生活の中で生きがいを感じていますか」という質問に対して、「大変感じている」、「かなり感じている」、「ある程度感じている」と回答した割合。	平成13年度実績値より比較的高い数値を維持しており、引き続き維持することをめざす。
41	2-1	●	本人が健康であると思う人の割合	市民意識調査による。「あなたは今、健康だと思いますか」という質問に対して、「非常に健康だと思う」、「健康な方だと思う」と回答した割合。	高齢化の進展により、健康不安感が高まる傾向にあると推測されるが、関連部署との連携により、67%をめざす。
41	2-1		健康づくりに関する講座やイベントへの参加者数	健康推進課資料による。	高齢化の進展も鑑み、平成18年度から21年度の増加率を基に1,300人の参加者数をめざす。
41	2-1		ホームドクター（かかりつけ医）を持つ人の割合	「松戸市地域保健医療計画」中間評価のための市民アンケート調査による。	「松戸市地域保健医療計画」中間評価のための市民アンケート調査における上昇率を基に60%をめざす。
41	2-1	●	多様な世代と交流する機会のある人の割合	市民意識調査による。「多様な世代との交流の満足度」という質問に対して、「十分満足している」、「まあまあ満足している」と回答した割合。	平成32年度めざそう値より逆算して設定した数値をめざす。
47	2-2	●	日常生活に対して不安を感じていない人の割合	市民意識調査による。「生活の中で不安になったり、心配になったりすることがありますか」という質問に対して、「特にない」と回答した割合。	25年度まで、現状を維持することをめざす。
47	2-2		地域包括支援センター・在宅介護支援センター相談件数	地域包括支援センター及び在宅介護支援センターへの相談件数の実績値による。	過去3年間（平成19年度～21年度）の伸び率を基に24,000件の相談件数をめざす。
53	2-3	●	子育ての満足度	市民意識調査による。「生活の中で不安になったり、心配になったりすることがありますか」という質問に対して、「出産や子育て」を選ばなかった割合。	平成13年度より、比較的高い数値を維持しており、平成21年度実績値と同じ数値をめざす。

資料 第4次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説（97指標）

頁	節項	意識調査	指標	出典・計算根拠	めざそう値(25年度)設定の考え方
53	2-3		就労希望はあるが保育サービスが利用できないため就労していない人の割合	「松戸市次世代育成に関する調査報告書」による。	後期次世代育成支援行動計画において、通常保育事業(認可保育所)の利用の伸び率を平成22年から26年において2.0%と試算している。通常保育事業(認可保育所)の利用のシェア増加傾向も指標値向上の要因となりうるものとする。一方で、就労環境改善やその他子育て支援サービス等、他の要因を試算に含め数値の設定根拠とし、6%をめざす。
53	2-3		合計特殊出生率	千葉県健康福祉部健康福祉指導課資料による。	平成20年実績が松戸市人口推計(平成21年1月、担当課:政策調整課)をすでに超えているため、H25は、松戸市人口推計H32の1.33人と20年の実績1.29との中間値1.31をめざす。
59	2-4		患者満足度	病院事業管理局経営改革課「患者満足度調査(入院)」による。「家族や友人への推薦」、「医師の診察・診療内容」、「看護師の看護や対応」の平均満足度。	過半数以上の患者さんに満足してもらおうことをめざす。
59	2-4		平均在院日数	市立病院医事課資料による。	公立病院改革プランによるシミュレーションにより設定し、13日をめざす。 (年度評価による見直しがある)
59	2-4		紹介・逆紹介率	市立病院医事課資料による。	平成24年度から地域医療支援病院としての活動をめざすことから、現在の施設基準である紹介率60%、逆紹介率30%以上をクリアし、維持することをめざす。
59	2-4		一般病床利用率	市立病院医事課資料による。	市立病院経営において、損益分岐点を超えるためには、本指標が90~92%以上になっている必要がある。また、急性期病院として、常に10%程度の余裕ベッドを確保しておく必要があるため、90%をめざす。
59	2-4		年間手術件数	市立病院医事課資料による。	年間手術件数は約4,000~4,500件で推移している。手術室稼働率やコスト削減のための改善の取り組みと併せ、現行の病院機能キャパとして最大値であるH16年度の4,550件をめざす。

資料 第4次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説（97指標）

頁	節項	意識調査	指標	出典・計算根拠	めざそう値(25年度)設定の考え方
59	2-4		経常収支比率	病院事業管理局経営企画課資料による。	繰入金が増減が医業収益と連動するため、政策医療分の繰入金を含めた経営視点から、経常収支比率100%をめざす。
64	3-1		目標をもって学校生活をしている児童生徒の割合	教育研究所「児童生徒の学校生活に関する調査」による。「総合充実度」の割合。	平成13～21年度(5回実施)の平均値から、微増になるとし、74.2%をめざす。
64	3-1		授業が楽しいと感じている児童生徒の割合	教育研究所「児童生徒の学校生活に関する調査」による。「授業に対する満足度」の割合。	平成13～21年度(5回実施)の平均値から、微増になるとし、61.4%をめざす。
64	3-1		学校での「心の豊かさ」を育む体験活動の実施回数	教育課程の報告による。「福祉教育」「環境教育」の実施回数。	限られた授業時間数の中で学習指導内容が増える一方で、「心の豊かさ」を育む体験活動が縮小されていくと予測されるが、平成21年度の現状値から、毎年10回ずつ増やし、1,930回をめざす。
72	3-2	●	学習活動を行っている市民の割合	市民意識調査による。「あなたは日頃、特定の関心があるテーマについて、自主的に学習活動をしていることがありますか」という質問に対して、「ほぼ毎日」、「週に数日ほど」、「月に数日ほど」と回答した割合。	年1ポイント程度の増加をめざす。
72	3-2	●	学習活動の成果を地域社会で活かしている市民の割合	市民意識調査による。「あなたがこれまでに、自主的に取り組んだ学習活動の成果が活かされていると思いますか」という質問に対して、「活かされている」と回答した割合。	年1ポイント程度の増加をめざす。
72	3-2		目的をもって部活動をしている児童生徒の割合	保健体育課「児童生徒の部活動の加入率」による。	平成32年度のめざそう値から逆算した数値をめざす。
72	3-2	●	スポーツを行なっている市民の割合	市民意識調査による。「あなたは日頃、運動・スポーツをしていますか」という質問に対して、「現在も継続的にしている」、「最近、始めた」と回答した割合。	平成32年度のめざそう値から逆算した数値をめざす。



資料 第4次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説（97指標）

頁	節項	意識調査	指標	出典・計算根拠	めざそう値(25年度)設定の考え方
77	3-3	●	史跡や神社、仏閣など歴史・伝統文化遺産の満足度	市民意識調査による。「史跡や神社仏閣など歴史・伝統文化遺産の満足度」という質問に対して、「十分満足している」、「まあまあ満足している」と回答した割合。	史跡や神社、仏閣など歴史・伝統文化遺産は、さほど変化するものではないので、ほぼ現状維持をめざす。
77	3-3	●	文化・芸術に親しむ市民の割合	市民意識調査による。「あなたは日頃、絵画、音楽、映像、演劇などの芸術文化を鑑賞したり、創作や実践することがありますか」という質問に対して、「鑑賞し、自分でも創作や実践もしている」、「よく鑑賞するが、自分では創作や実践はしない」、「時々鑑賞している」と回答した割合。	ほぼ現状維持をめざす。
77	3-3	●	外国籍市民と交流している人の割合	市民意識調査による。「あなたは日頃、松戸市に在住したり、滞在したりしている外国の方達と親しく接することがどのくらいありますか」という質問に対して、「大変よくある」、「しばしばある」と回答した割合。	平成32年度のめざそう値から逆算した数値をめざす。
77	3-3		外国人市民で暮らしに満足している割合	文化観光課「松戸市における外国人市民生活アンケート」による。	ここ5年間の新規外国人登録者数の推移を見ると、年間約1400人の外国人が松戸に来ているので、22年度目標値の83%を維持することをめざす。
77	3-3		世界平和都市宣言の認知度	平和事業参加者へのアンケートによる。松戸市が世界平和都市宣言をしていることを知っている人の割合。	第3次実施計画において、平成20年度は49.0%、平成21年度は50.0%、22年度は51.0%を目標値として設定した。今後も引き続き、毎年1ポイントの増加をめざす。
82	4-1	●	災害に対して自ら対策を講じている人の割合	市民意識調査による。「あなたは日頃、防災のための準備をしていますか」という質問に対して、「対策を講じている」と回答した割合。	年1ポイント程度の増加をめざす。
82	4-1		総合防災訓練への対象団体の参加率	危機管理課資料による。参加団体÷対象団体×100（対象団体とは、防災訓練の際に参加依頼をする団体）	常に100%をめざす。

資料 第4次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説（97指標）

頁	節項	意識調査	指標	出典・計算根拠	めざそう値(25年度)設定の考え方
82	4-1		自主防災組織の訓練実施率	危機管理課、消防局予防課資料による。(出前講座等の座学を含む)	年に1ポイント、自主防災組織の訓練実施率を増やすことをめざす。
82	4-1		自主防災組織の結成率	危機管理課資料による。	常に100%をめざす。
85	4-2		出火率(火災件数/対人口1万人)	消防局予防課資料による。火災件数/対人口1万人	人口が増加すれば火災件数は、比例して高くなる傾向にあるが、火災件数を抑えることにより昭和35年以降、最も低い値であった21年の2.4を上回らないことをめざす。
85	4-2		住宅用火災警報器の設置率	消防局「住宅用火災警報器の普及調査」による。	過去4年間の新築住宅世帯数の平均値が2.22%の為、4年後は8.88%増加する。残りの1.92%は、4年間の普及活動によりめざす。
89	4-3		心肺停止傷病者の1ヶ月生存率(1ヶ月生存者数/心肺蘇生実施者数)	消防局救急課資料による。「救急隊員の行った心肺蘇生率」の割合。	平成18年実績値をめざす。
89	4-3		救急入電から医療機関に収容するまでに要する時間	消防局救急課資料による。	平成20年実績値をめざす。
92	4-4		温室効果ガス削減量(CO <sub>2</sub> 換算)	環境政策課「松戸市減CO <sub>2</sub> 大作戦」による。国・県等の統計データを活用し、松戸市全体の温室効果ガス排出量をCO <sub>2</sub> 換算で算定した。	松戸市減CO <sub>2</sub> 大作戦の中期目標達成に必要なCO <sub>2</sub> 削減量を計算したものとし、281,600tをめざす。
92	4-4		廃棄物の最終処分量	廃棄物対策課資料による。	松戸市ごみ処理基本計画で目標値として設定した17,400tをめざす。
92	4-4		二酸化窒素の環境基準達成率	市内の大気常時監視測定局4局のデータによる。	市民・事業者および市が協働して資源の浪費を可能な限り少なくし、大気環境を向上させ、全局の環境基準値達成をめざす。
96	4-5		刑法犯認知件数(対1千人)	千葉県警「犯罪統計」による。	6,600件×1,000人/490,000人≒13.5件 指標である認知件数の減少傾向を勘案し、平成21年度より約4%の減少をめざす。
96	4-5		防犯用品貸与団体数	5人以上で防犯活動を行う者に対し、松戸市防犯用品貸与要綱に基づき、防犯用品を貸与しており、その貸与団体の累計数。	現状値に対し4%増を見込んで設定し、300団体をめざす。

資料 第4次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説（97指標）

頁	節項	意識調査	指標	出典・計算根拠	めざそう値(25年度)設定の考え方
96	4-5		交通事故による死傷者数(対1千人)	千葉県警「交通事故統計ちば」による。	$2,100 \text{ 人} \times 1,000 \text{ 人} / 490,000 \text{ 人} \approx 4.3 \text{ 件}$ 指標である交通事故による死傷者数の減少傾向を勘案し、平成21年度より約4%の減少をめざす。
96	4-5		交通事故の発生件数(対1千人)	千葉県警「交通事故統計ちば」による。	$1,850 \text{ 人} \times 1,000 \text{ 人} / 490,000 \text{ 人} \approx 3.8 \text{ 件}$ 指標である交通事故発生件数の減少傾向を勘案し、平成21年度より約2%の減少をめざす。
96	4-5	●	消費者トラブルに巻き込まれた人の割合	市民意識調査による。「あなたは、この1年間に買い物などの消費の際にトラブルや被害にあったことがありますか」という質問に対して、「トラブルや被害に巻き込まれた」と回答した割合。	消費者トラブルには様々な側面があり、一定の割合で発生するものと思慮する。平成25年度のめざそう値は、21年度の現状値を維持することをめざす。
99	4-6	●	緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合	市民意識調査による。「緑地・河川などの自然環境の満足度」という質問に対して、「十分満足している」、「まあまあ満足している」と回答した割合。	事業実施成果を受け、顧客(市民)満足度指標として設定した。平成32年度のめざそう値から逆算した数値をめざす。 $19.4\% + (25\% - 19.4\%) \times 4 \text{ 年} / 11 \text{ 年} = 21.4\%$
99	4-6		里やまボランティア活動団体数	みどりと花の課資料による。	緑を守り育てる団体の拡充に向け、毎年1回、里やまボランティア入門講座を開催している。講座終了後に受講者が自主的にボランティア団体を結成している。入門講座を年1回予定しているため、新規の活動団体数も年1団体の増をめざす。 $12 \text{ 団体} + (1 \text{ 団体} \times 4 \text{ 年}) = 16 \text{ 団体}$
99	4-6		花いっぱい運動活動団体数	みどりと花の課資料による。	花をテーマとしてグループが生まれ、地域コミュニティが育っていくことをめざす。今までの実績値では年平均5団体ずつ増加しているが、活動の主体である町会・自治会数が増加傾向にないことから、年3団体の増加をめざす。 $68 \text{ 団体} + (3 \text{ 団体} \times 4 \text{ 年}) = 80 \text{ 団体}$

資料 第4次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説（97指標）

頁	節項	意識調査	指標	出典・計算根拠	めざそう値(25年度)設定の考え方
99	4-6		公園緑地活動団体数	公園緑地課資料による。	今までの実績値から毎年度3団体の増加をめざす。
99	4-6	●	身近で、緑が守られ、増えていると感じる人の割合	市民意識調査による。「あなたは、身近で街路樹や緑地が守られ、増えていると感じていますか」という質問に対して、「守られ、増えていると感じている」と回答した割合。	事業実施成果を受け、顧客(市民)満足度指標として新規設定した。緑の保全、緑化の推進、公園整備を引き続き進めながら、既存ストックとしての公園緑地等や民有緑地への市民全体の利活度向上によって、4年間で意識指標を2倍に引き上げることをめざす。
105	5-1	●	快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合	市民意識調査による。「まちの賑わいや買い物の便」「通勤・通学などの交通の便」「道路、公園、下水道などの都市施設」「特色ある祭りや地域ぐるみのイベント」の4項目の総合満足度を算出し、「十分満足している」と「まあまあ満足している」を合計した割合。	年1ポイント程度の増加をめざす。
105	5-1		商業の年間商品販売額	千葉県「商業統計調査」による。	松戸市は平成13年の千葉県の商圏の位置づけでは準商業中心都市であったが、平成18年では単独商圏都市となった。将来めざす方向として、準商業中心都市に戻すため、後期基本計画期間が終了する平成32年度は、平成13年当時の年間販売額をめざそう値とし、平成25年度は現状値とめざそう値の差額の30%相当分の増を見込んだ数値をめざす。
105	5-1		製造品出荷額	千葉県「工業統計調査」による。	サブプライムローン問題に端を発した世界経済の影響から、製造業への影響も深刻である。現状値からの減少は、相当数あると考える。平成25年度のめざそう値は、現状値の10%減で抑えることをめざす。
105	5-1		農用地利用権設定面積	農政課資料による。	農地利用集積円滑化事業による遊休農地と荒廃農地解消事業を推進し、平成17年から平成21年の農地利用権設定面積の平均値を超える権設定面積をめざす。

資料 第4次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説（97指標）

頁	節項	意識調査	指標	出典・計算根拠	めざそう値(25年度)設定の考え方
105	5-1	●	松戸の良さを伝えるために取り組んでいる市民の割合	市民意識調査による。「あなたは日頃、松戸の良さを他の人に伝える活動をしていますか」という質問に対して、「日常的にしている」、「ときどきしている」と回答した割合。	現状値から年1ポイント程度の増加を期待した値をめざす。
105	5-1		主要観光スポットの観光客数	文化観光課資料による。	21年度に対し約5%増をめざす。
113	5-2		新規求人倍率(松戸市内)	ハローワークまつど「市町村別資料」による。	求人求職のバランスのとれた状態をめざす。
113	5-2		65歳以上の完全失業率	国勢調査による。労働力状態(松戸市)の失業率の割合。	国勢調査結果をもとにしており、第4次実施計画期間には当該調査はなく設定ができない。
113	5-2		20歳代の就業率	国勢調査による。労働力状態(松戸市)の20～29歳までの就業率の割合。	国勢調査結果をもとにしており、第4次実施計画期間には当該調査はなく設定ができない。
113	5-2		就業者数	国勢調査による。労働力状態(松戸市)の労働力人口中の就業者数。	国勢調査結果をもとにしており、第4次実施計画期間には当該調査はなく設定ができない。
113	5-2		障害者法定雇用率を達成している企業の割合(松戸市内)	松戸公共職業安定所「市町村別の雇用状況」による。	過去10年間(平成12年度～21年度)の平均45%をめざす。
113	5-2		障害者法定雇用率を達成している企業数	松戸公共職業安定所「市町村別の障害者雇用状況」による。	平成21年度に対し約10%増をめざす。
116	5-3	●	安心やゆとりを感じている人の割合	市民意識調査による。「保健・医療・福祉サービス」「緑地・河川などの自然環境」「空気のきれいさ、騒音・悪臭などの公害の少なさ」「まち並み、建物などまち全体の景観」「住環境のゆとりなどの住宅事情」「事故や災害に強い安全なまち」の6項目の総合満足度を算出し、「十分満足している」と「まあまあ満足している」を合計した割合。	H13の実績値24.6%とH21の実績値26.9%の増率である年0.2875ポイントから推計し、H25で28%をめざす。
116	5-3		最低居住面積水準未満率	総務省統計局「住宅・土地統計調査」による。	平成18年度策定の「住生活基本計画」(全国計画)において、早期に解消をめざすとしていることから、同様の考え方で設定したものをめざす。

資料 第4次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説（97指標）

頁	節項	意識調査	指標	出典・計算根拠	めざそう値(25年度)設定の考え方
116	5-3		景観づくりに参加する人の数	都市計画課「私の好きな景観スポット」応募者数による。	前年度より 4~5 人の応募者増をめざす。
116	5-3		地区計画策定面積	都市計画課資料による。 紙敷地区地区計画(51.0ha)、秋山地区地区計画(40.4ha)、関台地区地区計画(10.4ha)、高柳地区地区計画(2.2ha)、馬橋駅西口地区地区計画(0.9ha)。	地区計画は、基本的には住民の発意によって策定するが、地域住民が主体的にめざしたい地域づくりを実現化出来る柔軟な都市計画制度なので、市としても活用していきたいと考えている。後期基本計画期間内は年 2ha の増加をめざし、25 年度には 113ha をめざす。
122	5-4		道路のバリアフリー地区別完了率	道路のバリアフリー化整備地区 ÷道路のバリアフリー化対象地区 バリアフリー化対象地区とは「松戸市交通バリアフリー基本構想」における策定対象としてあげている地区。	まずは現在着手している 2 地区の整備完了をめざす。
122	5-4		鉄道駅のバリアフリー化率(ワンルート整備率)	ワンルート整備された駅÷バリアフリー化対象駅 ワンルート整備とは、ホーム階から地上(改札を経由)までの段差をエレベーター等で解消し、車いす利用者などが円滑に移動できる経路を 1 駅に 1 経路確保すること。	鉄道事業者の行う駅のバリアフリー化に対し支援を続け、対象となる駅全てがワンルート整備されることをめざす。
122	5-4		鉄道の混雑率(緩行電車)	運輸政策研究機構発行「数字で見る鉄道」による。ピーク時(7:30~8:30)の混雑率。	鉄道の利便性向上のため、鉄道事業者へ運行本数の確保や編成数の増量を要望し、運輸政策審議会答申の個別路線での目標である 180%を超えないよう、現状維持をめざす。 (常磐線 緩行電車)
122	5-4		鉄道の混雑率(快速電車)	運輸政策研究機構発行「数字で見る鉄道」による。ピーク時(7:30~8:30)の混雑率。	鉄道の利便性向上のため、鉄道事業者へ運行本数の確保や編成数の増量を要望し、運輸政策審議会答申の個別路線での目標である 180%を超えないよう、現状維持をめざす。 (常磐線 快速電車)
122	5-4		渋滞箇所数	建設総務課資料による。	現在施工している主 1-25 号(三矢小台)の工事が完了し、渋滞の解消が見込まれることから設定した値をめざす。

資料 第4次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説（97指標）

頁	節項	意識調査	指標	出典・計算根拠	めざそう値(25年度)設定の考え方
126	5-5	● 再掲	緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合（再掲）	市民意識調査による。「緑地・河川などの自然環境の満足度」という質問に対して、「十分満足している」、「まあまあ満足している」と回答した割合。	事業実施成果を受け、顧客（市民）満足度指標として設定した。平成32年度のめざそう値から逆算した数値をめざす。 $19.4\% + (25\% - 19.4\%) \times 4 \text{年} / 11 \text{年} = 21.4\%$
126	5-5		流域整備面積率	河川清流課資料による。	現況の整備面積より105ha増をめざす。
126	5-5		BOD(75%)値（国分川水系）	環境保全課資料「環境の現状と対策」による。	真間川流域水循環系再生行動計画に基づく目標値(10mg/l以下)をめざす。
126	5-5		水質基準達成率（国分川水系BOD）	環境保全課資料「環境の現状と対策」による。	良好な水環境を日常的に確保するため、観測値全てが真間川流域水循環系再生行動計画に基づく目標値(10mg/l以下)を達成することをめざす。
126	5-5		BOD(75%)値（坂川水系）	環境保全課資料「環境の現状と対策」による。	清流ルネッサンスⅡ（第二期水環境改善緊急行動計画）に基づく目標値(5.0mg/l以下)を達成することをめざす。
126	5-5		水質基準達成率（坂川水系BOD）	環境保全課資料「環境の現状と対策」による。	良好な水環境を日常的に確保するため、観測値全てが清流ルネッサンスⅡ（第二期水環境改善緊急行動計画）に基づく目標値(5.0mg/l以下)を達成することをめざす。
126	5-5		河川利用イベントの参加者数	レンゲ祭り、コスモス祭り、親子が水辺で集う日、川に親しむ親子の集いの参加者数。	過去の結果を勘案して最も高い数値を上回ることをめざす。
126	5-5		下水道利用率（下水道利用者数/市内人口）	下水道維持課資料による。	下水道利用率、前年度に対して概ね1ポイントの増をめざす。
129	5-6		水道事業に満足している人の割合	水道部「松戸市水道事業に関するアンケート調査」による。	平成19年度(28.4%)より年1ポイントの向上をめざす。
129	5-6		浄・配水施設の更新率	浄・配水施設の主要設備の更新実績。	浄・配水施設の更新計画に基づき設定した値をめざす。
131	6-1	●	住み続けたいと思う人の割合	市民意識調査による。「あなたは、これからも松戸市に住み続けたいと思いますか」という質問に対して、「住み続けたい」、「できることなら住み続けたい」と回答した割合。	平成21年度「市民意識調査」で、住み続けたいと回答しなかった残り40%の人のうち、5.5%が住み続けたいと思うことをめざす。

資料 第4次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説（97指標）

頁	節項	意識調査	指標	出典・計算根拠	めざそう値(25年度)設定の考え方
131	6-1	●	行政サービスの改善度	市民意識調査による。「あなたは、全体として松戸市の行政サービスについて、どのように感じていますか」という質問に対して、「以前より非常に良くなっている」、「以前より多少良くなっている」と回答した割合。	平成 32 年度のめざそう値から逆算した数値をめざす。
131	6-1		後期基本計画のめざそう値の達成率	めざそう値を達成した指標数 ÷ (全指標数 - 1) この指標を除くため、全指標数から1を除く。	計画書に掲載しているめざしたい将来像を実現するため、すべての指標について、めざそう値の達成をめざす。
131	6-1	●	行政情報入手手段に係るホームページの割合	市民意識調査による。「あなたは、松戸市の行政情報を主に何によって入手しているかお答えください」という質問に対して、「松戸市のホームページ」と回答した割合。	平成 32 年度のめざそう値から逆算した数値をめざす。
131	6-1	●	インターネットを利用している人の割合	市民意識調査による。「あなたは、ご自身でインターネット（携帯電話によるネット利用を含む）を利用しますか」という質問に対して、「毎日のように利用している」、「時々利用している」、「たまに利用している」と回答した割合。	市の施策により変動する性質の指標ではないが、総務省の同様の調査では人口利用率で75%を上回っていることや、現状値が第3次実施計画の目標値設定時の想定に近付いていることから設定した値をめざす。
132	6-1		いきいきと働くことができる職員の割合	人事課「職員アンケート調査」による。	いきいきと働くことができている職員の割合を増やすことをめざす。
140	6-2		財政力指数	平成 21 年度地方交付税の算定結果による。	平成 32 年度めざそう値に向けた、通過点として設定した数値をめざす。
140	6-2		経常収支比率	決算資料による。	平成 32 年度めざそう値に向けた、通過点として設定した数値をめざす。
140	6-2		自主財源比率	決算資料による。	良好な行財政運営のため、自主財源の確保をめざす。
140	6-2		将来負担比率	決算資料による。	財政の見通しにより算出した数値をめざす。



松戸市総合計画 第4次実施計画実績報告書（平成23～25年度）

---

平成26年9月

・発行 松戸市

〒271-8588 松戸市根本387番地の5

TEL 047 (366) 7072

・編集 松戸市 総合政策部 政策推進課